



ライオンズクラブ国際協会331-B地区

2025-2026年度

第二回キャビネット会議要録



日時：2025 年 11 月 8 日（土）

場所：アクア・ベールくしろ

釧路市栄町 8 丁目 3 番地

TEL：0154-25-7020



2025-2026 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット

国際会長

L. A. P. シン

Arvinder Pal Shin

国際テーマ

【We Serve (われわれは奉仕する)】

国際会長メッセージ

【Lead to Serve, Serve to Lead.】

(リーダーシップこそ奉仕、
奉仕こそリーダーシップ。)

地区ガバナー

L. 大島 尚久

地区ガバナースローガン

【豊かな地域づくりに獅子奮迅】

◆ 釧路キャビネットピンバッチ ◆ コンセプト



釧路川に架かるぬさまい橋から、港を臨むと世界三大
夕日が見るものを圧倒し、目を移すと漁船が満を持し
て出港しようとしています。大漁でありますように！

さあ釧路キャビネットも ^{もやい}舳を解いていよいよ出航で
す。

第二回 キャビネット会議 プログラム

会場：アクア・ベールくしろ

総合受付	9:30～	3F
地区ガバナーチーム会議	10:00～10:40	3F 藤の間
地区コーディネーター会議	10:50～12:00	3F 藤の間
献眼運動推進委員会 (ランチミーティング)	12:00～12:30	3F 藤の間
長期計画リサーチ委員会会議	13:00～13:50	3F 藤の間
ミッション1.5会議	13:00～13:50	2F 竹の間
献血・献眼・ 薬物防止委員会会議	13:00～13:50	2F 松の間
LCIF・国際大会・ オセアルフォーラム会議	13:00～13:50	3F 扇の間
レオ・青少年会議	13:00～13:50	2F 丹頂の間
YCE委員会会議	13:00～13:50	3F 檜の間
M・IT委員会会議	13:50～14:40	3F 檜の間
アラート委員会会議	14:00～14:20	3F 末広の間
ゾーン・チェアパーソン事前会議	14:20～15:20	3F 末広の間
* キャビネット会議 *	15:30～17:30	3F 末広の間
* 懇親会 *	18:30～20:30	2F 高砂の間

第二回キャビネット会議次第

		司会:運営委員長 L. おおもり 大森 一 道	
1	開会宣言並びに開会ゴング	地区ガバナー L. おおしま 大島 尚 久	
2	出席者の紹介	運営委員長 L. おおもり 大森 一 道	3頁
3	物故会員への黙祷	運営委員長 L. おおもり 大森 一 道	4頁
4	地区ガバナー挨拶	地区ガバナー L. おおしま 大島 尚 久	6頁
5	副地区ガバナー挨拶	第一副地区ガバナー L. ひろせ 瀬 寛 人	7頁
		第二副地区ガバナー L. やなぎさわ 柳 澤 豊	7頁
6	報告事項		
	報告第1号 :複合地区各種会議	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	9頁
	報告第2号 :331複合地区 2024年度決算・2025年度予算 各種	CAB会計 L. おおつ 大津 幸 三	111頁
	報告第3号 :令和5、6年度 旭川医大アイバンク 事業報告	CAB会計 L. おおつ 大津 幸 三	119頁
	報告第4号 :会員並びにクラブ活動状況報告集計表	CAB会計 L. おおつ 大津 幸 三	130頁
7	審議事項		
	議長就任	地区ガバナー L. おおしま 大島 尚 久	
	議案第1号 :第72回地区年次大会要綱(案)	地区大会委員会委員長 L. たかせ 瀬 力	133頁
	議案第2号 :第72回地区年次大会取引金融機関(案)	地区大会委員会委員長 L. たかせ 瀬 力	136頁
	議案第3号 :第72回地区年次大会議事規則(案)	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	137頁
	議案第4号 :次期地区役員・委員推薦要項(案)について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	140頁
	議案第5号 :次期地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	141頁
	議案第6号 :次期第一副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	144頁
	議案第7号 :次期第二副地区ガバナー立候補者届出について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	147頁
	議案第8号 :331-B地区キャビネット会則変更について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	150頁
	議案第9号 :地区キャビネット慶弔既定の変更について	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	153頁
	提出議案 :地区内クラブより提出議案	CAB幹事 L. きむら 木村 宏 幸	155頁
8	地区GMTコーディネーター報告	L. やぶき 矢 吹 定 夫	159頁
9	地区GETコーディネーター報告	L. むら 村 山 聡	159頁
10	地区GLT コーディネーター報告	L. しょうじ 小路 泰 孝	160頁
11	地区GSTコーディネーター報告	L. きくらい 櫻井 正 人	160頁
12	地区LCIFコーディネーター報告	L. きかもと 坂 本 ひとし 斉	161頁
13	地区WYPTコーディネーター報告	L. きのした 木下 裕 幸	161頁
14	各委員会報告		
	長期計画リサーチ委員会	委員長 L. いとう 伊 東 隆 志	162頁
	地区大会委員会	委員長 L. たかせ 瀬 力	162頁
	会則・コンプライアンス委員会	委員長 L. たかはし 高 橋 てつや 哲 也	162頁
	国際大会・国際協調・LCIF委員会	委員長 L. いしだ 石田 健 太郎	163頁
	献血・献眼・薬物防止委員会	委員長 L. さいとう 齋 藤 修 嗣	163頁
	レオ・青少年委員会	委員長 L. ふじい 藤井 芳 和	163頁
	YCE委員会	委員長 L. おの 小野寺 一 史	164頁
	M・IT委員会	委員長 L. うめだ 樫 田 欣 也	165頁
	オセアルフォーラム特別委員会	委員長 L. すぎもと 杉 本 たかひで 隆 英	165頁
	平和ポスターコンテスト委員会	委員長 L. よしおか 吉 岡 幸 二	165頁
	アラート委員会	委員長 L. あさの 浅 野 敬 一	166頁
	公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会	委員長 L. やなぎさわ 柳 澤 豊	166頁
	献眼運動推進委員会	委員長 L. おおしま 大島 尚 久	
15	質疑及びその他	運営委員長 L. おおもり 大森 一 道	
	参考資料 : YCE参考資料 …YCE-02-1、YCE02-2		168頁
	331-B地区献眼運動推進費積立金運用規程(2025年8月承認)		170頁
	2025-2026地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額更新のご案内		171頁
16	閉会宣言並びに閉会ゴング	地区ガバナー L. おおしま 大島 尚 久	

第2回キャビネット会議出席者名簿

発言権及び議決権のあるキャビネット構成員			
	役 職	氏 名	出欠
1	地区ガバナー	L. おおしま なおひさ 大島 尚久	○
2	第一副地区ガバナー 地区LCIF副コーディネーター 長期計画リサーチ副委員長	L. ひろせ ひろと 広瀬 寛人	○
3	第二副地区ガバナー 長期計画リサーチ副委員長 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会委員長	L. やなぎさわ ゆたか 柳澤 豊	○
4	前地区ガバナー 地区名誉顧問 長期計画リサーチ委員長	L. いとう たかし 伊東 隆志	○
5	地区名誉顧問会議長 長期計画リサーチ委員	L. なかや よしお 中谷 宣巨	○
6	キャビネット幹事(全般) 長期計画リサーチ委員	L. きむら ひろゆき 木村 宏幸	○
7	キャビネット会計(広報)	L. おおつ こうぞう 大津 幸三	○
8	地区GMT コーディネーター	L. やぶき さだお 矢吹 定夫	○
9	地区GET コーディネーター	L. むらやま あきら 村山 聡	○
10	地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員 公益財団法人日本ライオンズ 特別委員会副委員長	L. しょうじ やすたか 小路 泰孝	○
11	地区GST コーディネーター	L. さくらい まさと 櫻井 正人	○
12	地区LCIF コーディネーター	L. さかもと とし 坂本 斉	○
13	地区WYPT コーディネーター	L. きのした ひろゆき 木下 裕幸	○
14	第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. わたべ こうじ 渡部 候司	○
15	第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. はせがわ まつみ 長谷川松美	○
16	第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. さとう としひろ 佐藤 利博	○
17	第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. たなか かおり 田中 香織	○
18	第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. おおくま ひでゆき 大熊 秀之	○
	第3R第2Z ゾーン・チェアパーソン(職務代行)	L. かがわ としお 香川 俊雄	○
19	第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン	L. はしもと しゅうじ 橋本 修司	○
20	第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. さき まさたか 佐々木隆博	×
21	第4R第3Z ゾーン・チェアパーソン	L. おかや しげかつ 岡谷 繁勝	○
22	第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン 第5R 地区MIT・YCE委員	L. かんとう まさひろ 関東 正浩	○
23	第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン	L. いとう みつたか 伊藤 光隆	○
24	地区大会委員長	L. たかせ つとむ 高瀬 力	○
25	会則・コンプライアンス 委員長	L. たかはし てつや 高橋 哲也	○
26	国際大会・国際協調・ LCIF委員長	L. いしだけんたろう 石田健太郎	○
27	献血・献血・薬物防止 委員長	L. さいとう しゅうじ 齋藤 修嗣	○
28	レオ・青少年委員長	L. ふじい よしあず 藤井 芳和	○
29	YCE委員長	L. おの でるかずし 小野寺一史	○
30	M・IT委員長	L. うめだ きんや 楳田 欣也	○
31	オセアルフォーラム 特別委員長	L. すぎもと たかひで 杉本 隆英	○
32	平和ポスターコンテスト 委員長	L. よしおか こうじ 吉岡 幸二	○
33	アラート委員長	L. あきの けいいち 浅野 敬一	○

キャビネット構成員33名のうち、欠席1名

その他 キャビネット地区役員			
	役 職	氏 名	出欠
1	地区GMT 副コーディネーター	L. おおた よしひろ 太田 好啓	○
2	地区GET 副コーディネーター	L. いしだ そうがん 石田十羽完	○
3	地区GLT 副コーディネーター	L. うめだ みき 梅田 三樹	○
4	地区GST 副コーディネーター	L. まさかず 川人 正和	○
5	地区WYPT 副コーディネーター	L. くまがい かずゆき 熊谷 一行	○
6	地区大会事務局長	L. ふるや たつひろ 古谷 龍彦	×
7	地区大会事務局次長	L. あき木 ひでふみ 青木 秀史	○
8	地区大会事務局次長	L. あべ まさかず 阿部 将和	×
9	会則・コンプライアンス 副委員長	L. にしい さとし 西池 聡	○
10	国際大会・国際協調・ LCIF 副委員長	L. ささき きりょうきち 佐々木良吉	○
11	献血・献血・薬物防止 副委員長	L. みやきた こうえつ 宮北 晃悦	○
12	レオ・青少年副委員長	L. せい のぶ 清野 芳明	×
13	YCE副委員長 アラート副委員長	L. さとう ひでかず 佐藤 豪一	×
14	M・IT副委員長	L. ふなやま かずひろ 舟山 和宏	○
15	M・IT副委員長	L. ば 英樹 馬場 英樹	○
16	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. しま こうじ 島 孝治	○
17	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. さとう くにひこ 佐藤 邦彦	○
18	オセアルフォーラム 特別副委員長	L. てらなか まさたけ 寺中 賢武	×
19	平和ポスターコンテスト 副委員長	L. まつなみ まさゆき 松並 正幸	○
20	第1R 地区MIT・YCE委員	L. まつざき まさゆき 松崎 正幸	○
21	第2R 地区MIT・YCE委員	L. きたはら ひろし 北橋 完	○
22	第3R 地区MIT・YCE委員	L. かとう れいいち 加藤 礼市	○
23	第4R 地区MIT・YCE委員	L. ひがしはら よしゆき 東原 義幸	○
24	第2R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. はやかわ なおひさ 早川 直久	×
25	第3R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと 光のぶ 松本 光伸	×
26	第3R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. なかはら ひろゆき 中原 弘之	○
27	第4R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつだ はじめ 松田 肇	○
28	第4R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. みやじま みつぐ 宮島 貢	○
29	第4R・第3Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. まつもと たかゆき 松本 孝幸	○
30	第5R・第1Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. ためひろ ひろし 為広 裕司	○
31	第5R・第2Zゾーン委員 (兼LCIF委員)	L. いだ まする 飯田 守	○
32	長期計画リサーチ委員	L. にのみや ゆういち 二宮 雄一	○
33	長期計画リサーチ委員	L. さとう けんじ 佐藤 健治	○
34	長期計画リサーチ委員	L. いしむら よしゆき 石邑 義幸	○
35	地区会計監査委員	L. さびしろ やすひと 淋代 靖人	○
36	地区会計監査委員	L. おの てつや 小野 哲也	×
37	運営委員長(副幹事)	L. おおもり かずみち 大森 一道	○
38	運営副委員長(副幹事)	L. わたぬき ゆうすけ 綿貫 裕介	○
39	運営委員(副幹事)	L. いだ まさあき 井田 正昭	○
40	運営委員(副幹事)	L. あいはら ゆきお 相原 幸雄	○
41	運営委員(副幹事)	L. あさの かずひろ 浅野 一弘	×
42	運営委員(副幹事)	L. あさの め みる 浅野 目 充	○
43	運営委員(副幹事)	L. あきもと あきお 熊谷 明男	×
44	運営委員(副幹事)	L. おぼら のぶゆき 小原 修幸	○
45	運営委員(副会計)	L. あきもと くにひろ 秋元 邦宏	○
46	運営委員(副会計)	L. たかはし きよみ 高橋 清美	○

地区役員46名うち欠席10名

出席要請 80名うち欠席11名

オブザーバー

留萌みなとライオンズクラブ	L. いとう よしき 伊藤 芳樹	○
留萌みなとライオンズクラブ	L. たむら ゆたか 田村 裕	○
留萌みなとライオンズクラブ	L. みやした やすひろ 宮下 泰裕	○

その他会議出席者

事務局長	L. たけだ ただし 武田 真使	○
事務局員	さとう ゆか 佐藤祐雅子	○
事務局員	わかつき きよみ 若月 聖美	○
事務局員	は た ゆうすけ 波多 祐輔	○

キャビネット会議総出席数 76名

物 故 会 員

(2025年7月16日～2025年10月15日迄の物故者名)

獅子の魂は永遠に

獅子の肉体は滅びても培われた魂は滅びず、永く世に貢献する。北の大地で志を半ばにしてご逝去された、我が同士の雄姿を忘れることは決してなく、獅子の栄誉は永遠に銘記されていく。故人に寄せる想いは去りがたく331-B地区会員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

2025年8月16日	L.	^{わたなべ} 渡 辺 ^{みつこ} 三 津 子	5 6 歳	(旭川 L C)
2025年9月19日	L.	^{さど} 佐 渡 ^{ひろお} 博 夫	9 4 歳	(遠軽 L C)
2025年9月21日	L.	^{まえもと} 前 元 ^{まさよし} 政 芳	7 6 歳	(網走 L C)
2025年10月5日	L.	^{かがや} 加 賀 谷 ^{へいざぶろう} 平 三 郎	1 0 1 歳	(津別 L C)

地区ガバナー挨拶 副地区ガバナー挨拶



地区ガバナー挨拶

L. 大 島 尚 久

第1回のキャビネット会議後に、周らせていただいた公式訪問は、どちらも歓迎して頂き、大変感動しました。ライオンズクラブの皆さんの、温かさを感じるだけでなく、ライオンズクラブの素晴らしさを体感し、これから頑張って331-B地区を盛り上げていかないとならない！との思いを新たにして、釧路に帰ってまいりました。

また、オセアルフォーラム札幌も、成功裏に終わることが出来ました。予想よりも登録が少なく、収支が気になるころではありますが、参加された皆様は、ライオンズクラブの素晴らしさを、肌で感じていただいたのではないかと思います。

気が付いたら11月となり、第2回キャビネット会議を、迎えることとなりました。おかげさまでキャビネットにて、取り組んでいる事業も、順調に終了しており、偏にキャビネット役員及び、会員の皆様のご協力の賜物と、感謝申し上げます。

特に海洋プラスチックゴミ問題の授業、それに伴っての清掃活動、授業の様子を、DVDにして小学校に配布する件も、進んでおりますので、期待していただきたいと存じます。

またM1. 5ですが、今のところ純増44人、なんとか新クラブも、めどがつきそうとの事で、これも来年には実現出来そうかと考えております。

また、後で詳しくお話があらうかと思いますが、LCIFが今のところ目標の55%に達しました、ただこれに関しては、まだ0クラブが多いので、何とか0クラブ0を達成したいと思っておりますので、ゾーンチェアパーソンからの、声掛けをお願いしたいと思います。

LCIF関連で言いますと、災害準備交付金というものがあります。後ほど説明したいと思いますが、災害の時に使うものを、自治体に寄付するというものですが、寄付するだけではなく、子供たちや町内会などで災害があった場合の訓練に使えるものという条件付きで、寄付しようと考えています。詳細は後ほど説明したいと存じますのでご協議いただきたいと思います。

また、11月には薬物乱用防止教育認定講師養成講座がありますし、来年ではありますが、小路GLTコーディネーターは講演会を企画しているようです。HD1000や、献血250万mlキャンペーンも動いております。331-B地区を盛り上げていくために、各立場で活動して頂くようお願いいたします。

第一副地区ガバナー挨拶

L. 広 瀬 寛 人

皆様、こんにちは。41年ぶりに札幌で開催されましたオセアル大会への参加・ご協力誠に有難う御座いました。参加人数や大会の収支については、これから発表されると思いますが、国際協会の一員として「奉仕の志」を抱いた東南アジアのメンバーが、札幌に集いお互いの努力を讃えあえた事は、今後の地域への奉仕活動に、新たな動機付けが出来たものと感じております。

自らの足元である地域への奉仕と、国際協会の一員としての世界中の、困難な状況への方々への奉仕を、複眼的に捉える難しさは、LCIFへの協力呼掛けでも、十二分に感じる所ではありますが、幸いにも大島ガバナーの、強力なリーダーシップの下、7月から幸先の良いスタートを切ることが出来ました。

MJF1000ドル寄付も大変有難い事と思いますが、LCIFの理念を拡げるためには、100ドル寄付の参加者を増やすことが何より大切だと思います。

これから後半戦に入りますが、更なる声掛けをLCIF副コーディネーターの立場からお願い申し上げ第一副地区ガバナーのご挨拶に代えさせていただきます。

第二副地区ガバナー挨拶

L. 柳 澤 豊

釧路キャビネットがスタートして3か月が経過され、それぞれのキャビネット役員始め、委員の皆様も、日々ライオンズライフワークを実施されていると思います。

私も二副として、これまでに従来と違う日々と、メールチェックする日々に、追われています、一週間メール確認しなければ、大変な事態と時間がかかり、大変な事になっている状況です、

これまでに、ガバナーチームとして、LCIFの様々なセミナーを始め、WEBでの各種セミナーなどに参加しております。

また、第二副地区ガバナー研修プログラムを、ITで参加進行中です。国際協会からの様々な研修内容に、努力し継続しておりますが、必要性のないような事も多数ありますが、まずは、研鑽するしかありませんので、今期の活動も、四半期が終わり更なる活動の状況が次から次と出てきますが、頑張ってまいりますので、今後共よろしく願います。

報 告 事 項



複合地区各種会議

● 第107回 国際大会報告書

(2025. 7. 24) 第107回国際大会報告書 オーランド 2025. 7. 13～7. 17 10 頁

● 一般社団法人日本ライオンズ

◆ 社員総会（全国ガバナー会）

(2025. 6. 25) 第4回社員総会（全国ガバナー会）議事要録 21 頁

(2025. 8. 4) 第1回社員総会（全国ガバナー会）議事要録 31 頁

◆ 理事会

(2025. 6. 4) 第10回理事会議事録 38 頁

(2025. 6. 25) 第11回理事会議事録 46 頁

(2025. 7. 2) 第12回理事会議事録 48 頁

(2025. 8. 4) 第1回理事会議事録 54 頁

(2025. 8. 20) 第2回理事会議事録 56 頁

◆ P R マーケティング委員会

(2025. 8. 21) 第1回P R マーケティング委員会会議（対面+WEB）議事要録 60 頁

◆ 国際理事候補者資格審査委員会

(2025. 8. 9) 第1回国際理事候補者資格審査委員会（対面+WEB）議事要録 63 頁

(2025. 8. 20) 第2回国際理事候補者資格審査委員会（対面+WEB）議事要録 66 頁

◆ 会則委員会

(2025. 9. 2) 2025-2026 第1回会則委員会（対面+WEB）議事要録 68 頁

◆ 国際大会委員会

(2025. 8. 5) 第1回国際大会(対面+WEB)議事録 71 頁

(2025. 9. 2) 第2回国際大会(対面+WEB)議事録 74 頁

◆ Y C E 委員会

(2025. 5. 16) 2024-2025 第6回Y C E 委員会(WEB)議事録 79 頁

(2025. 6. 22) 2024-2025 第7回Y C E 委員会議事録 82 頁

(2025. 8. 25) 2025-2026 第1回Y C E 委員会(WEB)議事録 87 頁

◆ アラート委員会

(2025. 8. 26) 2025-2026年度 第1回アラート委員会(対面+WEB)議事録 91 頁

● ライオン誌日本語版委員会

(2025. 5. 12) 2024-2025 第10回会議 (ZOOM)議事録 98 頁

(2025. 6. 13) 2024-2025 第11回会議 (ZOOM)議事録 101 頁

(2025. 7. 24) 2024-2025 第12回会議 (ZOOM)議事録 104 頁

(2025. 8. 19) 2025-2026 第1回会議 (ZOOM)議事要録 107 頁

第 107 回国際大会報告書

(米国フロリダ州・オーランド 2025 年 7 月 13 日－7 月 17 日)

I. 国際役員の選出

7 月 15-16 日にオレンジ・カウンティ・コンベンションセンターで行われた投票で、本年度国際役員が**別紙1**の通り選出されました。

国際会長には、インドのA.P.Singh元国際第一副会長、国際第一副会長には、米国コネチカット州のMark S. Lyon元国際第二副会長、国際第二副会長には、ケニアのManoj Shah元国際第三副会長、国際第三副会長には、オーストラリアのTony Benbow元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、日本から田名部智之元協議会議長(332-A地区・八戸LC)及び仁科良三元協議会議長(334-E地区・長野みすずLC)、台湾からKuo-Yung Hsu元地区ガバナー(300-A2 地区・Taipei Chin-Cheng ライオンズクラブ所属)を、韓国からSoon-Tak Choi元協議会議長(355-E 地区・Geochang Dongbuライオンズクラブ所属)が選出されました。

II. 2025-2026 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通りです。

田名部 智之 国際理事	会員増強委員会(委員)
仁科 良三 国際理事	大会委員会(委員)

III. LCIF国際役員

鶴嶋 浩二 元国際理事	LCIF理事(第5会則地域 3年任期の2年目) プログラム委員会(委員)
-------------	---

IV. 国際会則の改正

7 月 15-16 日にオレンジ・カウンティ・コンベンションセンターで行われた投票により、上程された国際会則及び付則改正案は第 2 項を除きすべて可決されました。

(別紙 2 参照)

V. 新国際会長の就任

閉会式で A.P.Singh 新国際会長の就任セレモニーが行われました。

新国際会長の略歴は別紙 3 の通りです。

カラー顔写真は国際協会 HP(日本語版)からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先：

https://www.lionsclubs.org/sites/default/files/division/marketing/headshots/Singh_AP_2025.jpg

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、A.P.Singh 新国際会長は個人のテーマ表現を『Lead to Serve, Serve to Lead. 』(リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。)としてい

ます。詳しくは次の国際協会ウェブサイト(日本語版)URLからダウンロードしてください。

LCI公式ウェブサイト国際会長テーマ掲載ページ:

[会長テーマ | ライオンズクラブ国際協会](#)

ビデオ掲載先:

[We Step Up | 2025-26 International President A.P. Singh](#)

VI. 国際コンテスト

インターナショナル・パレードにおける日本からの入賞は次の通りです。

・ <国際パレード>

第二部門コンテスト(代表団の境界線外から雇われたグループ)

バンド(Other) 3位: 日本

VII. 表彰

(1). ライオンズ人道主義大賞(Humanitarian Award)

ブラジルで恵まれない人々に無料で医療を提供している非営利団体の、オブラス・ソシアイス・イルマン・ドウセ(OSID)が受賞しました。「ブラジルの守護天使」として知られるシスター・ドウセが創設したオブラス・ソシ アイス・イルマン・ドウセは、何十年にわたり必要不可欠な医療、社会的支援、教育 サービスを提供してきました。OSID は、ブラジルで最大の医療複合施設で無料のケアを提供しており、毎年 300 万人以上が受益しています。シスター・ドウセならびにオブラス・ソシ アイス・イルマン・ドウセについては以下をご参照下さい。

国際協会公式ウェブサイト掲載ページ(別紙4)

[md_M0Q7h7mlbYN51Ilr.jpg.pdf](#)

(2). 国際平和ポスター・コンテスト

2024-25 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、Shuwen Wang さん(中国、スポンサー:大連徳龍ライオンズクラブ)、日本からの優秀賞受賞は吉田 昊未さん(スポンサー:富山昭和ライオンズクラブ)ならびに山本 視栄さん(スポンサー:岡山ハーモニーライオンズクラブ)です。

入賞作一覧は以下より御覧いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-approach/youth/peace-poster/current-winners>



吉田さんの作品



山本さんの作品

(3). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした 2024-25 年度国際作文コンテスト大賞は、Robert Hunt さん (New Zealand、スポンサー: Lower Hutt Host Lions Club) が受賞しました。

全文は以下 URL よりご覧いただけます。

https://cdn2.webdamdb.com/md_wSosDFm2hMi32ULf.jpg.pdf?v=1

VIII. 初日総会(7月15日)

オリベ이라国際会長から年次報告、国際平和ポスター・作文コンテスト大賞受賞者の表彰、2025-2026 年度国際第3 副会長候補者 Tony Benbow 元国際理事の選挙演説及びインスタレーション、フラッグ・セレモニーなどが行われました。

IX. 二日目総会(7月16日)

パティ・ヒル LCIF 理事長の年次報告と表彰などが行われました。

基調講演ではエミー賞を受賞した ABC ニュース・キャスター兼特派員のダイアン・マセド氏がインタビュアーとなり、伝説的なオリンピック選手であり、メンタルヘルス活動家であるマイケル・フェルプス氏との対談が行われました。フェルプス氏は対話の中で自身のメンタルヘルスに関する問題を開示し、乗り越えた方法やマイケル・フェルプス財団について話されました。

ダイアン・マセド氏ならびにマイケル・フェルプス氏については以下をご参照ください。

国際協会公式ウェブサイト掲載ページ(別紙 5): [二日目総会の基調講演者.pdf](#)

マイケル・フェルプス財団ウェブサイト(英語): [Homepage - MPF](#)

X. 最終日総会(7月 17 日)

オリベira国際会長の開会宣言の後、ミッション 1.5 関連のアワード受賞者が会場のスクリーンにて発表され、日本からもクラブ単位や個人での受賞がありました。

新会長紹介ビデオが上映されたのち国際会長交代セレモニーが行われ、A.P. Singh 新国際会長が誕生しました。演説の中で A.P. Singh 新国際会長はミッション 1.5 の重要性と今後世界中すべてのクラブで 1 人の新会員の獲得の呼びかけ等を行いました。

新会長の演説の後、投票で選ばれた新執行役員と国際理事が発表され、仁科国際理事と田名部国際理事は新国際理事として登壇しました。

最後に来年の第 108 回香港国際大会のプロモーションとエレクトセレモニーが行われ、第 107 回オーランド大会は幕を閉じました。

XI. 参加代議員及び補欠数(7 月 17 日閉会式発表)

7 月 17 日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は 2,881 名でした。

日本からの代議員数等は、秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

XII. オーランド国際大会の大会登録者数

全世界からの登録数、日本からの登録数について、公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。

また、日本からのパレード参加者数は 900 名前後とのことです。

XIII. 各種セミナー

今大会では以下の日本語通訳のあるセミナーが行われました。

(1) 地区の管理 (7 月 14 日)

OSEAL 調整事務局 マーズ事務局長の司会のもと、濱野国際理事、城阪国際理事、鶴嶋 LCIF 理事をお迎えし、DGE およびそのチームのためのセミナーが開催されました。

(2) ビジネスセッション (7 月 14 日)

オリベira国際会長の挨拶の後、代議員投票について日時や場所、ルールの説明がありました。指名委員会より各国際理事候補者の紹介があり、各理事候補者及び推薦者 1 名が登壇、スピーチを行いました。日本からは仁科 IDC と田名部 IDC ならびに両候補者の推薦者として山田實紘元国際会長が登壇されスピーチを行いました。

(3) LCIF ボランティア構造セミナーおよび戦略会議 (7 月 16 日)

プレゼンターとして山田實紘元国際会長をお迎えし、LCIF の役職を務めるリーダーを対象に、最新情報の報告や戦略の検討、クラブや地区と LCIF の取り組みを繋げるための実践的な知識の共有が行われました。

(4) ミッション 1.5: ライオンズのいない世界: 奉仕するための拡大 (7 月 16 日)

全執行役員がプレゼンターとして登壇し、ライオンズがいない世界はどうなってしまうのか、ミッション 1.5 の重要性と会員拡大が単なる数字ではなく、実際にどのような

変化を及ぼすのかを話されました。最後には抽選会が開催され、当選者には iPad が贈呈されました。

その他に開催されたセミナーおよびイベントは以下の通りです。(一部抜粋)

- (5) **スペシャルオリンピックスのユニファイドスポーツ・イベント(7月 13 日)**
表彰の他、スペシャルオリンピックスのアスリートと非アスリートのチームでボッチェボールとズンバの競技を行いました。
- (6) **Ellie のご紹介:ライオンズクラブ向け AI アシスタント (7月 15 日)**
素早い回答とアイディア、情報資料でライオンズとレオをサポートする新しいチャットボット、「Ellie」の機能やアクセス方法、効果的な使い方の解説が行われました。会場は超満員となり、大盛況となりました。
- (7) **平和ポスター交流会(7月 15 日)**
今年の平和ポスター・作文コンテスト大賞受賞者によるサイン会が行われました。
- (8) **LCIF 理事長表彰(7月 16 日)**
大会期間中に US \$ 1,000 以上を寄付した参加者が、LCIF ブースステージで、パティ・ヒル理事長から表彰されました。日本メンバーの表彰もありました。

XIV. 今後の国際大会の日程と開催地

〈第 108 回〉	2026 年 7 月 3～7 日	香港
〈第 109 回〉	2027 年 7 月 2～6 日	米国 ワシントン D. C.
〈第 110 回〉	2028 年 6 月 23～27 日	シンガポール
〈第 111 回〉	2029 年 6 月 29～7 月 3 日	米国ミネソタ州 ミネアポリス
〈第 112 回〉	2030 年 6 月 28～7 月 2 日	米国テキサス州 サンアントニオ
〈第 113 回〉	2031 年 7 月 4～8 日	フィンランド ヘルシンキ

2025 年 7 月 24 日
一般社団法人 日本ライオンズ

2 0 2 5 国 際 大 会 選 出 役 員

国際会長	エー ピー シン A. P. Singh(インド)
国際第一副会長	マー ク ライオン Mark S. Lyon (米国・コネチカット)
国際第二副会長	マノー ジ シャー Manoj Shah (ケニア)
国際第三副会長	トニー ベンボウ Tony Benbow (オーストラリア)
国 際 理 事	
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (6名改選)	Nadine Bushell (トリニダード) Liz Crooke (米国・カリフォルニア) David W. Wentworth (米国・ネブラスカ) Mark Mansell (米国・ワシントン) Gary Steele (米国・ノースカロライナ) Melissa Washburn (米国・ニューメキシコ)
カナダ(1名改選)	Debbie Dawson(カナダ)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島(1名改選)	Celina Guimaraes (ブラジル)
ヨーロッパ(3名改選)	Niels Schneckner (ルーマニア) Hroar Thorsen (ノルウェー) Drazen Melcic (クロアチア)
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (1名改選)	Nazmul Haque (インド)
東洋東南アジア(4名改選)	Ryozo Nishina (日本) Tomoyuki Tanabu (日本) Soon-Tak Choi (韓国) Kuo-Yung Hsu (台湾)

以上



別紙2

公式通達

2025 年国際大会、米国フロリダ州オーランド

以下の国際会則及び付則改正案が
2025 年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

第 1 項：現地税金および納入金が適用されるクラブに対して、当該税金および納入金を国際協会が請求に含めることを認める決議案。

可決 (付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 12 条「入会金及び会費」を改正し、新たな第 3 項を以下の通り挿入する。

第 3 項。現地納入金及び税金。上記第 2 項に従って課される会費に加えて、国際協会は、あらゆる政府組織または税務当局によって国際会費に課される現地税金や納入金に対応するため、追加の金額を徴収することができる。

さらに、第 3 項「延滞金利」の項番を第 4 項に繰り下げる。

第 2 項：アメリカ合衆国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島の国際理事の定数を偶数年においては 1 名、奇数年においては 2 名減らし、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島の国際理事の定数を偶数年において 1 名増やし、さらに、インド、南アジア、中東の国際理事の定数を奇数年において 2 名増やすことにより、国際理事の定数を再配分する決議案。

否決

(会則に対するこの改正案の可決には 3 分の 2 の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

2026 年 7 月 1 日を施行日として、第 5 条第 3 項の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第 3 項。国際理事会の会則地域別構成及び選挙。国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、及び第三副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。



各偶数年に 18 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 2 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、アフリカのクラブから 1 人を選出するものとする。

各奇数年に 17 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、カナダのクラブから 1 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 4 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人を選出するものとする。

第 3 項：地区ガバナー、第一副地区ガバナー、または第二副地区ガバナーが同じクラブのメンバーであることを禁ずる決議案。

可決

(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 8 条第 7 項「地区キャビネット」の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第 7 項。地区キャビネット。各単一地区及び準地区は、議長としての地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー（いずれも同一クラブに属さないこと）、前地区ガバナー、並びにそれぞれ単一、暫定、又は複合地区会則の規定で定められる手順で選出又は任命されるリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、キャビネット幹事及びキャビネット会計又は幹事兼会計、その他地区（単一、準、複合）会則及び付則で規定されるクラブ会員で構成される地区ガバナー・キャビネットを設ける。ただし各地区のガバナーは、自分の任期中にリジョン・チェアパーソンの役職を活用するかどうか定める権限を持つ。活用されなかった場合には、リジョン・チェアパーソン職はその地区ガバナーの任期中、空席となる。それぞれの地区（単一、準、複合）は、その会則及び付則の中に、選出される第一及び第二副地区ガバナーの規定を加えなければならない、各職責は国際理事会によって定められる。所属クラブが存在するリジョン又はゾーンのクラブ会員だけが、そのリジョン・チェアパーソン又はゾーン・チェアパーソンとして選出又は任命されるものとする。

A. P. シン
国際会長

A. P. シン（インド・コルカタ）は、2025年7月13日から7月17日にかけて米フロリダ州オーランドで開催されたライオンズクラブ国際協会の第107回国際大会で、同協会の国際会長に選出された。

シン国際会長は、現役の公認会計士。家族経営の自動車販売業にも携わっている。

1984年にカルカッタ・ヴィカス・ライオンズクラブに入会して以来、地区ガバナーや協議会議長など、協会の数多くの役職を歴任してきた。GMT国際コーディネーターを4年間務めただけでなく、多くの理事会特別委員会のメンバーも務めている。アメリカのシカゴにおける2017年DGEセミナーでは委員長、そしてALLI、RLLI、FDI、LCIP認定などのプログラムでは50回以上講師を務めた経験もある。また、視力ファースト・キャンペーンIIのマルチナショナル・コーディネーター、LCIFステアリング委員会のメンバー、インド視力ファースト委員会の委員長としての役目も果たしてきた。

シン国際会長はすべての会則地域で、エリア・フォーラムに参加しセミナーを開催した経験がある。インドのコルカタで行われたISAAMEフォーラムでは実行委員会の共同委員長を務めた。

国際協会への貢献が認められ、シン国際会長はこれまでに複数の国際会長賞、さらには国際協会から会員に与えられる最高の荣誉である親善大使賞など、多くのアワードを受賞している。視力ファースト・キャンペーンIIおよびキャンペーン100では大口の寄付を行っており、累進メルビン・ジョーンズ・フェローである。

ライオンズクラブでの活動に加え、他の信託、財団、企業との協力により、さまざまな奉仕プログラムを立ち上げ、評価されている。ウェブベースのライオンズ指導力開発プラットフォームやマイクロファイナンス・プログラムの設立に取り組んできたほか、ライオンズを活動に引き込み続けるため複数の大規模なオンラインイベントも企画・開催している。

シン国際会長には3人の子供がいる。

R-2/25

問い合わせ先：
シャウナ・シウダ
ライオンズ・インターナショナル広報部長
+1-630-468-7075
Shauna.Schuda@LionsClubs.org

即時リリース用

2025 年度ライオンズ・インターナショナルの人道支援大賞はオブラス・ソシアイス・イルマン・ドゥウセに

(イリノイ州オークブルック発) - ブラジルで恵まれない人々に無料で医療を提供している非営利団体の、オブラス・ソシアイス・イルマン・ドゥウセ (OSID) が栄えある ライオンズ・インターナショナル人道支援大賞 を受賞した。

この栄誉ある賞は、人道支援活動に模範的な熱意を示した個人や組織に対して毎年ライオンズ・インターナショナルが授与している。OSID は、ニーズのある世界に奉仕する決意を通して世界的な人道的活動に顕著な影響を与えた、傑出した過去の受賞者の一覧に名を連ねることになる。

「オブラス・ソシアイス・イルマン・ドゥウセは人道主義の本当の精神を体現しています」と、ライオンズ・インターナショナルのファブリシオ・オリベイラ国際会長は言う。「この非営利団体の、恵まれない人々に医療と社会奉仕を提供することに対する揺るぎない献身は、ライオンズ・インターナショナルの使命と完全に一致します。奉仕の分野における類まれなる貢献を称えることができ、光栄に思います。」

「ブラジルの守護天使」として知られるシスター・ドゥウセが創設したオブラス・ソシアイス・イルマン・ドゥウセは、何十年にわたり必要不可欠な医療、社会的支援、教育サービスを提供してきた。OSID は、ブラジルで最大の医療複合施設で無料のケアを提供しており、毎年 300 万人以上が受益している。この中には、がん患者、高齢者、障害者、リスクにさらされている子供たちやティーンエイジャーなどが含まれている。

また、この施設は何十もの医療ケアセンターを運営しており、合宿訓練プログラムで将来の専門家を研修することによって健康教育に貢献している。組織の使命は、「貧しい者のための聖ドゥウセ」として 2019 年にブラジルで初めて聖人に認定されたシスター・ドゥウセが残した愛と奉仕のレガシーを受け継いでいる。

「私たちの奉仕組織の仲間であるライオンズ・インターナショナルより、このような栄誉ある賞を受賞することができ、大変恐縮するとともに、感謝しています」と、OSID 理事長のホセ・カルバルホ氏は述べている。「この賞は、私たちのチームのたゆまぬ努

力とシスター・ドゥウセの終わることのないレガシーを称えるものです。シスター・ドゥウセのビジョンは最も困っている人たちに対する愛と奉仕という私たちの使命を導き続けています。」

カルバルホ氏は組織を代表して、7月にフロリダ州オーランドで開催されるライオンズ国際大会においてライオンズ・インターナショナル人道支援大賞の授賞式に出席する。賞には、[ライオンズクラブ国際財団](#)からの50万ドルの交付金が含まれ、ブラジルでのOSIDの人道支援活動を支援する。

ライオンズ・インターナショナルについて

[ライオンズ・インターナショナル](#)はライオンズクラブ国際協会およびライオンズクラブ国際財団から構成されています。ライオンズは4万9千のクラブに所属する140万人の会員による奉仕と財団の交付金による支援を通じて、地域社会と世界が直面する最も大きな課題の数々に取り組んでいます。私たちは地域社会で、そして世界で、健康と福祉を向上させ、コミュニティを強化し、困っている人たちに支援を提供しています。ライオンズ・インターナショナルは、ニーズのある世界に奉仕しています。

二日目総会の基調講演

卓越性とアドボカシー：オリンピック選手、マイケル・フェルプスとの忘れがたい対話

投稿日: 5月 21, 2025

7月16日（水）の二日目総会における感動的な基調講演をお見逃しなく。受賞歴のあるジャーナリストであるダイアン・マセドの司会により、伝説的なオリンピック選手であり、メンタルヘルス活動家であるマイケル・フェルプスが講演します。

史上最も偉大なアスリートの一人として広く知られているフェルプスは、28個のメダルを獲得し、うち23個の金メダルでは新記録を達成しました。さらに、その卓越したキャリアの間に39の世界新記録を打ち立てました。2008年にマイケル・フェルプス財団を創設し、水上安全、（身体的および精神的に）健康的な生活、そして夢を追求することを推進しています。



マイケル・フェルプス

伝説のオリンピック水泳選手およびメンタルヘルス活動家
基調講演者

2015年、フェルプスは勇敢にも自身のメンタルヘルスに関する問題について開示し、スポーツとポップカルチャーにわたる重要な対話を始めるきっかけとなる最初のそして最も著名なアスリートの声を代表する1人となりました。この分野における彼のアドボカシー活動は幅広く認められ賞賛されました。また、フェルプスはオリンピック選手が直面するメンタルヘルスの問題を取り上げたHBOドキュメンタリー「The Weight of Gold（金の重み）」の製作総指揮を取り、ナレーターを務め、自身も出演しました。さらに、インディフリックスのドキュメンタリー「Angst（苦悩）」では、中学生とその家族が抱える不安について取り上げています。

ダイアン・マセド

エミー賞受賞ABCニュース・キャスター兼特派員
基調インタビュアー

基調インタビュアーのダイアン・マセドは、エミー賞を受賞したABCニュースのキャスター兼特派員であり、グッドモーニングアメリカやワールドニュース・トゥナイトにおいて知られています。「The Sleep Fix（睡眠修正）」を2021年に執筆し、長年にわたって個人的に苦闘した不眠症について記しています。成人になってからADHDの診断を受けたマセドは、この診断が自己認識をどのように変えたかを語り、幸福におけるメンタルヘルスの影響を強調しています。



フェルプスとマセドのステージ上の対話は、オーランドで開催される第107回ライオンズ国際大会において直接聞くことができます。ライオンズとレオのためだけに企画された注目の対談は、輝かしいスポーツ界での軌跡とその裏にある弱さの吐露が融合する感動的なものとなること間違いなしで、真のレジェンドから忍耐と希望についての貴重な教訓が得られることでしょう。

2025年6月25日(水) 13:30-16:00 AP 東京八重洲 A ルーム

出席者リスト

<正社員> 2024-25 年度

330-A 地区ガバナー 森 亮 介
 330-B 地区ガバナー 倉 田 雅 史
 330-C 地区ガバナー 猪野塚 弘 樹
 331-A 地区ガバナー 美 田 法 賢
 331-B 地区ガバナー 伊 東 隆 志※【欠席】
 331-C 地区ガバナー 齋 藤 尚 仁※【欠席】
 332-A 地区ガバナー 吉 澤 俊 寿
 332-B 地区ガバナー 平 野 嘉 男※【欠席】
 332-C 地区ガバナー 佐 藤 久 一 郎※【欠席】
 332-D 地区ガバナー 車 田 信 彦
 332-E 地区ガバナー 安 孫 子 英 彦
 332-F 地区ガバナー 長 澤 源 一※【欠席】
 333-A 地区ガバナー 高 頭 八 郎※【欠席】
 333-B 地区ガバナー 福 田 智 恵
 333-C 地区ガバナー 大 瀧 勝 明 【欠席】
 333-D 地区ガバナー 染 谷 文 雄
 (2025年4月30日 ご逝去)
 333-E 地区ガバナー 椎 名 健 二
 334-A 地区ガバナー 柴 田 高 志
 334-B 地区ガバナー 丹 羽 浩 康※【欠席】
 334-C 地区ガバナー 鷹 嶋 邦 彦
 334-D 地区ガバナー 杉 木 徹
 334-E 地区ガバナー 浜 一 平
 335-A 地区ガバナー 永 田 雅 章※【欠席】
 335-B 地区ガバナー 古 川 繁 浩※【欠席】
 335-C 地区ガバナー 野 々 山 宏※【欠席】
 335-D 地区ガバナー 今 市 明 弘※【欠席】
 336-A 地区ガバナー 石 井 淑 雄
 336-B 地区ガバナー 上 原 正 樹
 336-C 地区ガバナー 鳴 戸 大 二※【欠席】
 336-D 地区ガバナー 神 田 義 満
 337-A 地区ガバナー 矢 野 進※【欠席】
 337-B 地区ガバナー 武 永 健 治 郎
 337-C 地区ガバナー 為 永 一 夫※【欠席】
 337-D 地区ガバナー 宇 都 要 一※【欠席】
 337-E 地区ガバナー 吉 井 本※【欠席】

(2024-25 年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長 田 名 部 智 之
 公益財団法人日本ライオンズ理事長 小 野 寺 眞 悟

(2024-25 年度 協議会議長)

MD330 議長 伊 賀 保 夫
 MD331 議長 諏 訪 昇 三
 MD332 議長 渡 邊 俊 弥
 MD333 議長 佐 藤 裕 幸
 MD334 議長 喜 多 友 一
 MD335 議長 廣 田 晃 一
 MD336 議長 藤 井 信 英
 MD337 議長 濱 田 浩 平

(2023-24 年度 協議会議長)

MD330 議長 田 中 雄 一
 MD331 議長 松 浦 淳 一
 MD332 議長 栗 村 安 弘※【欠席】
 MD333 議長 星 野 勝 美
 MD334 議長 戸 祭 宏 樹
 MD335 議長 中 谷 豊 重
 MD336 議長 澤 辰 水
 MD337 議長 新 里 正 雄

(2024-25 年度 新理事)

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜
 2023-25 国際理事 濱 野 雅 司
 2024-25 LCIF 理事 鶴 嶋 浩 二

(2024-25 年度 監事) 2 年任期の 1 年目

MD332 元議長 下 間 俊 悦
 MD333 元議長 石 橋 貞
 MD335 元議長 小 林 聰※【欠席】
 MD337 元議長 乗 田 泰※【欠席】

※議決権行使書

正社員総数 59 名 (出席 39 名・欠席 20 名)

【正社員】 第4回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席	小計
D G	17	17	34
理事	20	1	21
監事	2	2	4
	39	20	59(名)

議決権行使書

第1号議案：社員退会者承認の件

賛 19 否 0

第2号議案：新社員入社予定者承認の件

賛 19 否 0

第3号議案：2024-25 年度事業報告及び計算書類（経過）承認の件

賛 19 否 0

第4号議案：理事の任期満了に伴う改選案に関する件

賛 19 否 0

オブザーバー**【国際協会】**

元国際会長／名誉理事長

山田 實 紘

【2024-25 日本 GAT】

エリアリーダー(統括)

鈴木 誓 男【欠席】

エリアリーダー(東日本)

小川 晶 子【欠席】

エリアリーダー(西日本)

松岡 勲

エリアリーダー(GLT/GST)

識 名 安 信【欠席】

副エリアリーダー(MD330,333)

伊藤 和 子

副エリアリーダー(MD331,332)／前理事長

田名部 智之 *

副エリアリーダー(MD334,335)

大山 恭 範【欠席】

副エリアリーダー(MD336,337)

有本 みどり【欠席】

副エリアリーダー(GLT/GST)／次期 MD331 議長

設 楽 幸 子

DGE グループリーダー

濱島 清 美

アドバイザー

川島 正 行【欠席】

25-27 年度 国際理事候補者／元理事長(21-22)

仁科 良 三

25-27 年度 国際理事候補者／前理事長(23-24)

田名部 智之

【次期議長予定者】

330 複合地区／330-B 地区ガバナー

倉 田 雅 史

331 複合地区／副エリアリーダー(GLT/GST 担当)

設 楽 幸 子

332 複合地区／332-D 地区ガバナー

車 田 信 彦

333 複合地区

水 沼 孝 夫

334 複合地区／334-D 地区ガバナー

杉 木 徹

335 複合地区

山 本 忍

336 複合地区

山崎 もとみ

337 複合地区／337-B 地区ガバナー

武 永 健 治 郎

【地区ガバナーエレクト】

330-A 地区ガバナーエレクト

上野 繁 幸【欠席】

330-B 地区ガバナーエレクト

森川 吉 孝【欠席】

330-C 地区ガバナーエレクト

三浦 宏 仁【欠席】

331-A 地区ガバナーエレクト

山崎 巖

331-B 地区ガバナーエレクト

大島 尚 久【欠席】

331-C 地区ガバナーエレクト

高橋 伸 介【欠席】

332-A 地区ガバナーエレクト

藤田 鉄 哉

332-B 地区ガバナーエレクト

廣田 清 実【欠席】

332-C 地区ガバナーエレクト	齋藤 孝一	【欠席】
332-D 地区ガバナーエレクト	酒井 富也	
332-E 地区ガバナーエレクト	横山 昭子	【欠席】
332-F 地区ガバナーエレクト	野宮 加代子	【欠席】
333-A 地区ガバナーエレクト	林 隆行	【欠席】
333-B 地区ガバナーエレクト	前原 正義	【欠席】
333-C 地区ガバナーエレクト	廣瀬 直樹	
333-D 地区ガバナーエレクト	荻野 匡司	
333-E 地区ガバナーエレクト	若林 純也	【欠席】
334-A 地区ガバナーエレクト	速水 清朗	
334-B 地区ガバナーエレクト	加藤 謙一	
334-C 地区ガバナーエレクト	杉山 節雄	
334-D 地区ガバナーエレクト	森川 直之	
334-E 地区ガバナーエレクト	飯田 重光	
335-A 地区ガバナーエレクト	栗栖 正明	【欠席】
335-B 地区ガバナーエレクト	笹部 美千代	【欠席】
335-C 地区ガバナーエレクト	田端 俊三	【欠席】
335-D 地区ガバナーエレクト	船橋 佳照	【欠席】
336-A 地区ガバナーエレクト	向 和人	
336-B 地区ガバナーエレクト	榎本 明	
336-C 地区ガバナーエレクト	宮本 浩二	【欠席】
336-D 地区ガバナーエレクト	日下 眞二	【欠席】
337-A 地区ガバナーエレクト	松村 誠	【欠席】
337-B 地区ガバナーエレクト	増田 勝也	【欠席】
337-C 地区ガバナーエレクト	川原 保治	【欠席】
337-D 地区ガバナーエレクト	脇黒丸 一典	【欠席】
337-E 地区ガバナーエレクト	熊宮 敏紘	【欠席】

【一般社団法人日本ライオンズ】

法律顧問	池田 和司	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	
事務長	増澤 義治	

【松浦理事長事務局補佐】

南部谷 靖
成田 祐樹

以上

・社員総会開会に先立ち、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター 松本専務理事よりご挨拶と取り組みについての説明を頂いた。

中谷専務理事

議事開始前に出席状況を確認した結果、社員総数 59 名中 58 名（会場 39 名、議決権行使 19 名、欠席 1 名）が出席しており、定款 16 条で定める定足数（社員総数の過半数）を充足しているため本定時総会は適法に成立したと宣言された。

また、定款 17 条に基づき、以後の議決は出席社員の過半数をもって決する旨が報告された。

1. 開会のことば 日本ライオンズ理事長 松浦 淳一

開会にあたり山田元国際会長、国際理事の皆様、各地区ガバナー、ガバナーエレクト並びに関係者へ感謝を述べ、昨年 8 月 4 日の就任以来の支援に深く謝意を示した。自身が病にかかり手術・抗がん剤治療を受けた際、山田 PIP をはじめ多くのメンバーがサポートしてくれたことを回想し、「助けられた命をライオンズに捧げたい」と決意を表明した。

就任後は田名部前理事長が進めた組織改革を継続しつつ実装段階へ移行したと説明し、特に(1)国際協会に認められる強固な運営体制づくり、(2)会費値上げとライオン誌送料負担の社団一元化、(3)国際会長・要人来日の受け入れ体制の社団予算化、(4)国際大会やパレード支援費用の社団負担など、具体的な 4 点を成果として示した。

賛助会費値上げは 35 地区の事情に配慮しながら 10 月から議論を重ね、各地区大会で承認に至った経緯を報告したほか、ライオン誌の発送先を将来的にクラブ宛へ集約し活用を促進する考えを示した。また為替が 150 円付近で推移し補助金収入が減少する可能性に触れ、財政リスク管理の重要性を強調した。来期以降は国際会長招請や大会関連費用を社団として計画的に負担し、会員サービスを向上させる方針を示し、GAT 担当制強化による全国的な奉仕活動の底上げと会員増強、若手・女性の参加環境整備を呼び掛けた。

最後に「日本全体で力を合わせ、地域に即した魅力ある活動を展開し、新しい仲間を迎え入れよう」と締めくくり、出席者の協力を求めた。

2. 議事録作成人・署名人の選出

議事録署名人として 333-B 福田智恵ガバナー、337-B 武永健治郎ガバナーが選出
議事録作成人とし MD336 藤井常務理事、MD337 濱田常務理事が選出された。

3. 議事運営について

審議に入る前に議長から議事運営のルールが示され、総会の円滑な進行と秩序を保持するため出席者はすべて議長の指示に従うこと、発言は議長の指名を受けた順に行うこと、指名された者は所属地区と氏名を述べてから発言すること、質問や意見は簡潔にまとめおおむね 3 分以内とすることが確認された。

4. 審議事項

第 1 号議案 社員退会者承認の件

議案資料に記載された退会届提出者 59 名について説明がなされ、質疑を求めたが異議はなく、出席・委任を含む全会一致で当該正社員 59 名の退会を承認した。

第 2 号議案 新社員入社予定者承認の件

次年度の入社予定者 60 名の入社届を受理しており、理事会構成は今年度と同様の構成で 21 名とする。2 年任期中の監事は継続と説明のうえ質疑を求めたが発言はなく、出席・委任を含む全会一致で全員の入社を承認した。

第3号議案 2024-25年度事業報告及び計算書類（経過）承認の件

戸祭財務担当理事に代わり、吉田会計顧問より第3号議案の配付資料に沿って説明があった。

まず5月末時点の貸借対照表が示され、続いて正味財産増減計算書（概算見込）を説明し、会費値上げ分やライオン誌関連費用の影響、国際協会補助金、物販収益など主要科目についても概況を補足し、最終決算は6月30日締めとなり、7月8日に8MDによる年度末監査を受けたうえで8月4日の次年度第1回定時総会で正式承認を求める段取りが示された。

質疑を促したが発言はなく、議長が採決に付したところ出席・委任を含む全会一致の賛成で事業報告と計算書類経過を承認した。

第4号議案 理事の任期満了に伴う改選案に関する件

現行理事は本総会終結をもって任期満了となるため、次年度理事候補として現・前議長16名、前理事長1名、公益財団法人日本ライオンズ理事長1名、国際理事候補者2名、LCIF理事予定者1名の計21名体制とする旨が示され、資料記載の21名を次期理事候補者として推薦し、8月4日開催予定の第1回定時社員総会で正式選任する段取りとなることが報告された。議長が質疑を求めたが発言はなく、採決にて出席・委任を含む全員が賛成し、全会一致で原案どおり承認された。

5.報告事項：各種活動報告 等**◇国際理事会報告****・山田實紘元国際会長・名誉理事長**

本日の社員総会についてまずガバナーが1/3の出席、ガバナーエレクトの出席率が約55%にとどまったことに触れ、コロナ禍でオンライン中心となった結果、世界的にライオンズの熱量が下がったと指摘したうえで、対面での活発な意見交換を再開して組織の活力を取り戻すべきだと述べた。発言を遠慮する空気は組織を弱めるとして、立場や性別を問わず言うべきことを率直に言う文化への回帰を提唱した。

次にミッション1.5について、国際協会が日本に課した会員純増目標940名について算出根拠不透明だとしながらも、目標を達成してこそ日本の発言力が維持できると強調し、現実的な達成手段として家族会員の積極活用を勧めた。会費高騰下で入会基準を緩め過ぎればクラブの品位が損なわれ既存会員の流出を招くと警鐘を鳴らし、質を守りつつ数を伸ばす方策として家族会員や企業内クラブの活用を再度訴えた。さらに、LCIFへの日本の貢献は世界首位である一方、LCI本体での発言力を高めるには会員数増強が不可欠であると述べ、国際理事候補2名への支援を呼びかけた。情報がガバナーからゾーン・チェアパーソン、クラブへと途切れず伝達される体制の必要性を説き、全層が同じ目標を共有してこそミッション1.5が完遂できると説明した。

最後に7月のオランダ国際大会でメンバーシップに関する講演を行う予定であることを報告し、日本は必ず目標を達成できるので共に頑張ろうと出席者を鼓舞して報告を締めくくった。

・城阪勝喜国際理事

2年間の在任に対する謝意を述べた後、理事会活動の概要を報告した。エジプト、カナダ、ブラジル、オークブルックなど世界各地の理事会に出席し、主に財務委員会と監査委員会を担当したと説明。

国際協会は総資産の一部をメルリンチで安全運用しており、年10%近い利回りによる収益が協会運営を支えていると紹介した。しかし今期はインドで会費に18%の消費税が課されたため約400万ドルの赤字が発生し、春の理事会では「経費削減」が最大課題となったと報告。国際会長の移動をファーストクラスからビジネスクラスへ切り替える検討や、世界から750人のガバナーをシカゴに集めて実施していたQセンター研修を全面オンラインに切り替える措置など、具体的なコスト削減策が議論されたと述べた。

自身が委員長を務める監査委員会では新たに外部監査法人RSM米国法人を選定し、財務と

業務の両面からチェック体制を強化したことを報告した。

最後にミッション 1.5 達成にはひ弱な世間のリーダーより元気な中小企業オーナーの入会促進が効果的だとして、地区レベルで意欲ある経営者を迎え入れ、日本は一丸となって会員増強と影響力拡大を図るべきだと呼び掛け、報告を締めくくった。

・濱野雅司国際理事

今年度のガバナーの労をねぎらい、ミッション 1.5 達成には会員増強だけでなく奉仕活動の活性化が不可欠だと強調した。

自身が 2 年間所属した奉仕事業委員会で世界各地の理事と交流し、日本の活動を国際水準で見直す機会を得たと述べた。6 月 21 日と 22 日に LCI 日本事務局主催で実施した奉仕アクティビティ・ウェビナーには初日約 400 名、2 日目約 200 名が参加し、国際協会の重点分野とアクティビティ報告手順を解説したと報告。

来期の世界奉仕週間は①10 月 4 日-12 日（心の健康ケア）②1 月 3 日-11 日（食料支援）③4 月 18 日-26 日（環境保全）の 3 回で、詳細は会員リソースセンターに用意された事業案を参照してほしいと呼び掛けた。

アワード制度では、今年度実施した優れた奉仕事業を顕彰する Kindness Matters Service Award への申請を 7 月 31 日までに地区 GST コーディネーター経由で行うよう依頼。次年度は会員純増 2 名または 10%、LCIF 寄付 1 人当たり 10 ドル、アクティビティ報告の要件を満たしたクラブに「クラブ優秀賞」、純増 20%（または 5 名）・寄付 20 ドルなど上位基準で「五つ星優秀賞」を授与する仕組みを紹介した。

研修面では FDI（Faculty Development Institute）が来期で終了し、申し込み締切が 8 月 25 日であること、来期は他の対面研修プログラムが予定されていないため人材育成に活用してほしいと説明。

アクティビティ報告率は世界平均約 75%に対し日本は約 70%であり、今年度分は 7 月 31 日までに必ず入力するよう要請した。

オーランド国際大会での投票では 7 月 15 日 12:00-17:00 と 16 日 10:00-17:00 の 2 日間のみで、

- ①インドなどで発生する会費課税分を該当国会員に転嫁できる定款改正
 - ②理事配分変更（米国-3、南米+1、インド+2）
 - ③同一クラブから同時にガバナーと第 1 副ガバナーを出せない規定
- の 3 議案が審議されると説明。

最後に奉仕週間への参加と正確な活動報告で日本の存在感を高めようと訴えて報告を締めくくった。

・鶴嶋浩二 LCIF 理事

本年度日本の LCIF 寄付目標 1,028 万 8,000 ドルに対し 6 月 23 日時点の実績が 1,027 万 4,744 ドルで達成率 99.9%に到達していると報告し、残り数日で目標を完全達成できる見通しであると述べた。これは円換算で約 14 億円に相当し、世界全体の LCIF 年間寄付額約 55 億円の中で日本の比重が極めて大きいことを強調した。交付金申請では 5 月末までに世界 184 件のうち日本関連案件はほぼ全件承認されており、例として 332 - C 地区の子ども見守りシステム構築、330 - B 地区のフィリピン支援施設 2 か所設置、337 地区の災害備蓄資機材整備などを紹介した。地区やクラブは交付金を活用して規模の大きい奉仕活動に発展させてほしいと呼び掛け、申請時期が遅れると年度後半に間に合わないケースが多いので早期手続きを勧奨した。

続いて 10 月 23 日 - 27 日に札幌で開催される第 62 回 OSEAL フォーラム委員長として準備状況の報告。記念トートバッグ試作品を配布し、本番ではより大きなバッグとバッジを用意すると案内。登録目標 1 万 6,000 人に対し 4 月 23 日時点では総計約 4,100 人とどまっている

現状を示し、各複合地区別の登録人数を読み上げて増員の協力を依頼した。会場確保の都合上、10月25日に同日程で開催される関ジャニ∞の札幌公演とホテル・交通手配が競合するため、早期登録の重要性を強調した。さらに登録キットを事前に各地区へ着払い発送する案への意見を求め、持ち帰りの手間を省く方法を検討すると述べた。

最後に、松浦理事長をはじめ執行部への謝意を表するとともに、これからも奉仕活動に邁進していただくよう訴えて報告を締めくくった。

◇公益財団法人日本ライオンズ活動報告

・公益財団法人日本ライオンズ 小野寺眞悟理事長

財団が設立から5年を迎えたことを報告し、同財団の重点事業を障がいのある子どもへの支援と位置づけていると説明した。具体的には2022年に開始した特別支援学校全国フットサル大会を今年で3回目まで開催し、延べ約3,000人の児童生徒が参加していると紹介した。また児童養護施設への学習支援寺子屋事業も2021年から展開し、現在43施設で小学生から高校生までを対象に学力向上と自己肯定感の醸成に取り組んでいる。児童養護施設入所児童の約70%が虐待経験者である現状を踏まえ、学習環境の整備とメンタルケアの重要性を強調した。

財政面では、寄付の大半を役員自身が負担しており、今年度は理事長の地元MD331から約2,300万円、最初の理事長である不老PIDの所属するMD337からも多額の支援が寄せられたと報告した。財団役員は手弁当で活動しており、事務費も自己負担であると説明して参加者の理解と協力を求めた。さらにLCIFとのパートナーシップによる交付金や助成金の獲得が進んでいる。次年度は支援対象児童をさらに拡大するための改正案を策定し、クラブレベルでの理解浸透を図る広報活動を強化する方針を示した。

呼ばれればどこへでも出向いて説明すると述べ、最後に障がいを持つ子どもたちの自立を後押しするのが公益財団法人日本ライオンズの使命であり、今後とも変わらぬ支援とご指導をお願いしたいと結んだ。

◇GAT エリアリーダー報告

・松岡勲 GAT 西日本エリアリーダー

来期の喜多理事長予定者と新執行部への協力を呼びかけ、日本ライオンズ組織が一つのチームとして機能するには、GATとLCIFを両輪で連携させることが不可欠だと強調した。特にGSTが創出する奉仕活動こそが会員増強(GMT)とリーダー育成(GLT)を促進し、FWTによる家族会員拡充へ循環するという流れを再確認してほしいと訴えた。

ミッション1.5達成に向けてはスペシャリティクラブが増加しており、その受け皿として会費・例会形態など既存クラブの規制緩和が必須と指摘した。

来期の年次大会議案では、ガバナーエレクトと次年度第1副地区ガバナーが連携し、会則改定を含む環境整備を進めるよう要請した。またGLT研修報告の提出率が87.5%にとどまり、未報告はMD333のみであると明かし、6月30日までに必ず登録するよう強い協力を求めた。さらに、FDI受講や各種研修の申込みは研修実績報告が前提条件となるため、全地区の報告はもちろん、MDからの報告もしっかりしていただきたいとお願いをし、報告を締めくくった。

◇一般社団法人日本ライオンズ監事中間報告

・石橋貞監事

本総会で審議した4件の議案が出席者全員の賛同を得て承認されたと報告し、協力に感謝を述べた。社員総会は年4回実施しており、今後はガバナーの出席率向上が重要課題だと指摘した。世界情勢が読めないため、国際理事、LCIF理事にも理事会へ入っていただき情報共有を強化できたことは有意義だったと評価した。

会費値上げをめぐるっては前回理事会で決議済みであり、各複合・地区の年次大会での承認状況を注視していると説明し、自身の所属する333複合では議長の円滑な進行で異議なく可決されたと報告した。最後に次期役員・ガバナーに引き続き積極的な参加と協力を求めた。

◇一般社団法人日本ライオンズ委員会報告

・国際大会委員会 戸祭宏樹委員長

オランダ国際大会に伴う行事運営の詳細を報告した。7月15日の代議員朝食会はビジネススタイルでの参加を求め、DGE 向けのバス代金が1人あたり7,000円、同伴者が来られる方は計14,000円負担となると説明した。

国際大会で行われるパレードについて、集合は8時30分、出発順位は151番目であると伝えた。行進の迫力を高めるため、ブラスバンドや三三七拍子を入れる。前日打合せと当日の待機時間が長引く可能性が高いことから、参加者へ十分な協力を求めた。

・YEC委員会 田中雄一委員長

日本ライオンズとして統一の指針がなかったホストファミリー手引書を新たに作成し、ホストクラブ向けガイドを追加したこと、また複数年にわたり検討しているYCE事業の日本ライオンズ一本化については結論に時間を要するため、来期委員会へ諮問機関の設置を含め継続協議事項として引き継いでいく。

今年度の冬期・春期交換プログラムは重大事故もなく終了し、夏期交換についても現在順調に準備が進んでいると説明した。夏期は7月から8月、遅い地区では9月まで日程が延びるため、現ガバナーの任期内に委員会メンバーを激励していただきたいと報告した。

・アラート委員会 新里正雄委員長

アラートフォーラム in 茨城では委員長班長研修を今回はじめて開催。次年度の開催予定のアラートフォーラム in 大阪では、支援活動に関心を持つメンバーの積極的な参加を求めた。また、アラートフォーラムへのガバナーの出席が非常に少なかった件に触れ、次回は各地区からの参加を強く要請した。

・会則委員会 中谷豊重委員長

改訂版の役員必携を本年度中に発行し、まもなく各クラブへ配布できる見込みである。しかしライオンズ必携については、大幅な条文整理と見直し作業に時間を要しているため今期内の完成は困難だが、ひな形と根拠条文の整理は終えており、次年度早期に発行できるよう準備を進めると説明した。

・国際理事候補者資格審査委員会 澤辰水委員長

昨年8月2日、日本ライオンズ事務局で行い、2025-2027年度国際理事候補者として届出のあった田名部ライオンについて資格審査を行った。8複合の委員と入念にチェックをし、同候補者が国際理事候補者資格要件をすべて満たしていることを確認し、委員全員が審査報告書に署名捺印したと報告した。

・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 松浦淳一理事長

栗村理事が欠席の為、代わりに松浦理事長が報告。これまで唯一、一度も開催をしていない委員会である。本日冒頭で公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターご担当者にあいさつを頂いたが、薬物乱用防止は全国各地で積極的にやっているのもう一度立て直しをしてゆきたい。

・PRマーケティング委員会（ライオン誌） 星野勝美委員長

ライオン誌日本語版委員会及びマーケティング委員会で二つの活動をしており、今期はライオン誌の取材を内製化した結果、制作費を大幅に削減しつつ記事量と新企画を増やせたと報告した。国際理事関連などタイムリーな情報を掲載できた一方、ウェブ版の閲覧率は会員の約1割にとどまるため、LINEのQRコード配布やメールマガジン送信を試みたものの登録数が約6,000件に留まっていると課題を提示。

来期はクラブ宛一括発送へ変更し、クラブ例会で会長に紙面を紹介いただくなどの形で読者拡大を図るとともに、8月号から全国のマーケティング委員長が歩調を合わせて対外広報にも力を入れる方針を示した。

◇その他

・仁科良三国際理事候補者

オーランド国際大会の現地で皆と合流できるのを楽しみにしており、とりわけ日本からの参加者をえるのが待ち遠しいと述べた。自身の性格について感じれば言わずにいられず、見ればすぐ行動するタイプだと紹介し、全力で職責を果たすと約束した。最後に力強い支援を重ねて依頼し、謝辞を述べて挨拶を締めくくった。

・田名部智之国際理事候補者

日本ライオンズ前理事長としての現職を、本日をもって終えると挨拶し、松浦理事長が昨年の改革を受け継ぎさらに発展させたことに謝意を表した。理事会では発言を控えてきたが、7月のオーランド国際大会で当選を果たせば、仁科国際理事候補者とともに国際理事としてオールジャパンの立場を一層高めるべく全力で取り組むと決意を示した。

・松浦淳一理事長より一年を振り返っての閉会あいさつ

委員会報告が熱心に行われ、年間の成果が共有されたことに謝意を示し、疑問があれば事務局へ問い合わせしてほしいと述べた。

冒頭でも触れたとおり山田元国際会長の支援で助けられた命であり、これらの恩を返すのはライオンズしかないという決意を示した。各複合、35人のガバナーと親しく連携してきたと振り返り、1年間共に取り組んだ全員に深い感謝を表した。今年度は計116件の事業を実施し、対面・オンライン双方で出向した委員が35地区8複合地区へ積極的に関与したことを報告したうえで、来年度は喜多理事長予定者の体制の下でさらに社団を発展させて欲しいと展望を示した。

今後も忌憚のない意見を寄せてほしいと呼び掛け、オーランドへ向かう35名の健闘と各自の素晴らしい1年の締めくくりを祈念すると結んだ。

以上

議事録作成人：

常務理事

藤井 信英

常務理事

濱田 浩平

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長

松浦 淳一

【押印省略】

333-B 地区ガバナー

福田 智恵

【押印省略】

337-B 地区ガバナー

武永 健治郎

【押印省略】

(2025-26) 一般社団法人日本ライオンズ 第1回社員総会 (全国ガバナー会) 議事録

2025年8月4日(月) 13:30-16:00 AP 日本橋 G ルーム

出席者リスト**<正社員> 2025-26 年度**

330-A 地区ガバナー 上 野 繁 幸
 330-B 地区ガバナー 森 川 吉 孝
 330-C 地区ガバナー 三 浦 宏 仁
 331-A 地区ガバナー 山 崎 巖
 331-B 地区ガバナー 大 島 尚 久
 331-C 地区ガバナー 高 橋 伸 介
 332-A 地区ガバナー 藤 田 鉄 哉
 332-B 地区ガバナー 廣 田 清 実【欠席】※
 332-C 地区ガバナー 斎 藤 孝 一
 332-D 地区ガバナー 酒 井 富 也
 332-E 地区ガバナー 横 山 昭 子
 332-F 地区ガバナー 野 宮 加 代 子
 333-A 地区ガバナー 林 隆 行
 333-B 地区ガバナー 前 原 正 義【欠席】※
 333-C 地区ガバナー 廣 瀬 直 樹
 333-D 地区ガバナー 荻 野 匡 司
 333-E 地区ガバナー 若 林 純 也
 334-A 地区ガバナー 速 水 清 朗
 334-B 地区ガバナー 加 藤 謙 一
 334-C 地区ガバナー 杉 山 節 雄
 334-D 地区ガバナー 森 川 直 之
 334-E 地区ガバナー 飯 田 重 光
 335-A 地区ガバナー 栗 栖 正 明【欠席】※
 335-B 地区ガバナー 笹 部 美 千 代
 335-C 地区ガバナー 田 端 俊 三
 335-D 地区ガバナー 船 橋 佳 照【欠席】※
 336-A 地区ガバナー 向 和 人
 336-B 地区ガバナー 榎 本 明
 336-C 地区ガバナー 宮 本 浩 二
 336-D 地区ガバナー 日 下 眞 二
 337-A 地区ガバナー 松 村 誠
 337-B 地区ガバナー 増 田 勝 也
 337-C 地区ガバナー 川 原 保 治
 337-D 地区ガバナー 脇 黒 丸 一 典
 337-E 地区ガバナー 熊 宮 敏 紘

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ前理事長

松 浦 淳 一

公益財団法人日本ライオンズ理事長 小 野 寺 眞 悟

(2025-26 年度 協議会議長)

MD330 議長 倉 田 雅 史

MD331 議長 設 楽 幸 子

MD332 議長 車 田 信 彦

MD333 議長 水 沼 孝 夫

MD334 議長 杉 木 徹【欠席】※

MD335 議長 山 本 忍【欠席】

MD336 議長 山 崎 も と み【欠席】※

MD337 議長 武 永 健 治 郎

(2024-25 年度 協議会議長)

MD330 議長 伊 賀 保 夫

MD331 議長 諏 訪 昇 三

MD332 議長 渡 邊 俊 弥

MD333 議長 佐 藤 裕 幸

MD334 議長 喜 多 友 一

MD335 議長 廣 田 晃 一

MD336 議長 藤 井 信 英

MD337 議長 濱 田 浩 平

(25-26 年度 理事)

25-27 年度 国際理事 田 名 部 智 之

25-27 年度 国際理事 仁 科 良 三

25-26 年度 LCIF 理事 鶴 嶋 浩 二

(2025-26 年度監事) 2 年任期の 2 年目

MD332 元議長 下 間 俊 悦

MD333 元議長 石 橋 貞

MD335 元議長 小 林 聰

MD337 元議長 乗 田 泰

※議決権行使書

正社員総数 60 名 (出席 53 名・欠席 7 名)

【正社員】 第1回社員総会（全国ガバナー会）出席者数 内訳：

	出席	欠席	小計
D G	31	4	35
理事	19	3	21
監事	4	0	4
			60（名）

議決権行使書

第1号議案	2024-25年度	計算書類承認の件	賛 6 否 0
第2号議案	2024-25年度	事業報告承認の件	賛 6 否 0
第3号議案	2025-26年度	新理事・新監事選出の件	賛 6 否 0

オブザーバー

【名誉理事長】

2015-2016 国際会長 山田 實紘

【GAT 日本】

GAT エリアリーダー (統括/MD334,335)	鈴木	誓 男
GAT エリアリーダー (MD330, 331)	小川	晶 子
GAT エリアリーダー (MD332, 333)	川 島	正 行
GAT エリアリーダー (MD336, 337)	識 名	安 信【欠席】
GAT アドバイザー	濱 野	雅 司
副エリアリーダー (MD332, 333)	伊 藤	和 子【欠席】
副エリアリーダー (MD334, 335)	大 山	恭 範
副エリアリーダー (MD336, 337)	古 賀	京 子【欠席】
グループリーダー	瀧 島	清 美

【24-25 年度理事・元国際理事】

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜【欠席】

【2023-24 協議会議長】

MD330 議長	田 中 雄 一
MD332 議長	栗 村 安 弘 【欠席】
MD333 議長	星 野 勝 美
MD334 議長	戸 祭 宏 樹
MD335 議長	中 谷 豊 重
MD336 議長	澤 辰 水
MD337 議長	新 里 正 雄 【欠席】

【顧問】

法律顧問 池田 和司
会計顧問 吉田 宗一郎

日本ライオンズ事務長	増 澤 義 治
24-25 事務局補佐	南 部 谷 靖
24-25 事務局補佐	成 田 祐 樹
25-26 事務局補佐	田 中 俊 彦
25-26 事務局補佐	小 口 恒 樹

■公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター ご挨拶

青少年薬物犯罪問題は依然深刻で、教育プログラムの拡充・行政連携の強化が急務。特にデータに基づく情報整理と、地域密着型対策の必要性を話された

尚、ライオンズクラブとの連携は1997年から28年継続している

■第Ⅰ部 第1回社員総会（全国ガバナー会）

進行：中谷専務理事

1.開会のことば

本来であれば定款第16条「社員総会の議長は、理事長がこれにあたる」との規定により、理事長が社員総会の議長を務めるべきであるが松浦理事長が緊急手術に伴う体調不良のため発声が困難であり、議長代行を理事会で選出した件を説明。田名部前理事長が議長代行となることについて異議なしの声を受け承認。

2.議事録署名人選出

中谷専務理事より、議事録作成人として田中理事、星野理事を選出。

議事録署名人として330-A地区上野ガバナー、334-A地区速水ガバナーを選出。

3.議事運営について

定足数の確認。正社員数60名のうち本人出席53名、欠席7名、うち議決権行使書6名。

定款17条により総正社員の過半数が出席のため総会が成立することの確認。

4.松浦理事長挨拶

体調を崩してしまいWeb参加で申し訳ないが、一年間ありがとうございました

5.来賓の紹介

出席者リストの通り紹介。

6.第Ⅰ部：第1回社員総会

<審議事項>

第1号議案 2024-25年度 計算書類承認の件

戸祭財務担当理事より説明。

7/8に2024-25年度監査が行われ、続いて7/10旧年度理事会で承認された決算報告書に基づき説明。

監査報告：監事全員で事業報告等への監査・会計監査を行った結果、法令および定款に則り問題なく運営が行われていることが乗田監事より報告された。

【賛成多数で可決】

第2号議案 2024-25年度 事業報告承認の件

議長代行を務める田名部前理事長より報告。

2024-25年度、日本ライオンズでは8MDとの連携強化、国際協会との連携強化のため理事会の組織変更、ライオンズメンバーの役に立つための日本ライオンズ組織・財務改革の3点に重点的に取り組んできた件と、前年度開催された会議についての報告。

【賛成多数で可決】

第3号議案 2025-26年度 新理事・新監事選出の件

中谷専務より説明。MD335 議長が一身上の都合により退会されたため名簿が一名空席になっている件の説明。続いて 335-C 地区田端ガバナーからも退会について報告。

新理事・新監事計 24 名の選出について諮られた。

【賛成多数で可決】

10 分を休憩時間とし、新年度第 1 回理事会が開催された。

■第Ⅱ部 社員総会

進行：伊賀専務理事

7.新理事長挨拶 喜多友一理事長

自己紹介ののち、日本のメンバーが同じ方向を向き協力していくことや、日本ライオンズから議長、ガバナーそしてメンバーへの情報伝達の依頼のほか公益財団法人日本ライオンズへの協力、国際協会の重点目標であるミッション 1.5 や LCIF100 ドル献金への協力依頼、セミナーや社員総会への積極的な参加について呼びかけを行った。

8.新役員の紹介

伊賀専務理事より新理事会構成員の名前が読み上げられた。

9.事業計画

財務担当責任者・渡邊理事より説明。

委員会会議および社員総会を含む理事会等会議予定案を説明。社員総会日程案についても周知と参加の呼びかけを行った。

続いて収支予算書の修正点を中心に説明。

11/22 または 23 キャンパスクラブ関係セミナーを名古屋で行う。これからのライオンズを背負っていく若い方向けの行事である。ぜひ協力をお願いしたい。

M1.5 女性正会員を 1 クラブに 1 人増やす国際協会の計画への協力について先ほどの理事会で申し合わせを行った件と、理事長からも話のあった通り LCIF 1 人 100 ドル寄付への協力について呼びかけを行った。

続いて前年度松浦理事長・中谷専務理事より一年を振り返ってのあいさつが行われた。

■第Ⅲ部：報告会

1. 国際理事会報告

名誉理事長・山田元国際会長より

オランダ大会での投票の結果や国際協会本部の動向について報告。

現在日本は世界 3 位の会員数（インド、アメリカに次ぐ）だが、2 倍増を目指す。

家族会員方式を活用すれば 1 人が 4 人を紹介できる。

特典会員についても国際会費 50 ドルの会員にすることで投票資格を得ることができるため、代

議員の数を増やし、国際の場において日本の票数を増やすことが国際協会の将来のためにも急務である。

ミッション1.5への協力としてすべてのクラブにおいて、すべての会員が1人の会員を入会させる、ワンプラスワン(1+1)作戦のような取り組みを徹底して行いたい。同時にバーチャル例会など時代にそった新しいルールも必要。

田名部国際理事

山田元国際会長のお話を受け、緊急動議を提出。すべての会員が1人につき1人の会員を入会させる、「ワンプラスワン(1+1)作戦」をオールジャパンで実施されたい。

鶴嶋 LCIF 理事よりセコンドあり。理事会は全会一致により動議の受付を承認。

小川エリアリーダーからも協力の呼びかけが行われた。

質疑応答ののち採決が行われた。

【賛成多数で承認】

ガバナーより地区で説明いただき100%達成のためご協力をお願いする。詳細について後日文書を配布する予定。

仁科国際理事より

皆様と同じ気持ちで国際理事になった。皆さんといっしょに頑張っていきます。

田名部国際理事より

「ワンプラスワン(1+1)作戦」が皆さんの会員増強の取組の後押しになると思う。

会員増強へ皆様と一緒に積極的に取り組んでいきます。

鶴嶋 LCIF 理事より

世界では会員1250名を下回る「暫定地区」が出てきている。そうなる前に会員増強に取り組む必要がある。準地区が会員減少により解散、統合などならないよう、ガバナーへの激励が行われた。

GAT 鈴木統括リーダーより

「ワンプラスワン(1+1)作戦」目的について追加説明と改めて協力依頼を呼び掛けた。

GAT 小川エリアリーダーより

家族会員を入れることにより奉仕の幅が広がった。必ずご家族を入れていただきたい。

GAT 川島エリアリーダーより

苦しい時こそ行動が必要。皆様にご協力をお願いする。

GAT 濱野アドバイザーより

国際理事の間は皆様に支えていただき感謝する。ライオン誌WEB版に報告を掲載しているので見ていただきたい。今後はGATアドバイザーとして皆様を支えていく。

公益財団法人日本ライオンズ報告 小野寺理事長より

全国特別支援学校フットサル大会、寺子屋事業をはじめとした取り組みの報告。全国規模での活動拡大は成功しているが財政面での持続可能性に課題があり、地方プロジェクトの認知度をさらに上げていくことが必要である。

今年度は4回目となる全国支援学級フットサル大会決勝戦が 11/1 に東京で開催なので、ぜひ見てほしい。

喜多理事長より閉会挨拶

いろいろな意見を頂き実りの多い社員総会であった。今後ご理解と支援のほどよろしくお願いいたします。あたらめて一年間よろしくお願いいたします。

以上

議事録作成人：

24-25 年度理事

田 中 雄 一

24-25 年度理事

星 野 勝 美

議事録署名人

25-26 年度理事長

喜 多 友 一【押印省略】

330-A 地区ガバナー

上 野 繁 幸【押印省略】

334-A 地区ガバナー

速 水 清 朗【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ 「第10回理事会」 議事録

開催日時：2025年6月4日（水）14：00-16:00 場所：TKPガーデンシティ仙台 30階 A

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）	
副理事長	喜多 友一	（上田城南）	
副理事長	澤 辰水	（下関）	
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）	
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）	
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）	
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城）	
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）	
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）	
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）	
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）	
理事	田中 雄一	（狭山）	【WEB】
理事	栗村 安弘	（大船渡）	
理事	星野 勝美	（太田）	【WEB】
理事	戸祭 宏樹	（鯖江王山）	
理事	新里 正雄	（沖縄）	【WEB】
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港）	【WEB】
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）	
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島）	
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）	
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）	
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿）	
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西）	【欠席】
監事（MD335元議長）	小林 聡	（姫路広陵）	【欠席】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里）	【WEB】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	（長野みすず）	
法律顧問	池田 和司	（東京桜門）	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野）	【WEB】
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）	
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）	

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

冒頭松浦理事長よりご挨拶があった。332B 佐藤地区ガバナーより開催地として歓迎の挨拶。続いて濱野国際理事、城阪国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺財団理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。

◇議事録作成人の指名

諏訪常務理事・廣田常務理事が指名される。

1. 協議および確認事項

(1) **審議**第4回定時社員総会開催案

中谷専務理事より説明。資料に基づき、第4回定時社員総会は6月25日（水）13時30分～16時にA P 東京エアルームで開催し、同日11時から総会前理事会を置くことが確認された。

審議事項は①社員退会予定者承認、②新社員入社予定者承認、③本年度事業報告および計算処理経過承認（最終決算は8月4日の大会社員総会で承認予定）、④理事任期満了に伴う改選案の4議案で、出席対象は現社員60名と法律・会計顧問、次期議長やガバナー等とし、次期第1・第2副地区ガバナー向けに YouTube でストリーミング配信を行う。同日夕刻には懇親会開催を検討することも共有された。なお役員必携に記載されている参考会費「80円」を「120円」へ改めた旨を総会で報告または議案化する必要があり、これを第5号議案とするか報告事項とするかは理事長に一任することで合意した。出席者から異議はなく、資料どおりの進行方針が承認された。

(2) **審議**ライオン誌送料についての案内

会費値上げに伴い、これまで各クラブに負担いただいていたライオン誌発送の送料は、今回から社団が全額負担することになった。そのため各クラブには、①請求書の送付方法を郵送からメール配信へ切り替えること、②送料請求を2025年度上半期分から廃止すること、を知らせる文書を送付する。併せてライオン誌の送付先について、従来どおり個人宅かクラブ宛かを選択できるが、社団としては例会での活用促進のためクラブ一括発送を推奨する。初回切り替え準備の都合上、夏号（8月5日発送）の

作業に入る1か月前を目安とし、クラブには6月25日までに送付先変更届を提出してほしいと依頼した。ただし時間的余裕がない場合は次号以降でも随時変更可能であり、数回に分けて案内文を発信し4号分の発送サイクルの中で全クラブの切り替え完了を目指す。質疑では「期日がタイトではないか」「2回目以降からの変更でもよいか」という意見が出たが、事務局からは8月号準備開始日程を踏まえてなるべく早期に回答してほしい旨が示され、最終的に資料2どおりの案内文を明日以降MD・キャビネットを通じて各クラブへ送付することで承認された。また請求書のメール化と送料負担変更は会費値上げによるサービス改善の一環であり、各地区議長にはクラブへの周知徹底を依頼した。

確認次年度理事会構成・委員会担当案最新版

喜多副理事長より説明。次年度執行体制は副理事長予定者を3名配置し、筆頭副理事長としてMD331諏訪議長、副理事長にMD335廣田議長、山崎議長予定者、専務理事にはMD330の伊賀議長。常務理事予定者は資料の通り、委員会構成について資料記載内容を全て読み上げG A T・L C I Fは全て執行理事と一年目理事全員での構成とした。会則委員会のみ前回案から若干の入れ替えがあったものの、資料の最新版で合意が得られた。

確認次年度会議予定案最新版

次年度会議予定では、年間理事会を原則東京開催としつつ三か所程度は地方で開く案が提示された。10月理事会はOSEALフォーラム札幌の前日の22日に設定していたが、参加者の移動負担を考慮して21日への繰り上げや別地開催を含め再調整することになり、喜多理事長予定者が新年度研修会の場でアンケートを取り最終案を示す。

定例理事会日程のほか、前年度末から新年度への引継ぎを含むスケジュールも了承されたが、場所の最終確定と一部日取りは持ち越された。

協議6/24開催 新議長セミナー・新年度議長予定者打ち合わせ会詳細

社団総会前日の終日開催とし、午前に組織説明と運営方針、午後に委員会別分科会と役割確認を行う次第案で合意した。公益財団法人日本ライオンズ関係議題では講師名を小野寺理事長に訂正することが確認され、出席対象は記載の議長・副議長・委員長候補者に加え必要に応じ理事会メンバーを招く。セミナーと打ち合わせ会で得た意見を翌25日の第4回定時社員総会に反映させる方針も共有され、準備は専務理事予定者と事務局が連携して進めることになった。

(4)第 11 回国際大会委員会報告 (5 月 30 日開催)

①第 107 回オーランド国際大会 (フロリダ州オーランド 7/13-17)

戸祭理事より説明。

確認最新情報の確認 (公式通達・登録数等)

資料のオーランド国際大会の公式通達が配布され、参加要領が確定した。各 MD などの参加予定者数と日本側ホテル予約リストが示され、若干の空枠は残るものの計画どおり手配が進んでいることを確認した。現時点では追加募集を継続し、空室は各地区で順次消化する。

確認パレードについて

日本からの参加者見込は約 750 名。700 名程度のパレードとなる予定。
パレードのコースはまだ決定していない。現地に行くまでにはわかる。日本は 151 番目で最後の方となる。8 時 45 分集合にはなっているがかなり時間がおすと予想される。
ブラスバンド編成については当初 7 名より倍増 14 名に拡充提案。先頭&中段の 2 ユニットで行進し、音切れを防止。経費負担は追加分を含め、負担の割合については今後検討。6/25 理事会で最終案提示をすることとした。

審議代議員会 (朝食会) 登録料の決定と次第案の確認

委員会は 1 人 10,000 円へ引き上げる案を決定し、理事会も物価高・円安を踏まえこれを支持した。事務局は社団補助額を含む詳細予算を作成し、24・25 日の理事会で最終承認を得る。次第案は資料の通りで、代議員朝食会の運営負担を軽減しつつ、国際理事候補者の費用負担を最小化することを確認した。

②第 62 回 OSEAL フォーラム (札幌 2025 年 10 月 23 日 (木) -10 月 26 日 (日))

確認ステアリング委員会 (5/23-24) 報告

鶴嶋 LCIF 理事より報告。ゴルフについては参加費 2 万円 (食事・送迎・記念品込) で各複合が一括登録すること、同ホテル利用者向けの送迎バスを手配し、前泊は同ゴルフ場併設ホテルを 4,200 円で案内できることを説明し、多数の参加を呼びかけ。

フォーラム全体の日程は F O C のルールに沿っているが、5 月 23 日の委員会後に各国から追加要望があり調整中であるとし、従来より学習系セミナーを増やす方針を示した。

登録キットは参加しない登録者向けに着払い郵送を検討し、地区単位でまとめて発送する

方向で委員会に諮ると述べた。ＩＤカードはＱＲコード連動のため再発行が難しく、郵送は現時点で対応できない。

市民も対象とした公開セミナーについては山田 ＰＩＰ、仁科・田名部国際理事候補と協議し、著名人を招いて「ライオンズとは何か」をテーマに開催する準備を進めている。

チャリティではペットボトルキャップ回収は達成済みのため今後はリングプル収集を重視し、持参または元払い送付を依頼、収集量最多の地区を表彰する方針を示した。

330 複合からキッチンカー出店希望があり受入れ予定で、他地区も諏訪議長へ申請すれば出店可能と案内。閉会式当日の 26 日午後 3 時頃から Ａ Ｐ シン国際会長公式訪問を連続で行うため同日中の帰路は難しくなる恐れがあると注意喚起。

公式サイトの不具合は月内に修正予定。

登録者は目標 16,120 名に対し 4,106 名（日本 3,872 名）と低調なため各地区に登録推進を強く要請した。

諏訪議長から報告。5 月 23～25 日の視察結果として、登録会場の赤れんが庁舎、本部ホテル、札幌ドーム、コンベンションセンターを確認し現行計画が妥当との Ｏ Ｅ Ｃ 承認を得たと補足した。

質疑では仁科国際理事候補が団体登録について問い、実名登録が原則で大量の直前差替えは不可と回答した。道庁赤れんが庁舎での喫煙違反事例が共有され、市内会場周辺を全面禁煙とし、違反者には罰金が科される可能性がある旨を参加案内に明記することが決まった。

(5)総務人事関係 協議および報告事項

増澤事務長より報告。賞与について、昨年 12 月に在籍 5 か月分として 1.5 か月を支給済みであり、本年 6 月支給分は対象期間が 6 か月となるため同率 1.5 か月を支給する案を提示し、理事会承認を求めた。7 月 1 日以降の給与は賃金規定どおり全職員を一段階昇給させ、詳細な人事考課面談は次期喜多理事長の下で実施することとした。

会計担当として 3 月入職した職員の雇用条件について変更。7 月 1 日から週 21 時間（7 時間×3 日）に変更し雇用保険に加入、残業代をタイムカードに基づき支給する。事務長自身の契約も週 4 日制から週 5 日制へ見直し、残業を含めた包括契約を社労士と次期理事長で協議して再提示する。

今春退職者が出て空席のままの一般職を補充するため、ハローワーク経由で英語や Ｙ Ｃ Ｅ 業務に対応できる人材を募集することも承認された。

旅費規程では距離 100 キロを境に特急・新幹線利用の可否を明確化する。

さらにライオン誌と社団の合併後は永年勤続表彰制度が途絶えていたため、6 月末時点の在籍年数を区切りに永年勤続表彰を復活させ、第 1 回定時社員総会で理事長か

ら感謝状と記念品（金券など）を授与し、以後5年周期で継続する方針が決まった。

一部職員が昇給テーブルの上限に到達している課題は次年度以降の検討事項とし、以上の報告事項と人件費関連の承認事項（賞与、昇給、新入職員の契約変更、新規採用方針、旅費内規の方向性）はいずれも異議なく承認された。

(6)その他

①役員必携最新版における賛助会費等記載について

中谷専務理事より報告。役員必携が印刷会社にわたっているが発行が遅れていることをお詫び。ライオンズ必携第61版に「参助会費1人当たり月額80円」と記載が残ったままになっている件について、会費値上げは昨年の社員総会決議で既に効力を発しており、実際の請求額は120円で確定しているため、新版の発行時に金額記載を削除または120円へ修正することで合意した。一部複合地区は年次大会での緊急動議で自地区規則を120円に改定済みだが、他の複合でも同様の手当てが必要であることを確認し、次年度改訂版では複合規則と準地区規則を分離して整合を取る方針とした。

会費計算に用いる会員種別については「特定会員を除き全会員を対象」とする現行社団会費規定を周知し、免除措置を採る場合は当該複合が補填するという整理で一致した。また情報不足を避けるため、ガバナーにお願いしキャビネット会議やウェブ掲載で適切に説明することが求められた。

その他、増澤事務長より「複合・準地区事務局員の守秘義務規定（案）」が提示され、会員個人情報、団体情報、財務・人事情報、各種会議内容などを退職後も含め漏えい禁止とし、議長・ガバナーの了承なく他事務局へも共有しないことを明文化する内容が説明された。条文はわかりやすく補筆した上で25日午前の理事会で最終承認を取り、7月1日付で施行する段取りとなった。規定施行後は事務局員から機密保持誓約書の徴収も検討する。以上の2件を「その他」として理事会に報告し、いずれも方向性に異議はなく事務局に速やかな文書整備と周知が要請された。

． 各種報告

- ・月次監査報告（6/3実施分）
- ・4/25開催 第1回PRマーケティング委員会
- ・5/16開催 第6回YCE委員会
- ・LCI・LCIF活動報告
- ・公益財団法人日本ライオンズ 活動報告

中谷専務理事よりいずれも配付資料をもって説明資料とされ、資料を参照のうえ質疑があれば発言をと促したが挙手はなく、質疑応答なしにて報告とした。

- ・第6回OSEAL レオフォーラム大阪2025進捗報告（2025年11月7日（金）～9日（日））

廣田常務理事より報告。開催承認は既に日本ライオンズ理事会で得ており議事録もあるが簡単にご説明をさせていただきたい。第6回OSEALレオフォーラム大阪2025は2025年11月7日から9日まで開催する計画で、主催名義は一般社団法人日本ライオンズ、ホストはMD335、メインスポンサーは335B地区とする。予算は暫定版で提示されたが、登録料以外の収入についてはLCIFなどの助成金を申請予定であり、もし交付されなくてもMD335および335B地区が自前で賄う方針が示された。

プログラムは7日と8日の二日間をすべてセッションとワークショップに充て、日本とアジアのレオ・ライオンズが相互に学び語り合う内容とし、9日は奈良や岸和田などで文化・歴史・ものづくりを体験するフィールド学習日に充てる予定。今後は詳細の固めと資金確保を進め、助成金を得られなくても335B地区が責任を持って実施すると表明し、全国の協力と参加を求めた。

3. 本日のまとめ

監事講評

下間幹事はまず会議運営の労をねぎらい、議長や理事長をはじめとする執行部の円滑な進行を高く評価したうえで、今後も1年目・2年目理事が協力し合い、同様にスムーズな運営を継続してほしいと述べた。乗田幹事は、今回の審議では表現が難解な箇所が散見されたと指摘し、全ての会議参加者が理解できるよう文言を整理・明確化して記録するよう要望し、両名ともに謝意を述べて講評を終えた。

4. 今後の予定について

- | | | | |
|------------|---------|--------------|--------------|
| ・ 6/17 (火) | 14 : 00 | 第 8 回アラート委員会 | (WEB) |
| ・ 6/22 (日) | 14 : 30 | 第 7 回YCE委員会 | (仙台) |
| ・ 6/24 (火) | 13 : 30 | 新議長セミナー | (日本ライオンズ事務所) |
| | 15 : 30 | 新議長予定者打ち合わせ会 | (日本ライオンズ事務所) |
| ・ 6/25 (水) | 11 : 00 | 第 11 回理事会 | (日本ライオンズ事務所) |
| ・ 6/25 (水) | 13 : 30 | 第 4 回社員総会 | (AP 東京八重洲) |

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

議事録作成人：

常務理事

伊賀 保夫

常務理事

諏訪 昇三

議事録署名人：

理事長	松浦 淳一	【押印省略】
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	【押印省略】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	【押印省略】

(2024-2025 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 第11回理事会 議事録案

2025 年 6 月 25 日 (水) 11:00-12:00 一般社団法人日本ライオンズ事務所

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)
副理事長	喜多 友一	(上田城南)
副理事長	澤 辰水	(下関)
専務理事	中谷 豊重	(岸和田)
常務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)
常務理事	諏訪 昇三	(札幌時計台)
常務理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)
常務理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)
常務理事	廣田 晃一	(姫路中央)
常務理事	藤井 信英	(岡山みらい)
常務理事	濱田 浩平	(長崎南)
理事	田中 雄一	(狭山)
理事	栗村 安弘	(大船渡)【欠席】
理事	星野 勝美	(太田)
理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)
理事	新里 正雄	(沖縄)
理事 ('23-25 国際理事)	城阪 勝喜	(大阪港)
理事 ('23-25 国際理事)	濱野 雅司	(岩槻)
理事 ('24-25 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)
理事 (前理事長)	田名部 智之	(八戸)
理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)
監事 (MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿)
監事 (MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)
監事 (MD335 元議長)	小林 聡	(姫路広陵)【欠席】
監事 (MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里)【欠席】
オブザーバー		
'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	(長野みすず)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)
会計顧問	吉田宗一郎	(東京武蔵野)
理事長事務局補佐	南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
理事長事務局補佐	成田 祐樹	(岩見沢はまなす)
次期理事長予定者事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)
次期理事長予定者事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)

議題：

1. 議事録作成人の指名
2. 協議及び確認事項：

【審議】

①オーランド国際大会関係

質問の多いオーランド大会でのドレスコード（ビジネス、タイ）についての検討と、7月15日代議員朝食会で DGE にご乗車いただくバスの代金について協議。一名あたり 7,000 円を頂くことを承認された。

②総務人事関係（各規程（定）の修正、次年度職員給与）

A. 各規程について資料を元に確認し、一同了承。

①会費規定： ‘25-’26 年度 120 円、’26 年度以降 160 円と修正、

②経理規定： 役職明表記の修正、資産管理担当理事から現財務担当責任理事、事務長の決済権限上限額を 100 万円とする。③会議出席者旅費補助規程： 新幹線利用は 100 KM 以上、最寄駅一自宅間が 10 KM 以上は旅費補助の対象とする。

B. 次年度職員給与改定： 昨年作成の新賃金規程表により、正社員 5 名の賃金を改定。

規定の年齢給の他、職能給を 1 ランクアップする。次年度中に個人面談の場を設ける。

C. 経理後任者（3 月採用）の契約内容の変更。週 3 日 1 日 7 時間の週 21 時間とする。残業代も付与、雇用保険加入の方向とする。B、C 共、一同了承。

D. 事務長委任契約の更新について： 第 1 回社員総会以後に継続して検討予定。現出張旅費規程では、事務長は国内外とも日当がつかないが、週 4 日勤務から実際に週 5 日勤務となっており、業務繁多を考慮して契約内容を改める。

③第 62 回 OSEAL フォーラム委員会より事務局員手伝い依頼の件

フォーラム組織委員会から全国のキャビネット地区事務局員に登録・キット手配の手伝いを依頼する文書を社団経由で配信することについての承認。但し、旅費宿泊費等は自己負担においての協力を呼びかけている。配信了承。

【報告および確認】

①複合地区・準地区事務局員向け守秘義務案について

最新案を確認。次期理事長名で出すことや 8 名の次期議長・該当する地区ガバナーのサインを入れるなど一部変更。10 日に開催される新旧理事会で次期議長にも共有を行う。

②6/25 13：30- 第 4 回定時社員総会（全国ガバナー会）進行の確認

資料に基づき、午後からの第 4 回定時社員総会の進行を確認した。

以上

議事録作成人：事務長 増澤 義治

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 松浦 淳一【押印省略】

監事 下間 俊悦【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

2024-2025年度

一般社団法人日本ライオンズ 「第12回理事会」 議事録

開催日時：2025年7月2日（水）14：00-16：30 場 所：岩見沢商工会議所 2階

出席者リスト

理事長	松浦 淳一	（岩見沢はまなす）	
副理事長	喜多 友一	（上田城南）	
副理事長	澤 辰水	（下関）	
専務理事	中谷 豊重	（岸和田）	
常務理事	伊賀 保夫	（東京ピース）	
常務理事	諏訪 昇三	（札幌時計台）	
常務理事	渡邊 俊弥	（仙台五城）	
常務理事	佐藤 裕幸	（柏崎日本海）	
常務理事	廣田 晃一	（姫路中央）	
常務理事	藤井 信英	（岡山みらい）	
常務理事	濱田 浩平	（長崎南）	
理事	田中 雄一	（狭山）	【欠席】
理事	栗村 安弘	（大船渡）	【欠席】
理事	星野 勝美	（太田）	
理事	戸祭 宏樹	（鯖江王山）	
理事	新里 正雄	（沖縄）	
理事（'23-25国際理事）	城阪 勝喜	（大阪港）	【欠席】
理事（'23-25国際理事）	濱野 雅司	（岩槻）	
理事（'24-25 LCIF理事）	鶴嶋 浩二	（札幌中島）	
理事（前理事長）	田名部 智之	（八戸）	【WEB】
理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）	小野寺 眞悟	（札幌北の杜）	
監事（MD332元議長）	下間 俊悦	（男鹿）	【欠席】
監事（MD333元議長）	石橋 貞	（足利西）	【欠席】
監事（MD335元議長）	小林 聡	（姫路広陵）	【欠席】
監事（MD337元議長）	乗田 泰	（伊万里）	【WEB】

オブザーバー

'25-27 国際理事候補者	仁科 良三	（長野みすず）	
	大山 恭範	（一宮）	
	菅原 孝明	（八戸）	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	（諏訪湖）	
法律顧問	池田 和司	（東京桜門）	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	（東京武蔵野）	【欠席】
理事長事務局補佐	南部谷 靖	（岩見沢はまなす）	
理事長事務局補佐	成田 祐樹	（岩見沢はまなす）	

◇開会宣言

理事長 松浦 淳一

開催地の岩見沢はまなすライオンズクラブ石月会長から歓迎の挨拶があった。松浦理事長のご挨拶に続いて濱野国際理事、鶴嶋 LCIF 理事、田名部前理事長、小野寺公益財団日本ライオンズ理事長、仁科国際理事候補より挨拶をいただいた。

◇出席者確認

出席者リストより確認を行った。オブザーバーとして一宮ライオンズクラブの大山 L と八戸ライオンズクラブの菅原 L の紹介。

◇議事録作成人の指名

佐藤常務理事・戸祭理事が指名される。

1. 協議および報告事項

①報告 (6/24) 次期議長打ち合わせ会・

・次年度・組織図と委員会構成(案)・次年度理事会開催予定

喜多副理事長より報告。6月24日に開かれた次期議長打ち合わせ会(資料1)では、2024-25年度の執行体制案として、理事・監事・各委員長を配置した組織図と委員会構成(案)が概ね了承されるとともに、年間の理事会日程が確定した。

理事会は基本として東京で対面開催。それ以外の地域での開催としては理事長、副理事長の地区で行い、11月18日(出雲)、1月27日(姫路)、5月19日(札幌)、6月17日(長野・18日より変更)とした。今年度の最終社員総会では欠席者が非常に多かったため、次年度は理事会・社員総会への出席率向上が最重要課題と位置づけられ、「日にちがあらかじめ決まっているので必ず出席いただきたい」との強い要請が確認された。

②協議 総務人事管理委員会関連

増澤事務長より説明。会費規定は第2条を改め、月額80円を120円へ引き上げ、2026年度には160円に段階的に改定するとした。第5条の二人目以降の家族会員の記述を特典会員とし、この規定は令和7年8月4日から施行する。

経理処理規定では資産管理担当理事を財務担当責任理事、事務長に置き換える。取引銀行は三菱UFJ銀行の変更があり、プール旅費は会議費とし、支出科目を各種委員会会議として計上し、旅費補助は各種集合会議出席者旅費補助規定により、四半期ごとに会議出席の口座へ送金するとした。第22条は会費の値上げに伴い賛助会費80円

を120円、2026年度は160円とする。資産管理運用規定についても資産管理担当理事を財務担当責任理事と変更した。各種集合会議出席者旅費補助規定では新幹線利用は100キロ以上、最寄駅から自宅間バス10キロ以上の場合は運賃支給を追加。

提示された会費規定、経理処理規定、資産管理運用規定、各種集合会議出席者旅費補助規定の修正文案はいずれも全員賛成で原案どおり承認。

③ **協議および確認** 次年度への引継ぎ事項・

- ・事務局員向け守秘義務規定の件

増澤事務長より説明。次期理事長予定者名で各地区の次期議長8名を連名で記しその下部に地区ガバナーが署名できる欄を設けた守秘義務遵守に関する誓約書を作成した。

文面は情報漏えいの禁止、取得資料は退職後も持ち出さないなど、雇用時の就業規則にも通常盛り込まれるごく一般的・常識的な条項のみで構成されており、事務局員を不当に縛る内容ではないことが確認された。

署名欄の役職表記は準地区ガバナーではなく地区ガバナーとし、次期理事長と8名の次期議長の連名文書を社団から各MDへ送付し、各ガバナーは自地区内で必要箇所に署名・配布できるようにする点、旧議長が新議長に内容を実実に引き継ぐ責任を負う点を確認し、今年度の理事会で進めて来年度スタートすることとした。

- ・O S E A L調整事務局への名簿の共有について

O S E A L調整事務局より次期社団理事会構成員の名簿共有の依頼があった件について協議。使用目的を確認の上、限定的に共有を行う。

毎年社団が作成し保有、全国への共有を行っている35地区5役リストの件が再度確認された。

2. その他報告事項・・・資料3

①第6回アラート委員会報告

アラート委員会委員長新里理事・同副委員長藤井常務理事

6月17日に行った委員会では活動経過を確認したうえで、社団アラート委員会の班長職の廃止を主要議題とした。社団で班長を任命しても実務的な役割が希薄で、むしろ指揮系統を複雑にするとの判断から、来期は班長職を設けない案を申し合わせた。が、今期に次期の班長が決まっている地区もあるため、次期は現行体制を維持することとしたが、第1回社員総会が開催予定である8月4日以降、その次の年度ではなく

す方向で進める方向で動いている。

②第6回会則委員会報告

会則委員長 中谷専務理事

6月27日に行われた第6回会則委員会では、まず昨年度MD335が制作した日本語版ロバート議事規則を社団ホームページに常時掲載できるよう、編集権一式を5万5000円で買い取ることを申し合わせた件の報告。金額についてはMD335内でもう一度話し合いを頂く予定。

2024-25年度版の役員必携を9,000部発行し、凸版印刷から計364万1000円で請求を受け次第、今期予算で支払うこととした。

頒布価格は650円とする。コンパクト必携（ライオンズ必携）は今期発行できなかったのを来年度速やかに発行する。必携は電子化していかなければならないので紙で持ち運ぶのも良いがスマホで見られるような方向性としていきたい。

コンプライアンス規定については指針を社団として示し1.2年プログラムを作っているので各地区の判断で次年度以降どのように実行していくかを判断していただきたいと報告。

③YCE報告

増澤事務長

6月22日に行われた第7回YCE委員会では前回までの申し送り事項を精査したうえで、派遣・受入れ事務を社団で一元管理できないかという可能性を模索するべく、中長期の課題として検討した。現行フローは地区・複合ごとに温度差が大きく、経験者の属人的対応に頼っているため、事務局員を計画的に育成して恒常機能に組み込む案、歴代経験者による特別チームで標準化モデルを作成し、完成後に事務局へ段階移管する案の二方向で具体策を練る予定である。今夏（7～8月）の派遣・受入れについては準備が順調に進んでおり、支障なく実施できる見通し。

④オーランド国際大会最新情報

国際大会委員長 戸祭理事

オーランド国際大会の日程と動線を確認し、ダブルツリー・ヒルトン周辺からコンベンションセンターまで徒歩40分を要するため国際協会手配のシャトルバスを積極的に利用するよう周知することを申し合わせた。

12日は13時よりパレードの下見、13日は18時から本格的なパレード打ち合わせ、14日はパレード関係者は7時30分、一般参加者が8時30分現地集合。

同日は16時からビジネス・セッションが開催され、国際理事候補者が紹介される。

開会式が行われる15日は代議員朝食会。受付をご担当いただく方は6時40分、一般

の方は7時にお越しいただく。

朝食会後9時30分開会式、16日は20時から元国際会長、元PIDの晩餐会（国際協会へ申し込みをされた方のみ）、17日は9時から閉会式、という流れを再確認したうえで、質問が多く寄せられるドレスコードについて、社団より全国へお送りしている通り、代議員会や開閉会式についてはビジネススタイルを推奨する方向が支持された。A Pシンからエレクトへ配布される予定のTシャツ着用案やアロハ案も挙がったが、Tシャツはガバナーエレクトしか所持していないことや、国際協会公式行事では襟なし・ジーンズ・サンダルは認められないことが国際理事より再三指摘があり、最終的に日本としてはビジネスを推奨し、ネクタイは気候を見て判断、複合地区がどうしてもTシャツを選択する場合は各MDで責任をもって決めていただく。

7月3日14時にO S E A L調整事務局主催で配信されるウェビナーがあるが録画配信もあるため各自確認をするよう促した。

⑤第62回OSEALフォーラム最新情報

諏訪常務理事

第62回OSEALフォーラム札幌については、登録状況が依然として極めて低迷しており、オーランド国際大会終了後は各地区・複合地区が総力を挙げて参加促進に取り組む必要があるとの強い呼びかけが行われた。

フォーラム終了後の10月26日の15時からA Pシン次期国際会長予定者の公式訪問があり、出席予定の方は札幌でもう一泊いただくことになるかと思われるため、各自で早急に宿泊手配を見直すよう要請された。

鶴嶋LCIF理事より国際会長公式訪問・晩餐会について600席規模なのか740席規模にするのかを次年度の社団側で決定して貰えれば、ホテル側との調整は行っていたけるとの事。

開催地であるフォーラム委員会が会場確保や見積交渉など外枠を整え、具体的な式次第・表彰・演出といった中身は社団が主体となって企画し、来年度からは全予算も社団に一元化されるため早急な規模・費用・運営方針の決定が求められる。

⑥その他

・レオフォーラムについて

中谷専務理事

レオフォーラム2025大阪について、開催地であるMD335所属のレオ委員長より、問い合わせはホームページよりという趣旨の文書がメールで届いているのでお目通しいただきたい。

3. 本日のまとめ

監事講評

乗田監事

最後まで検討すべき問題が多数の理事会になったが、各複合、準地区に指示がきちんと徹底されるようお願い申し上げます。

4. 今後の予定について

- | | | | |
|------------|-----------------|------------|--------------|
| ・ 7/9 (水) | 14 : 00-16 : 00 | 2024年度監査 | (日本ライオンズ事務所) |
| ・ 7/10 (木) | 11 : 00-12 : 00 | 旧年度理事会 | (日本ライオンズ事務所) |
| ・ 7/10 (木) | 13 : 30-15 : 00 | 新・旧(準備)理事会 | (日本ライオンズ事務所) |
| ・ 7/10 (木) | 15 : 30-17 : 00 | 新年度準備理事会 | (日本ライオンズ事務所) |

◇閉会宣言

専務理事 中谷 豊重

以上

議事録作成人：

常務理事

佐藤 裕幸

理 事

戸祭 宏樹

議事録署名人：

理事長

松浦 淳一【押印省略】

監事 (MD337 元議長)

乗田 泰 【押印省略】

2025-26 年度

一般社団法人日本ライオンズ 第1回理事会 議事録

開催日時：2025 年 8 月 4 日（月）14：15-14：25 場所：AP 日本橋 G 会議室

理事	松浦 淳一（岩見沢はまなす）【WEB】
理事	伊賀 保夫（東京ピース）
理事	諏訪 昇三（札幌時計台）
理事	渡邊 俊弥（仙台五城）
理事	佐藤 裕幸（柏崎日本海）
理事	喜多 友一（上田城南）
理事	廣田 晃一（姫路中央）
理事	藤井 信英（岡山みらい）
理事	濱田 浩平（長崎南）
理事	倉田 雅史（小田原白梅）
理事	設楽 幸子（札幌アカシヤ）
理事	車田 信彦（玉川）
理事	水沼 孝夫（真岡）
理事	山崎 もとみ（大田）
理事	武永 健治郎（都城きりしま）

理事（公益財団法人日本ライオンズ理事長）

小野寺 眞悟（札幌北の杜）

理事（'25-27 国際理事）

仁科 良三（長野みすず）

理事（'25-27 国際理事

田名部 智之（八戸）

理事（'24-25 LCIF 理事）

鶴嶋 浩二（札幌中島）

監事（MD332 元議長）

下間 俊悦（男鹿）

監事（MD333 元議長）

石橋 貞（足利西）

監事（MD335 元議長）

小林 聡（姫路広陵）

監事（MD337 元議長）

乗田 泰（伊万里）

オブザーバー

法律顧問

池田 和司（東京桜門）

会計顧問

吉田 宗一郎（東京武蔵野）

日本ライオンズ事務長

増澤 義治（諏訪湖）

25-26 理事長事務局補佐

田中 俊彦（上田城南）

25-26 理事長事務局補佐

小口 恒樹（岡谷）

14：15 中谷前専務理事により開会。

1. 仮議長の選出。

新理事長選出までの間理事会を進行する臨時議長として、
MD337 濱田理事が選任。拍手により賛同を得る。

2. 「第1回理事会」議案

第1号議案 新理事長並びに執行理事会選任の件

新年度理事長として執行理事会候補者案に記載された中から、
喜多友一前年度副理事長が提案され、承認を得る。
新執行理事案が配布される。

理事長1名：喜多友一

副理事長3名：諏訪昇三（筆頭副理事長）、山崎もとみ、廣田晃一

専務理事1名：伊賀保夫

常務理事4名：倉田 雅史、設楽 幸子、車田 信彦、水沼 孝夫、武永 健治郎

拍手により満場一致で賛成。

第2号議案 新事業計画及び収支予算案の承認

以降は新年度喜多友一理事長が進行。
財務担当責任者・渡邊理事より新事業計画として委員会会議・理事会・社員総会の開催予定
が示され、MD334 より提案されたキャンパスクラブセミナー（名古屋開催）についても説
明。

収支予算案については修正点を中心に説明。
新年度事業契約および、支出予算案が示され、承認を得る。

14：25、喜多議長により閉会。

以上

議事録作成人：一般社団法人日本ライオンズ事務長 増澤義治

議事録署名人：一般社団法人日本ライオンズ 理事長 喜多 友一【押印省略】

監事 下間 俊悦【押印省略】

監事 石橋 貞【押印省略】

監事 小林 聰【押印省略】

監事 乗田 泰【押印省略】

(2025-26 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度第 2 回理事会 議事録

◎日 時：2025 年 8 月 20 日(水)15：00-17：00

◎場 所：一般社団法人日本ライオンズ 会議室

出席者リスト

理事長	喜多 友一	(上田城南)	
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台)	
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央)	
副理事長	山崎 もとみ	(太田)	
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース)	
常務理事	倉田 雅史	(小田原白梅)	
常務理事	設楽 幸子	(札幌アカシヤ)	
常務理事	車田 信彦	(玉川)	
常務理事	水沼 孝夫	(真岡)	【欠席】
常務理事	武永 健治郎	(都城きりしま)	
理事	渡邊 俊弥	(仙台五城)	
理事	佐藤 裕幸	(柏崎日本海)	
理事	藤井 信英	(岡山みらい)	
理事	濱田 浩平	(長崎南)	【欠席】
理事(前理事長)	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	【欠席】
理事(公益財団法人日本ライオンズ理事長)	小野寺 眞悟	(札幌北の杜)	【WEB】
理事('25-27 国際理事)	仁科 良三	(長野みすず)	
理事('25-27 国際理事)	田名部 智之	(八戸)	【WEB】
理事('24-25 LCIF 理事)	鶴嶋 浩二	(札幌中島)	【欠席】
監事(MD332 元議長)	下間 俊悦	(男鹿)	
監事(MD333 元議長)	石橋 貞	(足利西)	
監事(MD335 元議長)	小林 聰	(姫路広陵)	【WEB】
監事(MD337 元議長)	乗田 泰	(伊万里)	【WEB】

オブザーバー

常務理事予定者(MD334 議長)	浜 一平	(岡谷)	【WEB】
法律顧問	池田 和司	(東京桜門)	【欠席】
会計顧問	吉田 宗一郎	(東京武蔵野)	
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖)	
25-26 理事長事務局補佐	田中 俊彦	(上田城南)	
25-26 理事長事務局補佐	小口 恒樹	(岡谷)	
22-23 日本ライオンズ理事長	村木秀之	(東京数寄屋橋)	

◇開会宣言：伊賀専務理事より開会宣言が行われ、喜多理事長、仁科国際理事、田名部国際理事並びに

小野寺公益財団理事長よりそれぞれあいさつがあった。

◇出席者確認：上記記載の通り、伊賀専務理事確認。尚、委任状4名の提出。

◇議事録作成人の指名：伊賀専務理事より、車田常務理事、武永常務理事を指名。

◆（緊急議事）直前開催： 国際理事候補者資格審査委員会報告

諏訪委員長より委員会の報告。

今までの経緯を説明後、書類審査は問題が無いことを説明

但し、22-23 年度に当時の DGE29 名による日本ライオンズに対する抗議文について、現在に至るまで取り下げまたは謝罪文は受け取っていないため、社団としては推薦を行うべきかどうか、委員会では書類までの審査が基本なので、この後の事は理事会で決定を求めるべく、緊急の動議を上程したい。

セコンドは理事メンバー賛成多数にて動議を取り上げることで決定した。

議事：MD337 二場氏を日本ライオンズは推薦するか

オブザーバーとして参加の村木氏(22-23 年度 日本ライオンズ理事長)より、当時の日本ライオンズへの抗議文内容を説明、現在に至るまでその抗議の取り下げは無いことが説明された。

各自意見を出して頂き、社団としては推薦しないことを決定した。

【決定事項】日本ライオンズは二場氏を推薦しない事を決議した。したがって 26-28 年度 IDC は L 松岡勲 (MD335) 1 名とする。

◆議事

◇第1回執行理事会からの確認または継続協議事項

1. ファブリシオ・オリベイラ LCIF 理事長公式セミナー (9/24 名古屋開催)

資料読み合わせの上、全員で現時点での概要を確認

2. A.P.シン国際会長公式訪問 (10/26 午後、札幌開催)

公式訪問および晩餐会について、各 MD からの参加者割り当てを再度確認。

MD331,332,334 各 95 名 他 各準地区 15 名 x 21 地区 合計 600 名。

各議長の役割分担について過去例を参照。次回以降の執行理事会で協議する。

3. PIP ムーア来日について (8/28 午後、議長との意見交換会、東京)

8/27 来日となった報告有り。当日は山田 PIP が随行。

MD330 にて送迎車両の手配等 が依頼され、担当は倉田常務理事。ホテルまでの送迎などを行う予定。尚、8/30 に出国される予定。

4. (8/4) 第1回社員総会 動議決議内容説明文について

現在全国へのお知らせへ向け、書類を整えている最中の報告有り。

5. 今後の法人主管行事について

増澤事務長より説明。

(1) 国際会長公式訪問

- ・国際会長公式訪問支援金補助に関する内規（案）

今年度より国際会長公式訪問が社団の主幹事業となることに目的と資金援助規定をまとめた内規についての確認。第 6 条の内容について廣田副理事長より昨年度 MD で公式訪問を担当した経験に基づき、どこまでを必要費用として認めるかどうか質問と確認あり。例として随行するメンバーの車にかかる料金など。

資金援助については常識の範囲内ではあるが見積もりを出していただき、資金援助の際は精査が必要である。その他無く、規定案は承認。

- ・2025-26 修正予算 確認され承認。

(2) 国際理事就任祝賀会/退任慰労会

- ・9/27（土）開催 国際理事就任祝賀会について（設営補助ほか）

各地区の名誉顧問にもお声かけをお願いしたい旨、増澤事務長より説明

各MD事務局より伝えてほしいとの事

祝賀会は 19:15 には終了予定なので、帰られる方も大丈夫な時間だと思います

(3) 国際大会での日本のパレード（頒布品及び備品管理、パレード搬送費補助）

(4) 国際大会での日本の代議員会設営（会場費補助）

(5) 各種セミナーの開催について

以上の件について増澤事務長より説明。

(6) その他

大会開催時の日本国内向けツアーデスク設置について検討が行われた。

6. 総務人事関係（前年度からの継続協議）

(1) 会議出席者旅費補助規程の内規案作成

増澤事務長より説明

委員会へ参加する各 MD 委員長の旅費補助について各自確認される

社団事務所以外での委員会開催の場合は書類を提出し承認を受ける事で決定

(2) 新年度事務長契約内容についての確認

従来とおり週 4 日の基本契約で確認。

7. その他

- ・ノリオビル契約更新と賃料値上げについて(2025 年 11 月から)

坪単価が 20,000 円から 22,000 円へ値上げ。

- ・キャンパス LC の件

引き続き詳細の確認と打合せを行っていく(増澤事務長)

- ・ダイナースカード会費値上げについて情報共有

増澤事務長より説明 書類確認

- ・第 62 回 OSEAL フォーラム 祝辞依頼について

MD 議長あてに発信予定。

8. 各種報告

- ・全国アラートフォーラム 3 月 13 日開催定

- ・国際大会委員会より オセアルフォーラム登録人数へご協力を頂きたい。
- ・設楽常務理事より オセアルフォーラム内で色々なセミナーがあるので案内を出しますのでよろしく願います。

9. 閉会宣言：山崎もとみ副理事長により閉会宣言が行われ終了。

◇今後の予定について

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| ・ 8/25 (月) 第 1 回 YCE 委員会 (WEB) | 14 : 00-16 : 30 |
| ・ 8/26 (火) 第 1 回アラート委員会 (HB) | 15 : 00-16 : 30 |
| ・ 9/1 (月) 第 2 回執行理事会(WEB) | 13 : 30-16 : 00 |
| ・ 9/2 (火) 第 2 回国際大会委員会 (WEB) | 10 : 00-12 : 00 |
| ・ 9/18 (木) 第 3 回理事会 (東京) | 14 : 00-17 : 00 |

以上

議事録作成人

常務理事
常務理事

車田 信彦
武永 健治郎

議事録署名人

理事長

喜多 友一【押印省略】

監事(MD333 元議長)

石橋 貞【押印省略】

監事(MD335 元議長)

小林 聡【押印省略】

監事(MD337 元議長)

乗田 泰【押印省略】

2025-26年度PRマーケティング委員会 第1回会議 議事要録

日 時：2025年8月21日(木)14:00～16:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ事務所(Zoom併用)

出席者：

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長	喜多 友一 (長野県・上田城南LC)
PRマーケティング委員会委員長	廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央LC)
PRマーケティング委員会副委員長	水沼 孝夫 (栃木県・真岡LC)
専務理事	伊賀 保夫 (東京ピースLC) ○Zoom
理事会内担当／副理事長	諏訪 昇三 (北海道・札幌時計台LC)
理事会内担当／常務理事	車田 信彦 (福島県・玉川LC) ○Zoom
理事会内担当／理事	佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC)
理事会内担当／理事	藤井 信英 (岡山みらいLC) ○Zoom
事務長	増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)

【複合地区委員長】

330複合地区広報マーケティング委員会	阿部かな子 (東京ピースLC)
331複合地区MC・情報テクノロジー委員会	佐藤 有 (北海道・札幌北の杜LC) ○Zoom
332複合地区PR・IT委員会	加藤 俊治 (宮城県・石巻日和LC) ○Zoom
333複合地区マーケティング・PR・IT委員会	福田 智恵 (栃木県・宇都宮中央LC)
334複合地区マーケティング委員会	曾根 輝夫 (静岡県・三島泉LC)
335複合地区MC委員会	今市 明弘 (兵庫県・姫路スターLC)
336複合地区IT・M・ライオンズ情報委員会	山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽LC)
337複合地区ICT委員会	上原 明寿 (沖縄県・名護LC) *欠席

【開会あいさつ】

- 喜多理事長：PRは、一般の方に理解いただける外に向けた活動を行って頂きたい。
- 廣田委員長：PRマーケティング委員会は、日本ライオンズにおいても重要な委員会であり、できるだけ早く開催したいという考えもあり、本日開催となった。各複合地区委員長と情報を共有し、有意義な時間にしたい。

【議事】

1. PRマーケティング委員会のミッション

- ① 日本ライオンズの委員会組織
- ② 複合地区、地区、クラブの委員長の役割

配布資料を確認し、廣田委員長から特に次の役割について重要性が指摘された。

- ・ GATとの連携によるミッション1.5達成にむけた啓発活動
- ・ 大規模行事のイニシアチブをとって広報活動を展開
- ・ マーケティング補助金の活用
- ・ SNSを駆使し、サクセスストーリーやライオンズインターナショナルのブランドを活用
- ・ 各準地区、クラブに対してこの委員会での共有事項、情報を伝達

2. 各複合地区の委員会活動に関する情報交換

① 各複合地区委員会の今年度活動予定

各複合地区委員長から次のような報告があった。

- ・ MD336: マーケティング活動は準備段階であるため、これから進めていきたい
- ・ MD335: 過去2回マーケティング補助金を活用しており、今期は違マーケティングアワードの普及に取り組みたい。SNS運用を振り返ると、自己満足になっている懸念があり、外部に対する見せ方を考える必要がある。会員増強につながる方法を考えていきたい
- ・ MD334: ライオンポータル登録の徹底を進めている。クラブのホームページが更新されていないため、更新を進めるが、誰が見ているのか、という疑問もある。若い世代を取り込むにはSNSは必要で、年配層もついていかないといけない
- ・ MD333: 昨年度は補助金を活用しFMラジオでCMを放送。今期も補助金申請を検討し、YouTube等の短時間動画を検討中。333-B地区では昨年度後半に入会のすすめの動画を制作した
- ・ MD332: 昨年末に立ち上げたGoToLions(会員が運営する飲食店を掲載して相互利用する取り組み)の利用と普及促進。こども食堂検索アプリを制作し、各地区で相互利用する取り組みを進めている。事務局のDX化(ツールの標準化をはじめ全体のIT化)を検討中
- ・ MD331: 各準地区と連携して進めていることはなく、補助金についても今回は難しい現状で来年の申請に向けて動き始めた段階。331-A地区は年数回echo誌を発行しているが、デジタル版をうまく活用できておらず、告知方法を検討中
- ・ MD330: 昨年度に続いて外向けの告知で若い方が入りやすい体制づくりを目的に活動。今期の補助金申請に向けて準備委員会を設けた。外向けの発信にSNSを活用し、自己満足ならないPR活動を考えている。昨年度はニュースリリースを発信し、奉仕活動を前に出したPRで成果を上げた

② 各複合地区における懸案事項と全日本共通の課題

廣田委員長がSNSの活用促進の方法について意見を求めたのに対し、次の趣旨の発言があった。

- ・ SNSは登録メンバーが投稿をシェアすることで更に広がる
- ・ 感動を与えるような伝え方ができればいい
- ・ 大々的に発信するよりも、身近な人にアプローチした方が良い。特に女性は口コミが強いので、女性向けを意識して発信するのも有効

- ・ 会員増強チームとPRがうまく連携できていない現状もある

また、各複合地区が持つPR素材を共有したいとの提案があり、335複合地区、333-B地区で制作された動画や、331-A地区の地区誌のデータを画面で共有。次回委員会で各複合地区の持つ素材を持ち寄り、他地区で利用する場合の条件（費用負担の有無など）を含めて更に検討する。

3. ライオン誌の活用とウェブマガジン普及

廣田委員長からライオン誌の活用とウェブマガジン普及について協力要請があった。

4. その他

社団の担当理事他の出席者に対し、ここまでの協議について発言を求め、次の趣旨の発言があった。

- ・ よりコンパクトな動画やキャッチコピーでPRできるような取り組みをしてほしい
- ・ 奉仕活動のアピールがうまくできていないと感じる。メディアが取り上げたくなる活動が必要

【閉会あいさつ】

- ・ 水沼PR副委員長：有意義な会議となった。各複合地区からの情報やデータを日本ライオンズで蓄積し、協議しながら活用策を構築していきたい。

＜次回開催予定＞ 第2回：11月14日14:00～16:30（Zoom）

議事録作成：佐藤 有（331複合地区委員）

福田智恵（333複合地区委員）

(2025-26 年度)

第1回 国際理事候補者資格審査委員会 (HB) 議事要録

◎日 時： 2025 年 8 月 9 日 (土) 14:00-16:00

◎場 所： 日本ライオンズ事務所+ZOOM

◎出席者：

国際理事候補者資格審査委員会

委員長 諏訪 昇三 (札幌時計台 LC)

副委員長 倉田 雅史 (小田原白梅 LC)

各複合地区国際理事候補者資格審査委員

330 複合地区 村木 秀之 (東京数寄屋橋 LC)

331 複合地区 荒井 喜和 (札幌清田 LC) 【WEB】

332 複合地区 (代理) 車田 信彦 (玉川 LC)

333 複合地区 吉原 稔貴 (市川 LC)

334 複合地区 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

335 複合地区 廣田 晃一 (姫路中央 LC) 【WEB】

336 複合地区 澤 辰水 (下関 LC)

337 複合地区 松本 幸則 (佐世保みなと LC) 【WEB】

第1回国際理事候補者資格審査委員会招集者：

一般社団法人日本ライオンズ理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

副理事長 山崎 もとみ (大田 LC)

専務理事 伊賀 保夫 (東京ピース LC)

14:00、会議招集者である一般社団法人日本ライオンズ喜多理事長による開会と挨拶に続き諏訪委員長の挨拶があり、伊賀専務理事による進行となった。

◎議事

1. 出席者紹介：

2. 議事録作成人の指名： MD333 吉原委員、MD336 澤委員

3. 2026-28 年度国際理事選出の確認

(1) 国際附則第2条3項の国際理事立候補者の資格 (①グッドスタンディングのライオンズクラブのグッドスタンディングの正会員、②地区ガバナーの任期満了、③推薦できる制地区の規模、④地区および複合地区の推薦証明)を確認した。

(2) 国際会則第5条3項 (国際理事会の会則地域別構成および選出) の国際理事定数

に従って、2026 年 7 月 3 日～7 日に行われる第 108 回香港国際大会で選出される東洋東南アジア地域の国際理事は 3 名であることを確認した。

4. 推薦要望を提出した国際理事候補者

(1) 諏訪委員長の指示により、一般社団法人日本ライオンズ事務所内金庫に保管していた 2 つの郵便物を伊賀専務理事が取り出して、皆の前で開封した。

諏訪委員長が確認の上、2025 年 7 月 31 日までに、ガバナー協議会から当委員会宛に提出された推薦要望書は、次の通り 2 通であることを発表した。すべての内容物のコピーをとるように指示があった。

3 3 5 複合地区 ^{まつおか} 松岡 ^{いさお} 勲 元地区ガバナー (335-C 地区・京都南 LC)

3 3 7 複合地区 ^{ふたば} 二場 ^{やすゆき} 安之元地区ガバナー (337-A 地区・福岡玄海 LC)

(2) 各候補者からの全ての内容物のコピーを取り、WEB 出席者には電子的に送付するよう指示があり、会議は一時中断し 30 分後に再開した。

5. 推薦要望書の内容確認と審議

受領日付順に審議を行った。

(1) 3 3 5 から複合地区から提出された松岡勲候補者の推薦要望書一式が配られた。

要望書には国際理事候補者推薦選挙手続き規則第 2 章第 14 条(2)で定めている必要な書類 (①候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面、②所属する準地区及び地区年次大会での決議が記載された議事録の写し、③クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書) が含まれていることを確認した。

(2) 候補者は、国際附則及び推薦手続き規則に規定されている資格者であることを確認した。

(3) 但し、提出された 3 3 5 複合地区協議会議長から当委員会宛の推薦書表題の候補者氏名に誤りがあることが指摘され、修正して再提出することを要望する。

(4) 次に MD 3 3 7 から提出された二場安之候補者推薦要望書一式が配られた。

要望書には国際理事候補者推薦選挙手続き規則第 2 章第 14 条(2)で定めている必要な書類 (①候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面、②所属する準地区及び地区年次大会での決議が記載された議事録の写し、③クラブ会長、地区ガバナー、ガバナー協議会議長の推薦書) が含まれていることを確認した。

(5) 候補者は、国際附則及び推薦手続き規則に規定されている資格者であることを確認した。

(6) 数名の委員から、候補者としての資格要件を満たすだけでなく、日本からの国際理事候補者として相応しいかどうかも総合的に審査すべきではないかとの意見が出た。本件に関連して、諏訪理事長から数日前に当委員会宛に届いた MD337 内からの文書について概略説明があり、皆の意見を求めた。

(7) 上記状況により、2 名の 2026-28 年度国際理事候補者を公平に審査することは

現時点では保留とすることを申しあわせた。

- (8) 日本ライオンズに対し資格審査及び推薦を求めてきたことから、直近 8/12 に開催される第1回執行理事会にて至急報告を行うことを申し合わせた。

6. 今後の予定

8月20日（水曜日）13:00-15:00 （HB 対応予定）

- ・第2回国際理事候補者資格審査委員会（国際理事候補者推薦選挙管理委員会）開催
- ・出席者： 各MD委員、MD 337 関係者（日本ライオンズ執行理事会にて検討）

以上

議事録作成人：

MD333 委員 吉原 稔貴

MD336 委員 澤 辰水

(2025-26 年度)

第2回 国際理事候補者資格審査委員会 (HB) 議事要録

◎日 時： 2025 年 8 月 20 日 (水) 13 : 00-14 : 30

◎場 所： 日本ライオンズ事務所+ZOOM

◎出 席 者：

国際理事候補者資格審査委員会

委 員 長 諏訪 昇三 (札幌時計台 LC)

副 委 員 長 倉田 雅史 (小田原白梅 LC)

各複合地区国際理事候補者資格審査委員

3 3 0 複合地区 村木 秀之 (東京数寄屋橋 LC)

3 3 1 複合地区 荒井 喜和 (札幌清田 LC) 【WEB】

3 3 2 複合地区 大矢 進 (青森まほろば LC)

3 3 3 複合地区 吉原 稔貴 (市川 LC)

3 3 4 複合地区 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

3 3 5 複合地区 廣田 晃一 (姫路中央 LC)

3 3 6 複合地区 澤 辰水 (下関 LC)

3 3 7 複合地区 松本 幸則 (佐世保みなと LC) 【WEB】

第1回国際理事候補者資格審査委員会招集者：

一般社団法人日本ライオンズ理事長 喜多 友一 (上田城南 LC)

副理事長 山崎 もとみ (大田 LC)

専務理事 伊賀 保夫 (東京ピース LC)

常務理事 武永 健次郎 (都城きりしま)

13:00、諏訪委員長の開会宣言に続き喜多理事長からの挨拶があり、伊賀専務理事による進行となった。

◎議事

1. 本日の出席者紹介：

2. 議事録作成人の指名： MD334 増澤委員

3. 第1回国際理事候補者資格審査委員会の報告：

諏訪委員長から、協議メモを元に各委員の共通認識を確認した。

また、前回会議において MD335 松岡国際理事候補者から提出された訂正版文書は確かに8月18日付けで受領されていることの報告あり。その原本は対面された出席委員間に

回覧され、WEB 出席者にも画面共有された。一同了承。

4. 第1回執行理事会における報告：

- (1) 去る 8/12 に開催された執行理事会においては、L 二場は地区内での紛争があった事実は理解できるが、外部では的確な判断が難しいため、まずは複合地区内でしっかり精査し意見をまとめてほしいと武永議長あてに調査依頼をした。武永議長は次回国際理事候補者資格審査委員会までに回答することとした。武永議長了承。
- (2) L 二場に関する実名メンバーから文章が提出され、さらに国際協会宛にも提出された事実があったとの報告もあり、理事会での審議取り扱いの必要性があるとの判断がなされた。
- (3) 理由としては、2023 年春に一般社団法人日本ライオンズの組織改編の提案について当時の複数名の地区ガバナーによる臨時社員総会開催の要請があり、その中の一人として、L 二場自身が自筆署名を付していたとの事であった。

5. 各委員との意見交換：

- (A) 候補者推薦の重要性： 当委員会は平等な資格審査を行っているが、権限以外にも実情に合わせた適切な対応が迫られる必要が出てきている。現国際理事候補者資格審査委員会規則の任務内容について再考する必要性を提起したい。
- (B) 議論の透明性と人道的な視点が必要： 資格審査のプロセスの重要性とその時間的限界を感じる。
- (C) 資格審査委員会の決議には従う意向を示しても、過去の経緯からしこりが残る可能性を懸念する。
- (D) 資格審査委員会の推薦審査とグッドスタンディングであること、サインの重さを感じる。

6. 協議結果：

本日の当委員会後、第2回理事会が開催されるので、最終的に理事会での総括的な審議となることを申し合わせた。

以上

議事録作成人

MD334 委員 増澤 義治

2025-26 年度 第 1 回会則委員会会議 議事要録

2025 年 9 月 2 日(火) 14:00-16:30
日本ライオンズ事務所+ZOOM システム

◎出席者:

一般社団法人日本ライオンズ:

理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【Web】
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【Web】
副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC) 【Web】
専務	伊賀 保夫	(東京ピース LC)
委員長	渡邊 俊弥	(仙台五城 LC)
副委員長	設楽 幸子	(札幌アカシヤ LC) 【欠席】

複合地区会則委員:

3 3 0 複合地区	森川 明治郎	(西入間 LC) 【Web】
3 3 1 複合地区	佐々木 忠康	(小樽 LC) 【Web】
3 3 2 複合地区	荒川 友成	(郡山西 LC)
3 3 3 複合地区	椎名 健二	(牛久荳崎 LC)
3 3 4 複合地区	山本 基博	(恵那 LC) 【Web】
3 3 5 複合地区	中谷 豊重	(岸和田 LC) 【Web】
3 3 6 複合地区	松岡 諒	(福山久松 LC) 【Web】
3 3 7 複合地区	曾山 純廣	(霧島みらい LC)

オブザーバー

日本ライオンズ事務局長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
-------------	-------	----------

- ① 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 喜多 友一
- ② 会則委員長 ご挨拶 会則委員会委員長 渡邊 俊弥
- ③ 出席者自己紹介・確認
- ④ 議事録作成人の指名 MD332 荒川委員・MD333 椎名委員を指名。

議案：

1. 前年度からの申し送り事項と今年度の方向性について

- ・前年度からの引き継ぎ事項の確認、および今年度の活動方針を定めることを目的とし議論された。
- ・MD335 で制作された「まんがでわかるロバート議事規則」については日本ライオンズ理事会での議論を元に今後の活用方法を検討。

2. 第 106 回・第 107 回国際大会則改正および 2025 年 7 月国際理事会決議要録の確認

- ・2 年分の国際大会での会則変更の確認。

3. 2025-26 年度版 ライオンズ必携及び役員必携の編集発行について

- ・ライオンズ必携第 62 版の発行に向けて前年度で意見の出たデータ化なども含め前向きに検討したい。
- ・40 年以上前に作成された必携前文の全面的な見直しが必要。
- ・社員総会で承認された日本ライオンズ賛助会費値上げ（80 円→120 円→160 円）の反映については具体的な金額は記載しない方針で検討する。
- ・メルボルン・オーランド国際大会で決定された規則改定（第 2 副地区ガバナーの就任資格拡大など）を反映させる。将来的にはデータ化も検討。
- ・「ライオンズ必携」・「役員必携」の内容を全面的に見直し、発行を検討する。
- ・長期的課題として、必携のデータを事務局で管理・修正できる体制（データ内製化）を構築する。日本ライオンズ事務局へ必携の選任担当事務局員を置く要望があったが喜多理事長・増澤事務長より現状では難しいと回答。

4. その他

・「複合地区会則」と「準地区会則」について

MD330 にならい、2 つの会則を他の地区でも分離すべきかについて質問があり協議。反対意見も含めて各 MD 委員より意見が出る。

結果、全地区において、会則を「複合地区会則」と「準地区会則」に分けて整備する方針で統一する。MD330 データを参考にする。

・国際理事候補者資格審査委員会規定について

喜多理事長より、現時点では「国際理事候補者資格審査委員会」の権限が書類審査に限定されており、候補者のリーダーとしての適性を実質的に評価する機能を果たしていないという問題が提起され協議が行われた。

国際理事候補者の選考プロセス（委員会の権限、推薦プロセスの明確化、オセアルガイドラインの反映等）の見直しについて理事会でも再度検討を行う。

・次回開催日程の確認 10/8（水）ハイブリッド開催

⑤ 閉会挨拶 副理事長 山崎もとみ

以上

議事録作成人：

MD332 委員 荒川 友成

MD333 委員 椎名 健二

(2025-26 年度)

第1回 国際大会委員会 (HB) 議事録

◎日 時： 2025 年 8 月 5 日 (火) 15 : 00-17 : 00

◎場 所： 日本ライオンズ事務所+ZOOM

◎出 席 者：

一般社団法人日本ライオンズ

理 事 長	喜多 友一	(上田城南 LC)
専務理事・国際大会委員長	伊賀 保夫	(東京ピース LC)

国際大会委員会

副 委 員 長	杉木 徹	(砺波 LC) 【欠席】
副 委 員 長/副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC) 【WEB】

各複合地区国際大会委員

3 3 0 複合地区	細川 孝雄	(東京赤坂 LC)
3 3 1 複合地区	須藤 敏幸	(伊達 LC) 【WEB】
3 3 2 複合地区	高橋 寛	(和賀 LC)
3 3 3 複合地区	岡野 良男	(土浦環 LC)
3 3 4 複合地区	戸祭 宏樹	(鯖江王山 LC) 【WEB】
3 3 5 複合地区	江草 長史	(和田山 LC)
3 3 6 複合地区	日下 眞二	(出雲中央 LC)
3 3 7 複合地区	吉見 章一	(宮崎ひむか LC)
2025-27 国際理事 (本部大会委員会所属)		
	仁科 良三	(長野みすず LC) 【WEB】
日本ライオンズ事務局	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

◎ 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

喜多 友一

香港の大会まで1年間ご協力よろしくお願いします。特に本部指定のホテルの部屋数消化などの調整よろしくお願いします。

◎国際大会委員会 委員長のご挨拶 MD330 前議長

伊賀 保夫

オーランド大会で無事に2名の国際理事が選出された。パレード等へのご協力ありがとうございました。香港まで引き続きよろしくお願いします

1. 本日の出席者確認及び進行について

資料に基づき確認。

2. 議事録作成人の指名

MD332 高橋委員を指名。

3. 議案：

①国際大会委員会の任務及び実務について

委員会での任務および実務、公認 TC 規定について確認。現状とは異なる点を見直しする。
優先事項であるホテル割り当てについてもオセアル調整事務局との打ち合わせや、地区内非公認旅行者との情報共有が必要であるという意見。

②第 107 回国際大会（オーランド）報告と反省

(1)日本ライオンズ作成 大会報告書の確認

日本ライオンズで作成した大会報告書について確認。投票の結果、会則改正案については 2 号議案のみ否決。

(2)オーランド大会反省点について

反省点として、DGE を対象とした「地区の管理セミナー」への出席率が大変低かった件が挙げられた。公式からのプログラムなどの情報が遅かったこともあるが、大変大事なセミナーであるので、大会委員会でも何度も参加を呼び掛けていく。

- ・国際会長など、VIP が日本ライオンズ代議員会へいらっしゃらなかった。今後は招待状の受け渡しなど手順の確認が必要である。

- ・ホテルのセキュリティについて一部問題があった件については幹事公認 TC へ申し入れを行う。安全な参加のために必ず公認 TC ツアーをご利用いただくべく、前年度より検討中のツアーデスク料金の負担についてなど、ツアー料金を下げる工夫についても今年度のテーマである。

③第 62 回 OSEAL フォーラム（2025 年 10 月 23－26 日 北海道・札幌）

(1)最新情報の確認

- ・登録状況と目標数の確認。次回委員会や、執行理事会でも話をしていく。

先述の「地区の管理セミナー」の件も受け、出席すべき会議については早めに案内を出してほしいと要望あり。またフォーラム閉会式後の 10 月 26 日 15 時から AP シン公式会長公式訪問が予定されている。

(2)各 MD の登録目標数と状況について

各複合地区の状況が登録目標に対して現状厳しいため、8 月末までに残りの 50%、9 月末までに 100% 達成するようお願いしたい。

例) MD330 は目標値 800 名、現状 200 名なので、8 月末までに 500 名、9 月末までに 800 名達成する。

こちらについては、8 月 12 日の執行理事会において、各複合議長とも共有する予定。

④第 108 回香港大会（2026 年 7 月 3 日－7 日 香港）最新情報の確認

- ・現時点での情報について

今回も登録する時期により手数料が 3 段階。2026 年 1 月 31 日まで早期登録が有効（190 ドル）。

⑤その他（次回委員会開催）

9 月 2 日 10 時より web 開催

4. 閉会宣言 国際大会委員会副委員長

山崎 もとみ

日本ライオンズ発行<2025-26-C-03>

以上

議事録作成人

3 3 2 複合地区 委員

高橋 寛

2025-26 年度

第 2 回 国際大会委員会(WEB)議事録

◎日時：2025 年 9 月 2 日（火）10:00-11:30

◎場所：ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)
副理事長	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC)
副理事長	廣田 晃一	(姫路中央 LC)
国際大会委員会委員長/専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース LC)
国際大会委員会副委員長/副理事長	山崎 もとみ	(大田 LC)

複合地区国際大会委員

330 複合地区	細川 孝雄	(東京赤坂 LC)
331 複合地区	須藤 敏幸	(伊達 LC)
332 複合地区	高橋 寛	(和賀 LC)
333 複合地区	岡野 良男	(土浦環 LC)
334 複合地区	戸祭 宏樹	(鯖江王山 LC)
335 複合地区	江草 長史	(和田山 LC)
336 複合地区	日下 眞二	(出雲中央 LC)
337 複合地区	吉見 章一	(宮崎ひむか LC)

第 62 回 OSEAL フォーラム札幌 組織委員会

委員長/LCIF 理事	鶴嶋 浩二	(札幌中島 LC)
-------------	-------	-----------

2025-27 年度国際理事

本部大会委員会所属	仁科 良三	(長野みすず LC)
-----------	-------	------------

オブザーバー

国際大会委員会副委員長 予定者	浜 一平	(岡谷 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

◎開会宣言 国際大会委員長 伊賀 保夫

◎仁科良三国際理事（本部大会委員会所属）よりご挨拶

◎鶴嶋 LCIF 理事（第 62 回 OSEAL フォーラム札幌組織委員会 委員長）よりご挨拶

◎出席者確認

全員の出席を確認。伊賀委員長が進行。

◎議事録作成人の指名

MD334 戸祭委員を指名

主要議題：

1. 第 62 回 OSEAL フォーラム（2025 年 10 月 23 日-26 日 北海道・札幌）

（1）最新情報の確認

大会組織図に一部変更があり。

監査委員の委員長の変更。

各委員長も変更がある為、随時ホームページの変更を行う。

（2）各 MD の目標登録数と現在の登録状況について

MD	330	331	332	333	334	335	336	337	8MD
目標数	800	3,000	800	1,200	1,300	1,000	1,050	1,050	10,200
8/29 時点での登録数	315	1,764	359	410	713	577	285	217	4,640
達成率	39%	59%	45%	34%	55%	58%	27%	21%	45%

MD331:旅行例会化による参加促進。

MD332:実参加はこの水準見込み、未参加層へ「登録のみ」要請。

MD333:A-E に按分目標を提示、地区委員長レベルへ落とし込み強化

MD334:登録だけでも各ガバナーに要請。

MD335:クラブ別登録者名簿の入手不可（個人情報）。直接架電作戦が困難

名簿が出せないならキット事前配布・当日名簿も難しいのではとの懸念

MD336:クラブ代議員数（10 人に 1 人）に応じた登録を要請。

MD337:距離や直行便の制約、代議員数方式の活用検討、資料再配布と再徹底

・フォーラム委員会から一括名簿提供は不可（安全・法務リスク）

・各 MD で自前名簿作成とキャビネット経由の申込情報突合で追い上げ

- ・地区名誉顧問の登録促進
- ・地区間の偏りはガバナー・委員の動き不足の可能性、平均化に向けた是正を要請

(3) 登録キットの郵送（事前配布）について

- ・メールにて申し込み
- ・事前郵送可、事後郵送の詳細は確認中。基本は着払い。

(4) JP レセプションについて

- ・10/25 18:00-19:00, 京王プラザホテル札幌
- ・候補者推薦が確定したため開催
- ・参加枠運用: オープン/招待制の判断は社団で決定 費用/混雑を考慮
- ・お土産の有無は今後検討。入場チェック等の運用詳細は今後詰める
(式次第は社団作成)

ドレスコード

- ・フォーマル寄り（ネクタイ推奨、タキシード不要）
- ・ガバナーはタキシード推奨（過去例踏襲）

(5) 国際会長晩餐会について

- ・国際会長晩餐会（同日夜 19:30-21:30, 京王プラザホテル札幌）
- ・海外参加者を優先し、日本枠は後日確定予定
- ・優先度: ガバナー/議長/元ガバナー/PID/第1・第2副/キャビ幹事等で構成
- ・晩餐会不参加で帰途の方など、個別希望は優先受付可

2. 第108回香港大会（2026年7月3日-7日 香港）・現時点での情報の確認

● 日程と登録

- ・パレード: 7/4、開会式: 7/5、2日目総会: 7/6、閉会式: 7/7
- ・早期登録: ~1月30日 US\$190、通常登録: 1月31日~6月30日 US\$265、
現地登録: US\$340
- ・登録取り消しには、1件につき US\$50 の基本取消手数料が課される
(参考: 前回オーストラリア大会 1件につき US\$25)

3. MD330-337 公認ツアーコーディネーター規定および各 MD 公認 TC の決定状況について

- ・公認 TC はガバナー協議会決定。MD334 は未決
- ・社団側でヘッド代理店を一本化する案（例:公認 TC 幹事+各 MD 公認 TC）と、ガバナー協議会の整合
- ・規定改訂: 営業範囲制限の見直し
- ・最低催行人数のリスクと直前キャンセル対応（昨年の課題）を回避する運用
- ・価格/サービスの平準化（同一ホテル・同一便でも価格差/一人増し料金等の是正）
- ・遠隔地発の切込運賃の過大化是正（コスト透明性）
- ・地元会員旅行社の下請活用（現地や現場での対応力強化、迅速な決裁）

4. その他（札幌フォーラム補足情報）

会場アクセス/動線

札幌ドーム（開会式）:

- ・バス駐車: 100 台枠、先着、有料（目安 1 回 1000 円）、予約不可。係員誘導あり
- ・乗用車: 約 300 台の有料駐車
- ・会場内飲食: 一部レストラン開放予定
- ・退場制限: 閉会（16:00）までバス含め出庫不可。早退運用なし
- ・10/23-25 の ID 引取場所は赤れんが庁舎（札幌駅近く）。ドームでは不可（公認旅行社経由はドーム可）
- ・24 日朝到着者で赤れんが経由が難しい場合は各 MD 旅行会社か Win Travel に相談
- ・入場行進: ガバナーはタキシード想定。朝の会議から着用推奨（更衣室なし）
- ・席割: アリーナ約 8500 席。日本はホストとして国別席割を前提に MD 別配分。各 MD は実参加人数を 9 月末~10 月頭に報告（空席最小化）
- ・移動: 京王プラザードームはガバナー以上はバス手配予定。他は公共交通（最寄駅から徒歩約 10 分）

札幌コンベンションセンター（各種セッション）:

- ・周辺に飲食/商業施設あり（レストラン約 15 件）
- ・帰路タクシー確保難あり。地下鉄利用推奨（最寄駅から徒歩約 8 分）

次回、開催日程

日時: 10 月 1 日（火）午前 10:00（オンライン）

◎閉会宣言 国際大会副委員長 山崎 もとみ

以上

議事録作成人

334 複合地区委員 戸祭 宏樹

(2024-2025 年度)

第 6 回 YCE 委員会(WEB) 議事録

◎ 日 時：2025 年 5 月 16 日(金) 10：00-12：00

◎ 場 所：ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC) 【欠席】
専務理事	中谷 豊重	(岸和田 LC)
YCE 委員会委員長	田中 雄一	(狭山 LC)
YCE 委員会副委員長	廣田 晃一	(姫路中央 LC) 【欠席】

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員：

MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC)
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC) 【欠席】
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC)
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー：

日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------	-------	----------

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 田中 雄一
2. 一般社団法人日本ライオンズ専務理事ご挨拶 中谷 豊重
3. 出席者の確認
4. 議事録作成人の指名 MD334 中田委員長を指名。

5. 議題 確認事項および協議事項

1. 今年度夏季来日・派遣予定報告

(1)各複合地区より来日・派遣予定人数の報告

MD332：台湾からの来日生2名追加の合計5名に変更

MD334：マレーシア派遣が10名から9名に変更

MD335：MD4へ2名、マレーシアへ4名追加

MD336：台湾派遣を8名に修正

MD337：シンガポール派遣を1名追加の合計13名に変更

(2)共有事項について

2.ホストファミリー手引き作成

(1)田中委員長作成案の確認。以下の件を追加する提案が参加者より寄せられる。

①キャッシュレス対応:現金以外のクレジットカード、デビットカード（未成年向け）の準備を推奨する旨を追記。特にマレーシアはキャッシュレス主流。

②受託手荷物制限:LCC 利用時の厳しい重量制限について注意喚起。特に帰国時のお土産で超過料金が発生しやすい。

③事前チェックイン：航空会社の事前チェックイン（スマホ等）活用を推奨。空港での手続き時間短縮のため。

今後の資料修正の進め方

①各委員長は資料に目を通し、時代の変化（カード問題等）に合わせた追記・変更点があれば、次回委員会前までにメールで連絡。

②事務局で集約し、次回委員会で最終確認。

3.YCE に関する社団一本化の可能性について意見の集約

①期待されるメリットとして運営効率化、情報共有円滑化、対外的な交渉力向上などが挙げられた。

②懸念点としては複合地区の役割・責任範囲の曖昧化、実務負担の偏り、自由な運営の制限、費用負担増などの意見。

③要望・提案として、日本ライオンズがどこまで実務を担当可能か、複合支援制度の期間、責任分担（人的・費用的）の明確化の要望。

335：複合地区 YCE 委員会内では、一本化については慎重な意見が多かった。日本ライオンズの具体的な関与が見えない現状では賛否を表明し難いが、複合の役割がどうなるかが最大の懸念事項であるという意見。

332・333：実務はキャンプなど責任があり、各 MD が担わざるを得ないと思われる。全国一括での取

りまとめについては慎重である。来日生について人気キャンプ地(ディズニーランド、USJ 等保有地区)への希望集中と、それ以外の地区の人気薄傾向が挙げられたほか、日本ライオンズの担当範囲と費用負担(事業一本化により、各複合が費用を分担する、割り当てが発生する可能性があるかどうか、等)の明確化が必要。賛助会費値上げに見合う内容であることも重要であると意見。

334: 一本化し派遣国振り分けを日本ライオンズにお願いしたい。現状の担当国をなくすことで派遣先の偏りを解消し、多くの国への派遣が可能になり、行きたい国への派遣可能性が向上することが考えられるため。

337: 複合内では意見が二極化(活性化推進派と予算削減による消極派)。

クラブからの推薦で派遣する流れのため、クラブレベルでの YC 事業への関心向上が重要。一本化推進派の背景に「負担軽減」の思惑が見られ、結果的に地区・クラブの YCE 関連人材が減少し、事業が弱体化する懸念。メリット・デメリット両側面ある

336: 事務局からは事務煩雑化のため一本化要望あり。運営実態としては、特にキャンプを伴う受け入れは MD の積極的関与が不可欠。

固定化した派遣・受け入れ先のジレンマ解消、世界中との青少年交流という YCE の理想実現のため、ある程度窓口一本化は必要との認識。

330: 一本化には賛成である。

MD の事務作業内容を整理し、社団が何を担えるのか明確化が必要。

多く寄せられた意見として、現状 8 人の委員が行っている「誰をどこに派遣するか」の調整業務を社団で行うことができるのでは。どの事務を社団に移管し、経費削減に繋がるか具体的に検討すべき

【今後について】

各複合地区から、メリット・デメリット・要望・提案を 3 点にまとめ、書面で提出。

次回委員会で内容を精査し、次期へ繋げる。

社団一本化による人材・費用、複合地区の業務・金額負担の分担などを慎重に検討する必要あり。

【次回委員会日程調整】

2025 年 6 月 22 日(日) 仙台・対面開催

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ 専務理事

中谷 豊重

以上

2025 年 5 月 16 日

議事録作成人

MD334 委員 中田 勇一

第 7 回 YCE 委員会(対面)議事録

2025 年 6 月 22 日(日) 15:30~17:00

◇ 宮城県仙台市秋保温泉 緑水亭

【出席者リスト】

一般社団法人日本ライオンズ

YCE 委員会委員長 田中 雄一 (狭山 LC)

24~25 年度 各複合地区 YCE 委員長

MD330 委員長 三宅 康雄 (東京高輪 LC)

MD331 委員長 繁富 敬史 (札幌中央 LC)

MD332 委員長 洞口 勝則 (名取 LC)

MD333 委員長 藤川 清幸 (前橋中央 LC)

MD334 委員長 中田 勇一 (下諏訪 LC)

MD335 委員長 団 英男 (神戸みなと LC)

MD336 委員長 小銭 和明 (倉敷東 LC)

MD337 委員長 松枝 伸行 (宇土 LC)

オブザーバー

MD332 ガバナー協議会議長 渡邊 俊弥 (仙台五城 LC)

332-C 地区 ガバナー 佐藤 久一郎(南三陸志津川 LC)

MD332 YCE 副委員長 渡部 政介 (郡山西 LC)

MD332 事務局次長 武者 眞博 (仙台青雲 LC)

日本ライオンズ 事務長 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

以上

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 L. 田中 雄一
2. 出席者の確認 松浦理事長、中谷専務理事、廣田副委員長、濱田次期 YCE 委員長予定者は欠席
MD332 協議長 L. 渡邊俊弥は、後ほど参加予定。
他の委員全員の出席を確認した。
3. 一般社団法人日本ライオンズ事務長挨拶 L. 増澤 義治
4. 議事録作成人の指名 MD336 小銭委員長が指名される。
5. 議題 確認事項及び協議事項
 - ① 今年度夏期来日・派遣の最新の人数およびキャンプ実施の最終実施要項などを各 MD 委員長より発表され、情報を共有した。
 - ② YCE プログラムに関する手引きの最新改定版(2025年6月22日付)が配布され田中委員長より追加、および変更点に付いて説明があり、全員一致で承認される。
 - ③ YCE 事業一本化の可能性について
委員会開催時までには寄せられた意見が資料として提出される。
各 MD 委員長より意見が述べられた。

MD333 藤川委員長

派遣に付いては、どの MD も平等に各国に派遣事業が可能となるよう、社団がま
とめて欲しい。MD333 はミニキャンプを実施予定であり、それは MD が実施。

MD334 中田委員長

社団が主導することにより、派遣生が希望する国へのオファーが可能となり、その
点でのメリットがあり現在の担当国制度は如何なものかと考える。
反面デメリットとしては、社団の YCE 委員会が主導するしかなくなり、今後につ
いては、いわゆるヨーロッパ方式を取入れたらどうか。

MD335 団委員長

社団での担当が現実問題として可能かどうか疑問である。

マレーシアの実例を紹介して説明があり、来期への継続審議を希望。

MD336 小銭委員長

提案のあった社団への追加有償3名の雇用が、現実的に可能かどうか疑問である。希望派遣国へのオファーが可能となれば、派遣希望者は確実に増加すると思う。

増澤事務長

提案のあった、事務局員増員(案)は実質不可能である。

過去に実績のある YCE 経験者をお願いして、YCE プロフェッショナルチームを結成して(無償)現社団事務局員の教育をしていけば、5年程度である程度の形あるものになるのではないかと。中長期的には、社団一本化は賛成である

MD333 藤川委員長

派遣国に付いては、窓口制度を廃止し、社団は各 MD からの要望を交通整理してもらっただけで良いのでは。

田中委員長

この一本化問題は、なかなかすぐに結論の出る事案ではないので、5年あるいは10年のスパンで考える事とし、次年度への引継ぎ事項とする。

MD331 繁富委員長

当 MD では、国際ディレクトリーを使って募集をかけており、エントリーが終わった後、アプリケーションフォームを出している。

MD332 洞口委員長

当 MD では、国際ディレクトリーを出して募集をかけるも、台湾生しか来ない。かなり地域格差が生じている。

社団での一本化により、全日本レベルで募集してもらった後、各 MD に振り分けて頂きたい。

増澤事務長

受入事業に関しては、ある程度の割振りを行わないと、人気のある MD に偏りがちであり、検討が必要である。

田中委員長

本日皆さんから頂いた意見に付いては、次期濱田 YCE 委員長予定者に引継ぐ

必要性がある。

MD334 中田委員長

相手国をすべてフリーにすることについては、賛成である。

プロジェクトチーム等、社団一本化に特化した検討チームを作っていくのがベストである。

増澤事務長

プロジェクトチームを新たに作る事を理事会で認められれば、実務は最終的に YCE 委員会が責任を持つこととなる。

MD337 松枝委員長

MD337 では、YCE に対する予算がほとんどなく、潤沢な予算のある各準地区へ持ち帰れば様々な申出ではあると思う。

④ 次年度への引き継ぎ事項

田中委員長より

様々な意見を頂きありがとうございました。最終的に、①ホストファミリー用マニュアルの件、②YCE 事業一本化への可能性の模索と、その場合は特別プロジェクトチームを作って行く事、の2点を基準に引継ぎ事項としたいと思う。

332-C 地区ガバナー L. 佐藤 久一郎

この YCE 事業は、YCE 生の人生を左右するくらいインパクトのあるアクトであると考えるので、今後益々盛会となるよう希望して締め挨拶とします。

6, 閉会の挨拶 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員長 L. 田中 雄一

今回の仙台開催委員会の準備や特別な御配慮を頂いた、MD332 洞口委員長をはじめ MD332 の関係者に、参加者より深く感謝を申し上げ閉会となった。

以上

議事録作成 MD336委員長

日本ライオンズ発行<2024-25-Y-M07>

L. 小銭 和明

第1回 YCE 委員会 WEB 議事録

日時：2025 年 8 月 25 日（月） 14：00-16：30 場所：ZOOM

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	喜多 友一	(上田城南 LC)
専務理事	伊賀 保夫	(東京ピース LC)
YCE 委員会委員長	濱田 浩平	(長崎南 LC)

25-26 年度 各複合地区 YCE 委員

MD330 委員	田代 哲也	(南足柄 LC)
MD331 委員	佐藤 豪一	(帯広かしわ LC)
MD332 委員	渡部 政介	(郡山西 LC)
MD333 委員	星野 勝美	(太田 LC) 【欠席】
MD334 委員	今泉 雅雄	(豊橋南 LC)
MD335 委員	団 英男	(神戸みなと LC)
MD336 委員	住吉 孝文	(玉野 LC) 【欠席】
MD336 委員代理	岡田 和好	(長門 LC) 【代理出席】
MD337 委員	中川 誠	(宮崎フェニックス LC)

24-25 年度 各複合地区 YCE 委員

日本ライオンズ 前 YCE 委員長

	田中 雄一	(狭山 LC)
MD330 委員	三宅 泰雄	(東京高輪 LC) 【欠席】
MD331 委員	繁富 敬史	(札幌中央 LC) 【欠席】
MD332 委員	洞口 勝則	(名取 LC) 【欠席】
MD333 委員	藤川 清幸	(前橋中央 LC)
MD334 委員	中田 勇一	(下諏訪 LC)
MD336 委員	小銭 和明	(倉敷東 LC)
MD337 委員	松枝 伸行	(宇土 LC)

オブザーバー

YCE 副委員長予定者	津田 勝之	(大阪桜之宮 LC)
日本ライオンズ事務長	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

1. 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 喜多 友一
YCE 事業については、詳しい方ではありませんが一年間よろしくお願いいたします。
2. 一般社団法人 日本ライオンズ YCE 委員会委員長 濱田 浩平
ライオンズクラブにとって、YCE 事業は青少年育成の中で重要な主力事業です。
コロナ禍以降、徐々に再開し昨年から活動が活発になりつつある状況ではないかと思
います。
昨年に引き続き、この第 1 回委員会では前期委員にもご参加いただきました。新旧の
情報交換・共有しながら進めてまいります。一年間よろしくお願いいたします。
3. 出席者の確認 各出席者より自己紹介。
4. 議事録作成人の指名 MD337 中川委員長を指名。
5. 議題 確認事項および協議事項

【基本方針の確認】

(1) 日本 LC-YCE 委員会の目的について

・各複合地区 YCE 委員会の補佐役と情報共有及び調整の場。主体はあくまで 8 複合地区
で YCE の運営をしていただき、本委員会は情報交換の場。様々な問題・調整事項があれば
協議いただきたい。

各複合地区委員会での課題・派遣の複合間の調整なども本委員会で検討していきます。

(2) 各複合地区担当窓口の確認

2025 年 4 月 14 日 24-25 年度 第 5 回 YCE 委員会にて作成された現在の担当窓口一覧
表を確認いただきたい。現在各複合地区窓口対象国を絞っている状況となっています。

冬期派遣の窓口等々については、次回以降の委員会で調整・検討をしていきます。

【前年度からの引き継ぎ事項について】

(1) YCE プログラムに関する手引きの変更について

YCE プログラムに関する手引きについて、P24 以降、ホストクラブ及びホスト家庭（ファ
ミリー）の手引きを追加。青文字の箇所を追加・文字変更しました。今後は情勢の変化で
内容の変更など調整してください。

前々期にユニフォームを青ジャケットから白ベストに変更しましたが、派遣対象国によっ
てはフォーマルな服装を求められることから以前の青ジャケット着用の要請があり、以前
の青ジャケットを併記しました。派遣対象国によって求められる服装が違いますので各複
合地区 YCE 委員長は対応をお願いします。

(2) YCE 窓口の日本ライオンズ一本化について

前期委員会にて検討を重ねてきました。3 年から 5 年ほどかけて協議をしていくことにな
ると思います。今期も日本ライオンズでの窓口一本化への道筋を検討をお願いします。

窓口一本化にあたり、昨年度提案のあった、委員会メンバーは毎年入れ替わるため継続検
討していく特別委員会として、諮問機関立ち上げの検討もお願いします。

前 MD333 委員 L 藤川より

前期、提案書を日本ライオンズ YCE 委員会に提出しておりますので、各複合地区委員長
はご一読をお願いします。

提案書については会議後に各委員へお送りし次回委員会で意見を頂く予定。

【春期・夏期交換の報告事項について】

(1) 前期委員長より報告と今後の注意点などについて

- 330 春期はなし。夏期は受入 18 名、8 月 9 日帰国。トラブルなどはありません。
- 331 夏期、受入 12 名。派遣 7 名。8 月 29 日それぞれ帰国。特に問題点はありません。
- 332 派遣 5 名、受入 5 名、特に問題なく終了しました。サマーキャンプは、7 月 30 日カムチャツカ地震により予定を大きく変更しましたが、地元のレオクラブや高校生の協力で無事終了しました。受け入れについて 5 名以外の来日依頼がありましたが、ホストファミリーが見つからず、お断りしました。今期は各準地区委員長と連携し、早めのホストファミリーリストの作成してまいります。
- 333 春期は派遣・受入なし。夏期は受入 10 名ミニキャンプを成田で実施、キャンプ後に帰国。派遣は 3 名で無事帰国。ホストファミリーも早く決まり、ミニキャンプも最終日に開催でき複合の委員会でも評価できました。
- 334 派遣は 27 日全ての派遣生帰国予定。335 団委員長にご提案いただいたマレーシアを含めの 26 名、体調不良の子もでしたが大事無く帰国予定です。受入は 4 か国から来日、今回は日程を調整しました。来日直後空港近くのホテルへ宿泊させ、飛行機遅延の対策・時差の対策し問題なく終了しました。
- 335 夏期の受入がトータル 25 名。そのうち国際キャンプに 21 名、おもにヨーロッパ・北米から各国 1 名が来日。残り 4 名はマレーシアより 337-C 地区に 2 名、335 にて 2 名受入ました。派遣は 27 日、23 名（北は 332 から南は 337 まで）帰国予定。今回より MD308 マレーシア（準地区が 4 つ）各準地区に派遣生全員を同じ準地区に派遣する形を試験的行いました。現在はうまくいっている。それ以外ではヨーロッパに 2 名、330 にお世話になりました MD 4 に 2 名、ニュージーランド 1 名（331 の派遣生）計 28 名派遣。MD 4 については帰国の飛行機遅延などありました。
- 336 派遣 5 名 8 月 4 日～17 日。受入が台湾 8 名・モルドバ 2 名。モルドバからの来日生が豪雨による新幹線運休のため山口で 1 泊延長した。あとは問題点ありません。
- 337 受入は 337C 地区が 335 からのマレーシア 2 名。派遣は 335 からのマレーシアへ 337C・D 地区から 3 名。MD 全体ではシンガポールへ 12 名、7 月 29 日から 8 月 12 日。派遣生の保険写しの携帯忘れや生活態度で少し問題ありましたが、あとは問題なく帰国しました。

(2) 春期・夏期派遣最終人数について

前年度最終委員会開催時点での人数リストを各委員にて確認した

332 派遣で台湾 1 名・受入台湾 2 名を追加。

335 派遣の調整中と記載のアルバータ、ミシガンが派遣はなし。MD4 に 2 名。

受入がマレーシアの 3 名を 2 名へ修正。

夏期派遣・受入数はコロナ前と比べるとかなり少ない状況。コロナ後にホストファミリーが見つけにくい状況を受け、ミニキャンプ実施など各MDで工夫を行っている。

(3) その他、報告・確認事項(新旧委員長)

330 より 今回初めてロシアより受入を行った。ロシアより 330 へダイレクトに依頼があり受入実施した。

【今年度冬期派遣予定について】

・今後委員会を開催し打ち合わせを進めていく MD が多い状況。

330 マレーシアより受入 1 名要請あり、MD の委員会にて受入決定予定。

331 MD 委員会にて派遣受入協議を予定。ウクライナより 1 名要請あり前向きに検討中。

332 ディレクトリに登録済。2 国から問い合わせがあり、MD 委員会にて検討予定。

333 前年度から冬期受入はしないことを MD 委員会にて決定。夏のキャンプ開催に向けて活動予定。

334 窓口 4 か国のうち、派遣はイタリア 4 名・ドイツ 4 名が確定。ベルギーは夏のプログラムしかなく派遣なし。エストニアは 2 名要請したが年間で 2 名の枠をヨーロッパフォーラムで合意したため(夏の派遣をすでに行ったため)派遣できず、エストニア希望の 1 名をこれから調整予定。アジア地域に 5 名の希望があり、これから調整。計 14 名は派遣希望がある。

受入は 335 よりの 9 名をマレーシアより、コロナ明けからは冬期イタリアからしか受入がなく、イタリアへの派遣数と同数程度に 4・5 名をイタリアから受け入れ予定。

335 派遣は現時点ではなし。マレーシアとは夏派遣・冬受入と取り決めしており受入のみ。ただし冬派遣希望者もいるため、マレーシアの 308A2 地区のボルネオ島と派遣の交渉中。

336 8 月 20 日に MD 委員会開催。冬期の派遣はしない。台湾から 10 数名の受入要請があり今後検討予定。

337 シンガポールとは夏派遣・冬受入と取り決めしており、現時点で派遣は予定なし。受入は 8 名予定。335 のマレーシアから 337C・D 地区にて検討中。ウインターキャンプ開催に向けて準備中。

【次回委員会日程の調整】

・10 月ぐらいに東京にて対面で開催予定。日時は後日連絡。

6. 閉会の挨拶 日本ライオンズ専務理事 伊賀 保夫

YCE 窓口の日本ライオンズ一本化について、まだまだ課題があります。

実務にあたる各複合事務局員の負担が大きいとの事で、事務局員さんのご意見も聞きながら社団としてどこまでお手伝いできるのかを今後協議していきたい。

YCE 委員会が活発により運営しやすい形になるよう社団としてもご協力していきます。

以上

議事録作成人 MD337 委員 中川 誠

(2025-26 年度)

第 1 回アラート委員会 (HB) 議事録

◎日 時：2025 年 8 月 26 日 (火) 15：00-16：30

◎場 所：事務所+Zoom

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

2025-26 年度 理事長	喜 ^き 多 ^た	友 ^{とも} 一 ^{かず}	(上田城南 LC)
2025-26 年度 専務理事	伊 ^い 賀 ^が	保 ^{やす} 夫 ^お	(東京ピース)
2025-26 年度 アラート委員会委員長	藤 ^ふ 井 ^{じい}	信 ^{のぶ} 英 ^{ひで}	(岡山みらい LC)
2025-26 年度 アラート委員会副委員長	車 ^{くる} 田 ^{まだ}	信 ^{のぶ} 彦 ^{ひこ}	(玉川 LC)

2025-26 年度 アラート委員

330 複合地区	大 ^{おお} 屋 ^や	保 ^{たもつ}	(川越 LC)	【Web】
331 複合地区	浅 ^{あさ} 野 ^の	敬 ^{けい} 一 ^{いち}	(北見中央 LC)	【Web】
332 複合地区	門 ^{もん} 馬 ^ま	弘 ^{ひろ}	(原町 LC)	【Web】
333 複合地区	三 ^み 枝 ^{えだ}	久 ^{ひさ} 夫 ^お	(佐野西 LC)	【Web】
334 複合地区 (MD 奉仕委員会委員長・GST CN)	山 ^{やま} 本 ^{もと}	基 ^{もと} 博 ^{ひろ}	(恵那 LC)	【Web】
335 複合地区	古 ^{ふる} 川 ^{かわ}	繁 ^{しげ} 浩 ^{ひろ}	(堺 LC)	
336 複合地区	甘 ^{はつ} 日 ^か 出 ^で	一 ^{かず} 晴 ^{はる}	(東広島あきつ LC)	【Web】
337 複合地区	高 ^{たか} 野 ^の	裕 ^{ゆう} 子 ^こ	(熊本平成 LC)	【Web】

2025-26 年度 日本ライオンズ アラートチーム

アラートアドバイザー	新 ^{しん} 里 ^{ざと}	正 ^{まさ} 雄 ^お	(沖縄 LC)	【Web】
東日本統括リーダー	木 ^き 村 ^{むら}	知 ^{とも} 紀 ^{のり}	(青森 ZERO LC)	
西日本統括リーダー	畑 ^{はた} 中 ^{なか}	隆 ^{たか} 之 ^{ゆき}	(岡山みらい LC)	

オブザーバー

日本ライオンズ事務長	増 ^{ます} 澤 ^{ざわ}	義 ^{よし} 治 ^{はる}	(諏訪湖 LC)
------------	---------------------------------	---------------------------------	----------

1. 開会宣言

一般社団法人日本ライオンズ 25-26年度 理事長 喜多 友一

- ・ 一般社団法人日本ライオンズの理事長を拝命しました。よろしくお願いいたします。
- ・ アラート委員会を縮小したことに対して様々なご意見があると思うが、昨年度アラート委員会がガバナーと連絡を密にすることなく独断で活動したことに、被災地行政から地元ライオンズに対してクレームが発生していた。
- ・ アラート委員会は大変重要な活動をしている委員会であり、必要な委員会と考えているので、ルールを守っていただきたい。
- ・ ライオンズの組織として現地ガバナーがすべてを把握した中で責任のある活動をするべきと考える。従って今年度はアラート委員会のスリム化を図りルールに従ったアラート活動ができる組織としていただく様お願いします。

2. ご挨拶

25-26年度アラート委員会 委員長 藤井 信英

- ・ 7年間のアラート経験を経て、今年度は委員長を拝命する事となりました。
- ・ 一般社団法人日本ライオンズのアラート委員会は、直接活動するという組織ではなく、各複合地区・各準地区に対するアドバイス役として当複合アラート委員長と共に情報を共有し、また災害発生時には支援対策などを常に情報共有できる組織であり、そのようにしていかなければならない。
- ・ 昨年の能登半島地震での支援では、その方向性と変わることもあったため、今期中に組織固めを進めスマートに運営できる組織、情報が行き届く委員会組織としていきます。
- ・ 一年間よろしくお願いいたします。

25-26年度アラート委員会 副委員長 車田 信彦

- ・ アラート委員会は初めてだが、今年一年間、藤井委員長を支え皆さんとも連携を取りながら活動してまいります。一年間よろしくお願いいたします。

3. 出席者の確認（車田副委員長）

- ・ 第1回アラート委員会出席者を紹介した

4. 議事録作成人（2名）の指名

- ・ MD330 大屋 保 委員、MD334 山本基博 委員

5. 議 案

(1) アラート委員会の基本方針と構成について（藤井委員長）

アラート委員会組織図について

- ・ 昨年度まで委員の下に班長が存在したが、班長は各複合地区の役職とし複合地区内で地区との情報共有をして、地区との連携が取れるような組織にしてください。

一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会運営規則

- ・組織体制変更に伴い、「運営規則」に変更が生じる。今後は東西リーダーとともに規約の修正を実施することとし、次の委員会までに提出する予定。
- ・各複合地区委員長は準地区委員長と連携をとり、複合地区内でアラート委員会を開催してください。
- ・8月の九州方面での大雨被害のように、準地区で対応となる災害レベルでは、すぐに支援活動ができるよう、今から準地区毎に対策本部となる組織作りを固めていただき、各役職（例えばガバナーは対策本部長、物資担当者や後方支援はだれ…など）を入れ込んだ組織図を作成いただきたい、そして複合地区でそれを集約し、また日本ライオンズアラート委員会にも共有ください。
- ・加えてLINEを活用し、当委員会のグループLINEを作成、その下に各複合地区と準地区の委員長を交えたグループLINE、更に準地区のアラート委員会と各RC、各ZCを交えたグループLINE、と細やかにグループ化することで、詳細な情報共有が進むと思うので対応をお願いしたい。

【質問】

MD335 古川委員

アラート委員会でグループLINEを作ると何名程になるか。また複合地区では？

藤井委員長

アラート委員会は、出席者リストのメンバー数になる。

複合地区においては議長、MDアラート委員長、委員、準地区アラート委員長、そして準地区では準地区委員長とガバナー、キャビネット幹事等、また各ZCから各クラブ会長を交えたグループLINEというように組織単位に細やかにグループを作成することにより、現地情報の吸い上げが可能となる。

MD334 山本委員

「運営規則」を見て感じたこと等を発言します。①日本ライオンズアラート委員会という組織と、統括・班長・副班長の組織があり、二重構造になっているように感じる。

②「運営規則」内にある「会議等」の箇所に四つの会議が存在している。シンプルに組織運営をすることが必要。③能登半島の震災にて、先日、現地で支援活動をしていた会員から話をお聞きした。ライオンズの支援活動と地元自治体の対応にずれが生じて、大変な問題になっていたとのことだった。人の動きやモノの流れ等をコントロールできるようなルール化が必要と感じた。ご検討いただければありがたい。

藤井委員長

この「運営規則」は一昨年度のものであり見直しを進めてスマート化を目指す。班長を中心とした組織は、7年前のアラート組織が全国的に組織される前に、アラートに精通したメンバーで組織したもの。現在は各準地区にもアラート組織ができているので、今回日本ライオンズアラート委員会の中にアラートチームは必要ないと判断して、班長をはずしている。従って会議の有り方も含めて相当な見直しが必要と考える。

MD334 山本委員

規則の見直しをされるのであれば災害発生後の対応にとどまらず、ヒト・モノ・金・情報等の切り口から事前の準備についてもお検討いただきたい。

藤井委員長

その内容については前年度から依頼中の案件で、実際の災害支援を進める各複合地区で、規約作りを対応いただいている。

今期には各地区で出来上がった規約を共有し、良い部分を取り入れ、地区が即座に動ける内容となるよう皆さんで討論していただきたい。そのため、すでに規約が出来上がった地区には、次回委員会時に提出をお願いします。

また、災害発生時の情報発信（SNS等）は非常に気を付けていただかないと、拡散されてコントロールできなくなる。その結果として必要以上の物資が届けられたり、混乱をきたすこととなる。情報発信する際には、地元ガバナーの承認を得る等の配慮が必要。

ネットワーク上での情報を正しく収集し、共有、発信することもアラート委員会の役割と思う。

(2) 2025(令和7)年8月6日からの大雨による被害状況と対応

当該地区から進捗報告（MD337 高野委員）

- ・A地区は支援済み。復興が進んでいるという報告を受けている。
- ・B地区、C地区については被害の報告なし。
- ・D地区（鹿児島）は8/6水害被害と、その後の台風の被害として床上下浸水、また崖崩れの被害が多かった。本日AM複合会議では、マンパワーが不足しているとの報告があった。恐らく9月いっぱいまで対応が必要ではないか。
- ・E地区の被害についても主な被害は床上・床下浸水。人的被害としては亡くなった方が4名、行方不明者が1名。ボランティアセンターは10ヶ所立ち上がっており、最終的に11ヶ所になる予定。ボランティアセンターへの飲料水支援はすでに実施している。
先週末に有志160名にて被害が大きいところの泥かきや家具等の片付けなどを実施。
範囲が大きいため、ボランティアセンターは9月頃まで継続予定、マンパワーは不足しているとのこと。恐らく10月半ばまでは対応が必要ではないか。
毎年のように災害が発生するので、今期、LCIF災害準備金を活用して災害対策備蓄コンテナ(移動可能)で、災害時に必要な資材を備蓄する準備を始めた。これはB地区、D地区も検討を始めている。
- ・災害レベルとしてはレベル2との理解で、現在はマンパワーや支援金なども複合地区内で対応できるとの判断。
- ・今後の支援要請などはガバ協で決定する予定。

【質問】

喜多理事長

災害対策備蓄コンテナは、現在どこに設置されているのか？

MD337 高野委員

運送会社を営んでいるライオンズメンバーの敷地に、もし災害が発生した際にはその運送会社のトラックを使用するという条件のもと、無償で設置している。

【意見】

MD330 大屋委員

緊急事態時には被災地のためにも、全複合地区に向けたリアルタイムの情報発信を希望する。

(3) 「全国アラートフォーラム in大阪」開催進捗（2026年3月13日予定）（藤井委員長）

現時点での概要説明。今年はフォーラムのほかに第一、第二副地区ガバナー、LCIFコーディネーターとの「分科会」を検討している。土地柄、会場費負担が大きいので日本ライオンズでの負担を希望。実行委員となる335複合地区から日本ライオンズに予算案を提出いただき、理事会で決議する。開催案内は年内には発信する予定。

(4) 今年度委員会開催について

- ・委員会開催は、年内1回、来年2回程、引継ぎ会に1回、計4～5回を開催予定。
情報交換、規約の交換などはグループLINEを使用する。
- ・委員会出欠回答は「調整さん」を利用する。

(5) 各MD活動報告、その他

MD330 大屋委員 3年越しとなる各クラブと社協との提携締結を目指す。また有事の際にリアルタイムで活動できるよう、役割分担を明確にした組織図、体制作りを確立する。

MD331 浅野委員 MDアラートフォーラム(50人規模)を企画。社協との協定を進めている。MDアラート規約を前年度作成し複合、地区と報告を進めている。また全クラブにアラート委員長の配置が完了した。

MD332 門馬委員 8月青森県、秋田県にて水害が発生した。被害状況は各行政で対応可能とのことでアラート委員会としては活動せず。MDアラート規定、費用規定等を作成し、複合地区年次大会で承認を得られるよう進めている。

MD333 三枝委員 9/16に委員会開催。

MD334 山本委員 従来のアラート委員会は奉仕委員会の中に統合した。今年度はMD内のアラート規定を作成する。他のMDのアラート規定等も参考にしたい。

MD335 古川委員 MD内のアラート意識の底上げと啓発の為、各種セミナーの開催、MD内の連携体制の構築。各地区でのルール・ガイドライン作成、アラートチーム発足と多様な人材の募集、迅速な情報提供を実現化するLINE整備、関係団体・企業との連携体制と備蓄整備の推進。全国アラートフォーラム成功に向けた今後の進行。

MD336 廿日出委員 MD作成アラート内規と各地区作成アラート内規を照らし合わせ、相互がスムーズに活動できるよう内規の充実をはかる。またMD主催アラートセミナー「コンセプト 自助」を2月開催で検討しており、来月のMD会議にて提言予定。

MD337 高野委員（先ほどの被害状況報告に加えて）E地区はLCIFの緊急援助交付金の申請・承認がおりており使用する予定。D地区も申請予定。

【質問】

MD337 高野委員

MDが持つアラート資金を使用する際の規定やレベル判定を持っているか？

MD330 大屋委員

MDでは資金を持っていない、何か行動する際には、受益者負担で行うのが基本。

MD331 浅野委員

複合および各地区に緊急援助資金はあるが、災害が少ない地域のためレベル判定がつけづらく、細かい規定はない。

木村東日本統括リーダー

アラートレベル判定についてはよく尋ねられるが、被害のレベル判定は災害そのものに同じものがなく困難であり、現地ガバナー等と協議の上レベル設定している。資金規定はあるところと無いところがある。現在、MD332門馬委員が資金規定をくみいれ作成中なので参考にしていきたい。

MD332 門馬委員

過去の災害支援の際に様々な費用が発生したことに対して支援希望があり、その年度のガバナーの協議にて経費補填の上限額等を決定した。当MDでは地区で災害が発生した場合は（被災地区を除き）各地区から見舞金・支援金としてそれぞれ30万円を送金している。

MD336 廿日出委員

複合内規で議長、MDアラート委員長、地区アラート委員長の協議により被災地への後方支援策を作成することになっている。

【ご挨拶】

木村東日本統括リーダー

我々はプレイヤーではなくエキスパートの育成、アラートに関する啓発・啓蒙活動に特化した取り組みをする。アラートの目的・役割を明確化し、方向性が乱れてきた現状をまとめるためにも存在していると考える。

また内規も活動規定があり、それらは地区内で発信すべきで、複合は後方支援し、日本ライオンズはエキスパートを発見し補填につなげる、この体制がシンプルで良い。

「分科会」開催の取組みも大変すばらしく、フォーラムの成功に向け進めていきたい。なんとかこの一年でしっかりした礎を作りたい。皆さんからの呼びかけにいつでも応えるので必要の際には連絡をください。

畑中西日本統括リーダー

木村東日本統括リーダーのお話通り、アラート委員会がスムーズに運営できるよう、尽力していきたい。

新里アラートアドバイザー

今年度は藤井委員長・両統括リーダーがアラート初期からの活動仲間ですので、非常にいいアラート委員会ができるのではないかと期待している。今後ともよろしくお願いします。

(6) 次回、アラート委員会開催日程

日程調整できず、正副委員長にて協議する。

2025 年 11 月下旬予定

6. 閉会の辞

一般社団法人日本ライオンズ 25-26 年度 専務理事 伊賀 保夫

- ・ アラートに関しては立場によってはなかなか情報が入ってこず、災害支援や LCIF 支援の状況は見えづらい。地区を越えて災害支援していく場合は、地区ガバナー、議長が理解の上、情報共有し必要なものをタイムリーに届けられる、その情報共有ができる場がこの委員会であればと思っている。私も勉強させていただきながら、その手伝いができるようこの一年取り組んでいきたい。

以上

2025 年 9 月 1 日

議事録作成人：

MD330 アラート委員 大屋 保

MD334 アラート委員 山本 基博

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第10回会議 議事録

日時	2025年5月12日(水) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港LC) 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなすLC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田LC) * 欠席 PRマーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田LC) PRマーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337複合地区委員 渕野二三世 (大分LC) 330複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光LC) 331複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東LC) 332複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲LC) 333複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西LC) * 欠席 334複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島LC) * 欠席 335複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡LC) 336複合地区委員 佐々木孝之 (岡山LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024年7月～25年3月ライオン誌関係会計報告 ライオン誌直接出版費については、発行3回分としての計上のため前回から変更なし。デジタル版関連費については、9回分の計上である。外部委託がないため支出は少なくなっている。予算通り執行されているとの報告があった。 ② 2024-25年度予算案 社団の予算案からライオン誌の項目を抽出した資料について説明があった。ライオン誌直接出版費について、次年度からライオン誌送料収入はなくなり、社団持ちとなる。個人発送とクラブ発送が、どのような割合になるかは別として、今年度と同じ

	予算としている旨の説明があった。また、デジタル版関連費については予備も含めて反映した予算であり、全体として大きな変動はないと報告があった。
--	--

議案2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025年5月号(5月1日公開)出来 「トピックス」掲載予定の国際大会公示/公式通達/国際第3副会長候補者の原稿は国際本部からの配信待ち状態である旨の報告があった。届き次第アップする。 ② 2025年6～8月号更新予定(案) 7月号では、国際理事2名にオランダでの退任の原稿をお願いする。 また、8月号に関して、大阪・関西万博ライオンズフェスタを取り扱うかどうかについて検討。取材して取り上げることがふさわしいとなった。 9月号「取材レポート」の取材対象候補をピックアップした。対象クラブに詳しい情報を確認する。
決定事項	②国際理事退任の原稿を国際理事2名に依頼する。 大阪・関西万博取材についてはMD335北岸委員が取材を担当する。

議案3	印刷版編集関係
内容	① 2025年春号(4月25日発行/80,200部)出来 姫路中央LCより、表紙シリーズ「日本の世界遺産」に、姫路城とクラブアクティビティのラッピングバスが一緒に写った写真を使ってほしいとの依頼があった。今年度の表紙シリーズは次年度も引き継がれるとは限らないため、要望に関する検討は次年度委員会で行う必要がある。 ② 2025年夏号台割(案) 8月5日発行。国際会長の表紙写真、国際会長テーマは、近く国際本部から配信される予定。地区ガバナー紹介の原稿は6月26日締切で依頼済み。裏表紙について、春号に続き札幌フォーラムのPRとするか、LINEのPRとするか話し合った。 ③ ウェブマガジン連動企画(案) 「ウェブマガジン連動記事」「新会員向け記事」の新企画案について説明があった。 連動記事のライオンズ雑学クイズは、例会でも利用できると高評価だった。クイズ回答を掲載するウェブマガジンのページのQRコードを付けるとより分かりやすいとの意見があった。 新会員向け企画のライオンズ情報記事は、過去70年分のライオン誌記事からピックアップした内容を基に作成したもので、これも評価が高かった。地域による違いもあるので、「あなたの地区、クラブはどうですか？」との呼びかけ記載してレスポンスを待ってはどうかとの意見が出た。毎号、新会員1名を紹介するコーナーは、年間4人

	を選考するため基準を作る必要があるとの意見が出た。ウェブマガジンなら12回も可能になるが、これも含めて選考方法を検討することとした。
決定事項	①次年度の表紙等は次年度の決定することであるため、要望は引き継ぐこととした。 ②夏号の裏表紙は、札幌フォーラムのPRに無償提供する。また、オセアルフォーラムのステアリング委員会の記事を1～2ページで掲載する。 ③新会員の紹介欄については選考の基準と方法を定める。

議案4	その他
内容	① ウェブマガジン普及策 委員会で検討を重ねてきたが、このまま続けても芳しい成果が出ない懸念がある。ライオン誌委員会の中だけでは難しいため、ライオンポータルと合わせ、トップダウンで進めていく機会を作ることが必要ではないかと報告があった。また、各複合地区、GATとの連携を構築することも必要であるとの意見があった。一方で、ライオン誌例会を広げることも重要であるとの意見もあった。 ② ライオン誌日本語版メールニュース メールニュースの開封率は25%程度であることを確認。迷惑メールに入ってゆかない工夫が必要。開封率は決して悪くない数字であるが、更に上げていく方策を探っていく。やはり、これに対しても、ライオン誌例会の開催が要望された。 ③ ライオン誌公式SNS 各SNSの登録者数の資料を確認した。

次回開催 予定	第11回：6月13日(金)14:30～16:45／日本ライオンズ事務所・Zoom併用 第12回：7月24日(木)14:00～16:00／Zoom
------------	--

議事録作成:北岸秀規(335複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議 議事録

日時	2025 年 6 月 13 日 (金) 14:30～16:45
場所	一般社団法人日本ライオンズ事務所会議室 (Zoom 併用)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) * Zoom 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) * Zoom 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) * Zoom PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337 複合地区委員 瀧野二三世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) * 欠席 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) * Zoom 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) * 欠席 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) * Zoom 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) * Zoom 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC) * Zoom

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野、城阪国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024 年 7 月～25 年 4 月ライオン誌関係会計報告 日本ライオンズの会計書類からライオン誌関連の項目を抽出した資料により、概ね予算通りの執行となっていることを確認した。 ② 次年度委員会への引き継ぎ 次年度への引き継ぎ資料として作成した「ライオン誌日本語版委員会の手引き」「2024-25 年度委員会の取り組み」の案を確認し、内容について協議した。

	【決定事項】 委員会と委員の役割を明確にすると共に、今年度の取り組みを伝達し、円滑なライオン誌発行と、活用推進が図られるよう、資料2点を次年度委員会へ引き継ぐことを決定した。
--	--

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025年6月号(6月1日公開)出来 6月号記事の出来を確認。委員からの指摘はなし。国際大会関係の指定記事は現時点で未着のため、届き次第掲載する。 ② 2025年7～10月号更新予定(案) 7月号:「取材レポート」で取り上げる予定だった鳥取砂丘LCの活動が雨天中止となり、手配済みの航空券・宿泊をキャンセルしたとの報告を受けた。代替として、8月号掲載予定だった取材記事を繰り上げて掲載する。前回委員会で取材記事で取り上げることにした大阪万博でのライオンズフェスタについて、MD335の北岸委員から提出された取材実施提案書と取材経費(交通費)を確認した。 8～10月号:「取材レポート」の取材対象候補の活動内容と取材経費を確認した。 【決定事項】 7～10月号「取材レポート」の取材経費を承認。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2025年夏号台割(案) 前回委員会で40ページの台割案では、国際協会の指定記事「国際会長テーマ」を4ページとしていたが、フルバージョン12ページの掲載が必須との通知があり、増ページが必要になった。48ページと44ページ(新企画開始を秋号からに延期)、台割案と費用概算(印刷費・送料)を確認し、検討した。また、新国際会長の表紙は表4(裏表紙)にまたがるデザインとなっているため、表4に掲載予定だった札幌フォーラムPRは本文ページに掲載する。 【決定事項】費用がかかっても指定記事と委員会で検討してきた新企画の両方を掲載すべきとの意見で一致し、48ページとすることを決定した。 ② 新会員向け企画 前回委員会から継続審議となった新会員向け企画で、新会員紹介コーナーで取り上げる会員の選定基準を検討。入会から2年未満を目安とし、年齢その他の属性は限定せず、例会や奉仕活動に積極的に参加していることなどを条件に挙げた。 【決定事項】夏号では新会員紹介コーナーの告知をし、掲載希望者を募集する。公

	募と委員の情報収集などで掲載候補者を集め、その中から委員会で選考する。
--	-------------------------------------

議案 4	その他
内容	① ウェブマガジン普及策 今年度はウェブマガジンの普及を目指し、従来の LINE 公式アカウントの登録推進に加え、新たに LionPortal の登録 E メールアドレスへのメールニュース配信を開始したが、大きな進展は見られなかった。重要な情報源としてライオン誌をクラブ及び会員に活用してもらうためには更なる取り組みが必要であり、次のようなアイデアが出された。 ・地区の研修や会議の資料にライオン誌に関する記載 ・地区キャビネット会議で PR チラシを配布 ・地区ガバナーからクラブへライオン誌活用を働きかける ・社団を通じてライオン誌活用を呼びかける ・クラブ一括発送にして例会で印刷版及びウェブマガジンを話題にする 会員にもっとライオン誌を読んでもらうには、クラブ一括発送として例会で取り上げることが有効であるとの意見が多かった。これに関して社団の松浦理事長から、次年度からライオン誌送料が社団負担になるのに伴い、各クラブに対してクラブ一括発送にして例会で活用することを推奨する通知を出し、現在発送方法の調査中であるとの説明があった。次回委員会で結果の報告を受ける。 ② ライオン誌日本語版メールニュース 5 月号、6 月号のメールニュース配信結果を確認。開封率には大きな変化はなく、20% 台後半となっている。 ③ ライオン誌公式 SNS 各 SNS の登録者数の資料を確認した。

次回開催 予定	第 12 回 : 7 月 24 日 (木) 14:00～16:00 / Zoom (新旧合同)
------------	---

議事録作成: 藤谷文雄 (332 複合地区委員)

2024-25年度ライオン誌日本語版委員会 第12回会議 議事録

日時	2025 年 7 月 24 日 (木) 14:00～16:00
場所	一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室 (Zoom)
出席者	国際理事 濱野 雅司 (埼玉県・岩槻 LC) 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) * 欠席 【一般社団法人日本ライオンズ】 理事長 松浦 淳一 (北海道・岩見沢はまなす LC) 専務理事 中谷 豊重 (大阪府・岸和田 LC) PR マーケティング委員会委員長 星野 勝美 (群馬県・太田 LC) PR マーケティング委員会副委員長 佐藤 裕幸 (新潟県・柏崎日本海 LC) 常務理事 (25-26 年度 PR マーケティング委員会委員長予定者) 廣田 晃一 (兵庫県・姫路中央 LC) ライオン誌日本語版委員 編集長／337 複合地区委員 渕野二三世 (大分 LC) 330 複合地区委員 田中 明 (埼玉県・和光 LC) 331 複合地区委員 馬場 哲也 (北海道・函館東 LC) * 欠席 332 複合地区委員 藤谷 文雄 (秋田県・大曲 LC) 333 複合地区委員 三枝 久夫 (栃木県・佐野西 LC) 334 複合地区委員 前田 磨 (静岡県・三島 LC) 335 複合地区委員 北岸 秀規 (滋賀県・大津びわこ比叡 LC) * 欠席 336 複合地区委員 佐々木孝之 (岡山 LC) 日本ライオンズ事務長 増澤 義治 (長野県・諏訪湖 LC) * 欠席 【オブザーバー】 * 記載のない複合地区は 24-25 年度委員が留任 25-26 年度 332 複合地区委員 岡田 殉 (青森県・五所川原 LC) 25-26 年度 333 複合地区委員 後藤 一男 (栃木うづま LC) 25-26 年度 336 複合地区委員 山田 隆嗣 (岡山県・津山衆楽 LC)

星野委員長の開会あいさつに続き、濱野国際理事、松浦理事長からあいさつがあり、出席者の確認を行った後に議事に入った。

議案 1	ライオン誌日本語版の運営
内容	① 2024 年 7 月～25 年 6 月ライオン誌関係会計報告 印刷版については予算通り、デジタル版関連費 (ウェブマガジン) の旅費交通費及び原稿料・編集費が内製化により大きく削減、圧縮できている。ウェブマガジン改修の費用が予算よりも多くなった。

議案 2	ウェブマガジン編集関係
内容	① 2025 年 7 月号(7 月 1 日公開)出来確認し問題なし。 ② 2025 年 8～10 月号更新予定(案) 8 月号「編集室」は委員交代時期のため休載し、9 月号以降の執筆ローテーションは 337 複合地区委員からスタートする。8～10 月号「取材リポート」の取材は前回委員会で承認済み。

議案 3	印刷版編集関係
内容	① 2025 年夏号(8 月 5 日発行予定／77,300 部)台割 国際会長テーマ掲載のため 48 ページに増ページ。事前に配布された PDF で記事内容を確認した。 ② 2025 年秋号(10 月 25 日発行予定)台割(案) 次年度委員会の担当号であることを確認した上、次の通り準備を進めることを承認した。 ・36 ページ台割案を基本とする ・表紙シリーズは「世界遺産シリーズ」を継続 ・各号の特集ページは、国際協会の重要項目である「奉仕活動」「会員増強」「リーダーシップ」「マーケティング」のいずれかをテーマとして企画する

議案 4	その他
内容	① ウェブマガジン普及策 印刷版の発送方法について、社団としてクラブ発送を推奨する通知を各クラブあてに発信したが、個人発送からクラブ発送に変更したクラブは少数で大きな変動はなかったことが、松浦理事長から報告された。 ② ライオン誌日本語版メールニュース 7 月号メールニュースは、6 月 25 日時点の LionPortal 登録者宛に送信 28,550 件に送信し、開封率 29.5%との報告があった。 ③ ライオン誌公式 SNS 登録者数が伸びず、特に X とインスタグラムは少ない。事務局負担も考慮してやめるか、登録者に限らず若い人に見てもらうために残すか、次年度委員会で検討する。 ④ クラブ・アンケート 2025 年版 全クラブを対象に毎年年初めに実施しているアンケートの項目を確認。サバンのアンケート機能を利用して 8 月後半に実施し、昨年度会員動静の集計は印刷版秋号に掲載する。集計結果を載せるだけでなく、統計

	の分析をすることが望ましいとの意見あり。 ⑤ 次年度委員会への引き継ぎ 委員会の手引きと、今年度取り組み報告の引き継ぎ資料 2 点を説明し、次年度委員長予定者及びオブザーバー出席を含む 2025-26 年度委員会への引き継ぎとした。星野委員長から、次年度委員会への追加の提案事項として、社団の PR マーケティング委員会とライオン誌日本語版委員会の情報共有が必要とのコメントがあった。 引き継ぎの後、2025-26 年度委員会の廣田委員長予定者からあいさつがあり、出席者の賛同を得て、次年度の編集長を互選。337 複合地区の渕野委員を編集長予定者に選んだ。
--	--

議案審議終了後、今年度で退任する委員からあいさつがあり、佐藤副委員長の閉会あいさつで会議を終了した。

25-26 年度 開催予定	第 1 回：8 月 19 日(火)15:00～17:00／Zoom
------------------	-----------------------------------

議事録作成:三枝久夫(333複合地区委員)

2025-26年度ライオン誌日本語版委員会 第1回会議 議事要録

日 時：2025年8月19日(火)15:00～17:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議室(Zoom)

出席者：

国際理事	仁科 良三（長野みすずLC）
国際理事	田名部智之（青森県・八戸LC）

【一般社団法人日本ライオンズ】

理事長	喜多 友一（長野県・上田城南LC）
副理事長	諏訪 昇三（北海道・札幌時計台LC）
専務理事	伊賀 保夫（東京ピースLC） *欠席
PRマーケティング委員会委員長	廣田 晃一（兵庫県・姫路中央LC）
PRマーケティング委員会副委員長	水沼 孝夫（栃木県・真岡LC）
事務長	増澤 義治（長野県・諏訪湖LC）

【ライオン誌日本語版委員会】

330複合地区委員	田中 明（埼玉県・和光LC） *欠席
331複合地区委員	馬場 哲也（北海道・函館東LC）
332複合地区委員	岡田 殉（青森県・五所川原LC）
333複合地区委員	後藤 一男（栃木うづまLC） *欠席
334複合地区委員	前田 磨（静岡県・三島LC）
335複合地区委員	*未定
336複合地区委員	山田 隆嗣（岡山県・津山衆楽LC）
337複合地区委員	渕野二三世(大分LC)

【開会あいさつ】

- ・ 喜多理事長:ライオン誌を一般市民にも広く届けたい。発信力強化と普及を希望。
- ・ 仁科国際理事:紙媒体とウェブの両立の難しさに触れつつ、国際協会機関誌として質の向上を期待。
- ・ 田名部国際理事:理事会方針書に沿った発行を重視。ライオンズの魅力を会員・一般市民双方へ発信すべきと強調。
- ・ 廣田委員長:ライオン誌を通じライオンズクラブを外部にも発信していくべく変化させる方針を提示。

【議事】

1. 理事会方針書の確認

理事会方針書第16章ライオン誌の要点をまとめた資料を確認した。

2. ライオン誌日本語版編集長の選任

前年度に続き、渕野二三世委員(337複合地区)を編集長に選任した。

3. ライオン誌日本語版の運営

- ① 2025-26年度ライオン誌発行予算
今年度から送料は全額社団負担に変更。デジタル版関連費は取材の内製化により前年523万円から250万円に縮小。
- ② 2025-26年度年間計画
ウェブマガジン年12回、印刷版年4回とする発行計画を確認した。

4. ウェブマガジン編集関係

- ① 2025年8月号(8月1日公開)出来
公開済み8月号の仕上がりを確認した。
- ② 2025年9～11月号更新予定(案)
9～10月号は予定通りに進行中。10月号「国際理事だより」は国際理事2名による秋季国際理事会の報告原稿を掲載。11月号「取材レポート」は取材依頼のあった335-A地区2R1Z「ライオンズクエスト・ワークショップ」とし、取材経費概算を承認。

5. 印刷版編集関係

- ① 2025年夏号(8月5日発行／77,300部)出来
委員会内でも、読者プレゼントや「新会員の広場」が好評。更なるPR強化を検討。
- ② 2025年秋号(10月25日発行予定)台割案
基本36ページの台割案を確認。「国際理事だより」は国際協会のプロトコール通り仁科国際理事、田名部国際理事の順とし、秋号には仁科国際理事の原稿を掲載する。年度初回の「日本ライオンズ情報」は過去2年は理事長による執筆であり、同様に秋号は喜多理事長の原稿を掲載する。
- ③ 2025年秋号企画案(表紙・特集)
表紙企画:今年度も継続する「日本の世界遺産」シリーズの秋～春号の表紙を検討。候補写真の中から、表紙候補の一つに姫路中央LCから掲載依頼のあった姫路城とラッピングバスを選んだ。その他の候補の選考は編集長に一任。
特集「会員増強」:新しい形態のクラブ(キャンパスクラブ、企業内クラブ、スペシャルティクラブなど)を紹介する。新形態のクラブが数多く結成されている332-A地区所属の岡田委員から情報提供を受ける。他の委員も所属複合地区内を調査し、新しい事例を次回会議に持ち寄って企画を検討する。

6. その他

- ① ライオン誌日本語版メールニュース
7、8月号の配信結果を確認。送達率9割超だが開封率は約3割に留まる。
- ② 「ライオンズクラブ入門」改訂
「ライオンズクラブ入門」の改訂版を作成することを決定。10～11月には最新版のダウン

ロード開始を目指し、委員による作業を進める。

③ ライオン誌公式SNS

LINE・Facebook・YouT議事録作成：馬場哲也(331複合地区委員)

ubeを中心に強化。特にLINE登録者を大幅増加させる方針。

Xとインスタグラムはアカウントは継続はするが更新は停止し、発信方法を再検討。

＜次回以降開催予定＞

編集会議：9月9日(火)14:00～15:30 (Zoom)

第2回：10月7日(火)14:30～16:45 (対面／日本ライオンズ事務所)

議事録作成：馬場哲也(331複合地区委員)

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2024－2025年度
一般会計収支報告書
(自2024. 7. 1～至2025. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
日本ライオンズ会費	4,790,400	4,810,560	△ 20,160	前年度繰越金	4,358,424	4,358,424	0
会 議 費	1,500,000	1,113,759	386,241	複 合 地 区 費	10,778,400	11,002,140	△ 223,740
旅 費・交 通 費	1,800,000	528,860	1,271,140	日本ライオンズ会費	4,790,400	4,810,560	△ 20,160
通 信 費	400,000	417,759	△ 17,759	雑 収 入	100	120,150	△ 120,050
事 務 所 費	2,700,000	2,620,307	79,693				
消 耗 品 費	100,000	62,704	37,296				
交 際 費	50,000	0	50,000				
備 品 費	50,000	0	50,000				
印 刷 費	1,000,000	930,431	69,569				
人 件 費	4,000,000	3,633,865	366,135				
福 利 厚 生 費	500,000	502,078	△ 2,078				
雑 費	200,000	110,880	89,120				
慶 弔 費	300,000	41,861	258,139				
国 際 関 係 費	800,000	647,747	152,253				
退 職 金 積 立	240,000	240,000	0				
予 備 費	1,496,924	0	1,496,924				
剰 余 金		4,630,463	△ 4,630,463				
計	19,927,324	20,291,274	△ 363,950	計	19,927,324	20,291,274	△ 363,950

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2024－2025年度
YCE特別会計収支報告書
(自2024. 7. 1～至2025. 6. 30)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
派遣・受入関係	700,000	55,480	644,520	前年度繰越金	4,057,624	4,057,624	0
委員会関係	500,000	14,430	485,570	3地区負担金	450,000	450,000	0
事務・通信費	200,000	6,490	193,510	キャンプ負担金	0	0	0
キャンプ費用	1,500,000	1,364,021	135,979	雑 収 入	0	350,000	△ 350,000
予 備 費	1,607,624	0	1,607,624				
剰 余 金		3,417,203	△ 3,417,203				
計	4,507,624	4,857,624	△ 350,000	計	4,507,624	4,857,624	△ 350,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2024－2025年度
レオ特別会計収支報告書
(自2024. 7. 1～至2025. 6. 30)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
レオ支援金	150,000	150,000	0	前年度繰越金	866,845	866,845	0
予 備 費	1,016,845	0	1,016,845	3地区負担金	300,000	300,000	0
剰 余 金		1,016,845	△ 1,016,845				
計	1,166,845	1,166,845	0	計	1,166,845	1,166,845	0

2024－2025年度
緊急災害援助資金収支報告書
(自2024. 7. 1～至2025. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
緊急援助資金	11,203,758	0	11,203,758	前年度繰越金	11,203,758	11,203,758	0
				クラブ拠出金	0	0	0
剰 余 金		11,209,095	△ 11,209,095	雑 収 入	0	5,337	△ 5,337
計	11,203,758	11,209,095	△ 5,337	計	11,203,758	11,209,095	△ 5,337

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
2024－2025年度
第71回年次大会特別会計収支報告書
(自2024. 7. 1～至2025. 6. 30)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
総 務 部 会	400,000	265,014	134,986	前年度繰越金	125,038	125,038	0
代 議 員 部 会	300,000	258,000	42,000	複合地区大会費	1,197,600	1,218,400	△ 20,800
式 典 部 会	400,000	335,000	65,000	大 会 登 録 料	800,000	920,000	△ 120,000
会 場 部 会	150,000	198,000	△ 48,000	懇親会登録料	2,100,000	2,184,000	△ 84,000
記 念 誌 部 会	750,000	698,280	51,720	雑 収 入	0	228	△ 228
懇 親 会 部 会	2,100,000	1,839,880	260,120				
予 備 費	122,638	0	122,638				
剰 余 金		853,492	△ 853,492				
計	4,222,638	4,447,666	△ 225,028	計	4,222,638	4,447,666	△ 225,028

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
一般会計・特別会計
貸借対照表
(2025年6月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	327,116	未払金	147,747
大会現金	70,935	預り金	1,872,032
普通預金(北海道銀行)	10,198,399		
普通預金(緊急援助資金)	11,209,095	退職積立金	3,600,000
普通預金(年次大会)	764,557		
普通預金(退職積立金)	3,600,000	一般会計剰余金	4,630,463
		YCE特別会計剰余金	3,417,203
立替金	16,775	レオ特別会計剰余金	1,016,845
		緊急災害援助資金	11,209,095
敷金	560,000	大会特別会計剰余金	853,492
合計	26,746,877	合計	26,746,877

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2024－2025 年度会計監査報告書

私たちは、331 複合地区 2024－2025 年度会計期間にかかる会計監査
を行い、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、
財務諸表の正確性を検討した。

2. 監査意見

各会計の収支計算書及び貸借対照表は会計帳簿の記載金額と一致して
おり、収支及び財産の状況を示しているものと認めます。

以上

2025 年 8 月 29 日

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
2024－2025 年度

会計監査委員 渡辺 俊二 

会計監査委員 中谷 宣巨 

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

一般会計収支予算

(自2025.7. 1～至2026. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算額	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	4,358,424	4,630,463	
複 合 地 区 費	11,002,140	10,434,960	180円×12ヶ月×4,831名 (家族会員を除く)
日本ライオンズ賛助会費	4,810,560	6,956,640	120円×12ヶ月×4,831名(家族会員を除く)
雑 収 入	120,150	8,000	利息
計	20,291,274	22,030,063	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算額	今年度予算	摘 要
日本ライオンズ賛助会費	4,810,560	6,956,640	120円×12ヶ月×4,831名
会 議 費	1,113,759	1,500,000	ガバナー協議会(3回) 他、委員会・セミナー
旅 費 ・ 交 通 費	528,860	1,500,000	各種会議旅費(一般社団法人日本ライオンズを含む)
通 信 費	417,759	500,000	
事 務 所 費	2,620,307	2,900,000	家賃、リース料、IT経費
消 耗 品 費	62,704	100,000	
交 際 費	0	50,000	
備 品 費	0	50,000	
印 刷 費	930,431	1,000,000	コピー代、会議要録(3回)、住所録
人 件 費	3,633,865	4,000,000	
福 利 厚 生 費	502,078	500,000	
雑 費	110,880	200,000	
慶 弔 費	41,861	300,000	地区、他地区役員
国 際 関 係 費	647,747	800,000	国際役員公式訪問負担金
退 職 金 積 立	240,000	240,000	
大 会 交 付 金	0		
予 備 費	0	1,433,423	
剰 余 金	4,630,463		
計	20,291,274	22,030,063	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

YCE特別会計予算

(自2025.7. 1～至2026. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	4,057,624	3,417,203	
3 地 区 負 担 金	450,000	450,000	15万円×3地区
キ ャ ン プ 負 担 金	0	0	
キ ャ ン プ 参 加 費	350,000	550,000	5万円×11名
計	4,857,624	4,417,203	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
派 遣 ・ 受 入 関 係	55,480	700,000	オリエンテーション、頒布品、送迎費
委 員 会 関 係	14,430	500,000	会議費、交通費
事 務 ・ 通 信 費	6,490	200,000	
キ ャ ン プ 費 用	1,364,021	1,500,000	
予 備 費	0	1,517,203	
剰 余 金	3,417,203		
計	4,857,624	4,417,203	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区

レオ特別会計予算

(自2025.7. 1～至2026. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	866,845	1,016,845	
3 地 区 負 担 金	300,000	300,000	10万円×3地区
雑 収 入	0	0	
計	1,166,845	1,316,845	

(支 出 の 部)

科 目	前年度決算	今年度予算	摘 要
レ オ 支 援 金	150,000	150,000	
予 備 費		1,166,845	
剰 余 金	1,016,845		
計	1,166,845	1,316,845	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
緊急援助資金会計予算
(自2025.7. 1～至2026. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	11,209,095	
ク ラ ブ 拠 出 金	0	
計	11,209,095	

(支 出 の 部)

科 目	今年度予算	摘 要
緊 急 災 害 援 助 資 金	11,209,095	
計	11,209,095	

ライオンズクラブ国際協会331複合地区
第72回年次大会特別会計予算
(自2025.7. 1～至2026. 6. 30)

(収 入 の 部)

(単位:円)

科 目	今年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	853,492	
複 合 地 区 大 会 費	1,159,440	20円×12ヶ月×4,831名
計	2,012,932	

(支 出 の 部)

科 目	今年度予算	摘 要
第 7 2 回 年 次 大 会 費	2,012,932	
計	2,012,932	

取引銀行について(2025.7.1～2026.6.30)

銀 行 名	北海道銀行 札幌駅北口支店
口 座 番 号	普通預金 0925665
口 座 名	ライオンズクラブ国際協会331複合地区ガバナー協議会 議 長 設楽 幸子 (したら さちこ)

令和5年度事業報告

(1) 献眼登録者数 169名(前年度183名)

月別

	年度内累計			設立時からの累計		
	前月累計	今月の集計	累積人数	前月累計	今月集計	累積登録
4月	0	0	0	4,589	0	4,589
5月	0	0	0	4,589	0	4,589
6月	0	0	0	4,589	0	4,589
7月	0	22	22	4,589	22	4,611
8月	22	63	85	4,611	63	4,674
9月	85	0	85	4,674	0	4,674
10月	85	2	87	4,674	2	4,676
11月	87	2	89	4,676	2	4,678
12月	89	1	90	4,678	1	4,679
1月	90	0	90	4,679	0	4,679
2月	90	0	90	4,679	0	4,679
3月	90	79	169	4,679	79	4,758

年齢別

		10	20	30	40	50	60	70	80	80～	不詳	合計
4月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	M		3	1	4	5	1					14
	W	1	5		2							8
		1	8	1	6	5	1	0	0	0	0	22
8月	M		2	8	14	5	2					31
	W		3	15	10		2	1			1	32
		0	5	23	24	5	4	1	0	0	1	63
9月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	M											0
	W						1			1		2
		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
11月	M							1	1			2
	W											0
		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
12月	M							1				1
	W											0
		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	M	1	3	3	10	7	5	3			2	34
	W	2	1	2	8	10	10	6	5		1	45
		3	4	5	18	17	15	9	5	0	3	79

(2) 献眼者数

献眼者数 3 名 (前年度実績 2 名)

献眼月	年 齢	性 別	在 住 地
10月	90代	女性	北竜町
12月	50代	男性	滝川市
3月	70代	男性	名寄市

(3) 寄附金報告

寄附金額 1,091,000 円

日 付	ご 芳 名	金 額
H5. 6. 4	旭川なでしこライオンズクラブ	300,000
H5. 9. 6	上川郡中央医師会	50,000
H5. 11. 10	旭川平和ライオンズクラブ	31,000
H6. 1. 17	石 邑 義幸	10,000
R6. 3. 19	ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 稚内キャビネット事務局	700,000

(4) 賛助会員

個人会員 41 口・法人会員 13 口 合計 253,000 円

日 付	ご芳名	所属クラブ	区分	口数	金額
4月28日	河合 尚美	旭川統合事務局	個人	1	3,000
5月10日	井田 正昭 (自振)	釧路みなど	個人	10	30,000
5月10日	梅原 友一 (自振)	白滝	個人	1	3,000
5月10日	匿名		法人	1	10,000
6月19日	菅野 道	旭川ナナカマド	個人	1	3,000
7月14日	(株)オオバ	白滝	法人	1	10,000
7月14日	奥山 壽雄	白滝	個人	1	3,000
7月14日	(有)コマヤ薬局	旭川ナナカマド	法人	1	10,000
7月14日	松田 尚樹	旭川ナナカマド	個人	1	3,000
7月19日	(株)ハウジング高橋	旭川ナナカマド	法人	1	10,000
7月19日	阿部 眞猛	当麻	個人	1	3,000
7月20日	比布ライオンズクラブ	比布	法人	1	10,000
7月21日	当麻ライオンズクラブ	当麻	法人	1	10,000

日 付	ご芳名	所属ラブ	区分	口数	金額
7月21日	坪沼 本善	旭川大雪	個人	1	3,000
8月9日	旭川中央ライオンズクラブ	旭川中央	法人	1	10,000
8月18日	山本 泰正	北見白樺	個人	1	3,000
9月15日	青山 和志	旭川	個人	1	3,000
9月15日	(株)イベントサービス	旭川	法人	1	10,000
9月15日	武田 智明	旭川	個人	1	3,000
9月15日	杉下 智子	旭川	個人	1	3,000
9月15日	高野 正夫	旭川	個人	1	3,000
9月15日	住友生命保険(相)旭川支社	旭川	法人	1	10,000
9月15日	中屋 利夫	旭川	個人	1	3,000
9月15日	(有)かとう印刷	旭川	法人	1	10,000
9月15日	橋本 千代子	旭川	個人	1	3,000
9月15日	金谷 和文	旭川	個人	1	3,000
9月15日	岡田 和人	旭川	個人	1	3,000
9月15日	石森電気工事(株)	旭川	法人	1	10,000
9月15日	渡辺 三津子	旭川	個人	1	3,000
9月15日	酒井 孝	旭川	個人	1	3,000
10月2日	遠山 晴義	旭川	個人	1	3,000
10月2日	中里 幸生	旭川	個人	1	3,000
10月2日	廣瀬 勝	旭川	個人	1	3,000
10月2日	小山 英明	旭川	個人	1	3,000
10月2日	工藤 泰宏	旭川	個人	1	3,000
10月2日	工藤合同会社	旭川	法人	1	10,000
11月17日	大谷地 裕明	旭川	個人	1	3,000
11月27日	服部 修史	北見白樺	個人	1	3,000
12月5日	(株)新共運輸	旭川大雪	法人	1	10,000
12月5日	高見 浩史	旭川大雪	個人	1	3,000
12月5日	高見 涼太	旭川大雪	個人	1	3,000
12月5日	西塚 美奈代	旭川大雪	個人	1	3,000
12月5日	明石 大	旭川	個人	1	3,000
12月20日	太田 愛	旭川	個人	1	3,000
2月2日	高桑 史郎	旭川	個人	1	3,000

令和5年度活動報告書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金	760,000	1,091,000	ライオンズクラブ 献眼推進費 他
賛助会員収入	392,000	253,000	
2. 受取基金			
受取基金	745,955	0	
3. 事業収益			
角膜幹旋料	900,000	600,000	眼球幹旋料
強膜幹旋料	120,000	180,000	眼球幹旋料
4. その他収益			
受取利息	274	265	利息
アイバンク協会補助金収入	110,375	0	
雑収入	0	37,925	未収消費税
経常収益計(A)	3,028,604	2,162,190	
II 経常費用			
1. 事業費			
眼球輸送費	3,980	37,120	ハイヤー
薬品・医療材料費	188,214	85,190	保存液 他
摘出費	100,000	190,000	摘出謝礼
慶弔費	74,980	90,840	香典 他
通信費	3,682	3,186	送料
印刷費	48,840	0	
事務委託費	625,175	622,960	ライオンズ事務局・医大眼科秘書
普及啓発費	622,820	801,285	ポスター掲示料 他
什器備品減価償却費	42,168	38,639	パソコン
雑費	0	0	
事業費計(B)	1,709,859	1,869,220	
2. 管理費			
印刷費	119,380	42,480	コピー代
通信費	106,072	139,477	送料・通話料
備品費	33,144	0	
交通費	37,140	73,352	総会交通費 他
会議費	27,548	69,004	総会
消耗品費	47,269	183,416	会計ソフト 他
諸会費	40,400	46,155	アイバンク協会会費
事務所管理費	0	240,000	ライオンズクラブ事務局
租税公課	0	0	
雑費	197,907	129,181	総会土産 他
管理費計(C)	608,860	923,065	
経常費用計(D)=B+C	2,318,719	2,792,285	
当期経常増減額(E)=A-D	709,885	-630,095	
III 経常外収益			
1. 固定資産取得の部	0	0	
固定資産受贈益	0	0	
経常外収益計(F)	0	0	
IV 経常外費用			
1. 固定資産取得支出	0	0	
2. 雑損失	0	0	
経常外費用計(G)	0	0	
当期収支額(H)=E+F-G	709,885	-630,095	
前期繰越額(I)	22,556,694	23,266,579	
次期繰越額(J)=H+I	23,266,579	22,636,484	

貸借対照表
(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	38,027	50,782	
普通預金	13,127,867	11,516,443	
郵便振替口座	2,318,416	2,425,676	
定期預金	7,782,269	8,528,379	
未収消費税	0	37,925	
流動資産合計	23,266,579	22,559,205	
2. 固定資産			
什器備品	0	0	
一括償却資産	0	77,279	
固定資産合計	0	77,279	
資産合計	23,266,579	22,636,484	
II 負債の部			
負債合計	0	0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	22,556,694	22,556,694	
当期正味財産増加額	709,885	79,790	
正味財産合計	23,266,579	22,636,484	
負債及び正味財産合計	23,266,579	22,636,484	

NPO旭川医大アイバンク
理事長 廣川 博之 様

監 査 報 告 書

私達は、NPO旭川医大アイバンクの令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の会計書類、すなわち収支計算書、貸借対照表、預金通帳および関係書類について監査を行った。

この監査に当たって、私達は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、通常実施すべき監査手順を実施した。

監査の結果、計算書類は一般に公正妥当と認められる会計の基準に従いNPO旭川医大アイバンクの令和6年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

令和6年5月20日

特定非営利活動法人旭川医大アイバンク

監 事

野 村 忠 弘



監 事

中 里 幸 生



令和6年度事業報告

(1) 献眼登録者数 62名(前年度169名)

月別

	年度内累計			設立時からの累計		
	前月累計	今月の集計	累積人数	前月累計	今月集計	累積登録
4月	0	0	0	4,758	0	4,758
5月	0	0	0	4,758	0	4,758
6月	0	20	20	4,758	20	4,778
7月	20	1	21	4,778	1	4,779
8月	21	0	21	4,779	0	4,779
9月	21	0	21	4,779	0	4,779
10月	21	0	21	4,779	0	4,779
11月	21	0	21	4,779	0	4,779
12月	21	0	21	4,779	0	4,779
1月	21	15	36	4,779	15	4,794
2月	36	1	37	4,794	1	4,795
3月	37	25	62	4,795	25	4,820

年齢別

		10	20	30	40	50	60	70	80	80～	不詳	合計
4月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	M	1	2		8	2	2					15
	W			1	3		1					5
		1	2	1	11	2	3	0	0	0	0	20
7月	M						1					1
	W											0
		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
8月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	M											0
	W											0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	M		3		1							4
	W	1	6		3	1						11
		1	9	0	4	1	0	0	0	0	0	15
2月	M											0
	W								1			1
		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
3月	M		2	4	3	2	1	1			1	14
	W		2		6	1		2				11
		0	4	4	9	3	1	3	0	0	1	25

(2) 献眼者数

献眼者数 1 名（前年度実績 3 名）

献眼月	年 齢	性 別	在 住 地
7 月	6 0 代	男性	天塩郡豊富町

(3) 寄附金報告

寄附金額 750,000 円

日 付	ご 芳 名	金 額
R7. 7. 8	上川郡中央医師会	50,000
R7. 3. 19	ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 北見キャビネット事務局	700,000

(4) 賛助会員

個人会員 11 口・法人会員 6 口 合計 120,000 円

日 付	ご芳名	所属クラブ	区分	口数	金額
5 月 10 日	井田 正昭（自振）	釧路みなと	個人	10	30,000
5 月 10 日	梅原 友一（自振）	白滝	個人	1	3,000
5 月 10 日	匿名		法人	1	10,000
5 月 14 日	安田 真紀子	猿払	個人	1	3,000
7 月 4 日	坪沼 本善	旭川大雪	個人	1	3,000
7 月 5 日	(株)オオバ	白滝	法人	1	10,000
7 月 5 日	奥山 壽雄	白滝	個人	1	3,000
7 月 5 日	阿部 眞猛	当麻	個人	1	3,000
7 月 5 日	当麻ライオンズクラブ	当麻	法人	1	10,000
7 月 8 日	(株)ハウジング高橋	旭川ナナカマド	法人	1	10,000
7 月 23 日	金谷 和文	旭川	個人	1	3,000
7 月 24 日	比布ライオンズクラブ	比布	法人	1	10,000
8 月 26 日	遠山 晴義	旭川	個人	1	3,000
10 月 1 日	旭川中央ライオンズクラブ	旭川中央	法人	1	10,000
9 月 4 日	近江 強	北見白樺	個人	1	3,000
9 月 4 日	服部 修史	北見白樺	個人	1	3,000
9 月 4 日	山本 泰正	北見白樺	個人	1	3,000

令和6年度活動報告書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 経常収益			
1. 受取寄附金			
受取寄附金	1,091,000	750,000	ライオンズクラブ 献眼推進費 他
賛助会員収入	253,000	120,000	
2. 受取基金			
受取基金	0	0	
3. 事業収益			
角膜幹旋料	600,000	1,050,000	眼球幹旋料
強膜幹旋料	180,000	360,000	眼球幹旋料
4. その他収益			
受取利息	265	6,025	預金利息
アイバンク協会補助金収入	0	0	
雑収入	37,925	0	未収消費税
経常収益計(A)	2,162,190	2,286,025	
II 経常費用			
1. 事業費			
眼球輸送費	37,120		ハイヤー
薬品・医療材料費	85,190	110,762	保存液 他
摘出費	190,000	50,000	摘出謝礼
慶弔費	90,840	62,688	香典 他
通信費	3,186	12,001	送料
印刷費	0	16,150	印刷費
会議費	0	128,033	会議会場費
租税公課	0	25,500	確定消費税額
支払手数料	0	28,346	事務手数料
事務委託費	622,960	606,000	ライオンズ事務局・医大眼科秘書
普及啓発費	801,285	82,695	リーフレット料 他
什器備品減価償却費	38,639	301,229	パソコン償却費
雑費	0	0	
事業費計(B)	1,869,220	1,423,404	
2. 管理費			
印刷費	42,480	0	コピー代
通信費	139,477	56,379	送料・通話料
備品費	0	0	
交通費	73,352	79,600	総会交通費 他
会議費	69,004	40,565	総会費
消耗品費	183,416	12,397	事務機器用品 他
諸会費	46,155	0	アイバンク協会会費
事務所管理費	240,000	0	ライオンズクラブ事務局
租税公課	0	0	
雑費	129,181	81,141	総会土産 他
管理費計(C)	923,065	270,082	
経常費用計(D)=B+C	2,792,285	1,693,486	
当期経常増減額(E)=A-D	-630,095	592,539	
III 経常外収益			
1. 固定資産取得の部	0	0	
固定資産受贈益	0	0	
経常外収益計(F)	0	0	
IV 経常外費用			
1. 固定資産取得支出	0	0	
2. 雑損失	0	0	
経常外費用計(G)	0	0	
当期収支額(H)=E+F-G	-630,095	592,539	
前期繰越額(I)	23,266,579	22,636,484	
次期繰越額(J)=H+I	22,636,484	23,229,023	

貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	前年度	今年度	摘 要
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	50,782	26,807	
普通預金	11,516,443	12,149,958	
郵便振替口座	2,425,676	2,510,570	
定期預金	8,528,379	8,528,548	
未収消費税	37,925	0	
流動資産合計	22,559,205	23,215,883	
2. 固定資産			
什器備品	0	0	
一括償却資産	77,279	38,640	
固定資産合計	77,279	38,640	
資産合計	22,636,484	23,254,523	
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払消費税	0	25,500	
負債合計	0	25,500	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	23,266,579	22,636,484	
当期正味財産増加額	2,490,015	592,539	
正味財産合計	25,756,594	23,229,023	
負債及び正味財産合計	25,756,594	23,254,523	

NPO旭川医大アイバンク
理事長 廣川 博之 様

監 査 報 告 書

私達は、NPO旭川医大アイバンクの令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の会計書類、すなわち収支計算書、貸借対照表、預金通帳および関係書類について監査を行った。

この監査に当たって、私達は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、通常実施すべき監査手順を実施した。

監査の結果、計算書類は一般に公正妥当と認められる会計の基準に従いNPO旭川医大アイバンクの令和7年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

令和7年5月 26 日

特定非営利活動法人旭川医大アイバンク

監 事

野 村 忠 弘

監 事

中 里 孝 生



LCIF献金実施状況一覧 2025年 9月度 (報告第4号) 会員並びにクラブ活動状況報告 集計表

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000
		白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		標茶	1	1,000	0	0	0	0	1	500	2	1,500	2	1,500
		釧路みなと	2	2,000	0	0	0	0	0	0	2	2,000	49	27,100
		釧路湿原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	根室	0	0	1	100	0	0	0	0	1	100	1	100
		羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路ぬさまい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		釧路ゆうやけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計		3	3,000	1	100	0	0	1	500	5	3,600	53	29,700	
2	1	旭川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川大雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川平和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		当麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000
		愛別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6,000
		上富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		旭川ナナカマド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	1	帯広	0	0	17	340	0	0	1	55	18	395	19	1,395
		本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		十勝池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		音更	3	3,000	7	700	0	0	1	1,022	11	4,722	11	4,722
		浦幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	豊頃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		幕別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		帯広かしわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		帯広中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	2,200
		帯広平原	0	0	0	0	27	2,700	1	21	28	2,721	31	5,721
R合計		4	4,000	24	1,040	27	2,700	4	1,119	59	8,859	80	15,059	
4	1	留萌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		羽幌	0	0	5	670	0	0	1	610	6	1,280	51	4,220
		留萌みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	4,700
		遠別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	62
		増毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	名寄	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	1	1,000
		士別	0	0	3	300	0	0	0	0	3	300	3	300
		美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		稚内	0	0	0	0	21	2,100	1	1,000	22	3,100	22	3,100
		枝幸オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計		1	1,000	8	970	21	2,100	2	1,610	32	5,680	116	13,382	
5	1	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2,000
		置戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		遠軽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北見白樺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		湧別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	紋別オホーツク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白滝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		佐呂間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		東北海道WEB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		網走	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R合計		0	0	17	1,700	0	0	0	0	17	1,700	36	6,020	
地区合計			8	8,000	50	3,810	48	4,800	7	3,229	113	19,839	292	71,161
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
			MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	

サバンナ基本集計表 2025年9月度

			アクティビティ		労務奉仕		例会出	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を	さらに支部
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	除く	会員を除く
1	1	釧路	2	30,000	1	1	100	27	27	0	0	27	7	1	6	20	9	7	20	11
1	1	白糠	0	0	0	0	100	7	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0	7	7
1	1	標茶	2	147,328	0	0	48.2	33	33	0	0	33	4	0	4	29	0	4	29	29
1	1	釧路みなと	4	348,876	0	0	93.7	57	58	0	0	58	17	3	14	43	11	15	43	32
1	1	釧路湿原	1	50,000	0	0	82.3	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	17	17
1	2	根室	1	14,744	4	265	69.6	36	39	0	0	39	15	4	11	28	0	11	28	28
1	2	羅臼	0	0	2	5	100	15	13	0	0	13	5	0	5	8	0	5	8	8
1	2	釧路ぬさまい	1	0	1	16	67.5	63	63	0	0	63	20	2	18	37	1	26	37	36
1	2	中標津	0	0	1	3	100	17	17	0	0	17	3	3	0	17	0	0	17	17
1	2	釧路ゆうやけ	2	130,203	0	0	66.1	44	47	2	0	49	3	1	2	47	16	2	47	31
		リジョン小計	13	721,151	9	290		316	321	2	0	323	75	15	60	253	37	70	253	216
			アクティビティ		労務奉仕		例会出	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を	さらに支部
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	除く	会員を除く
2	1	旭川	0	0	0	0	90	26	28	0	0	28	5	2	3	25	0	3	25	25
2	1	旭川大雪	0	0	0	0	77.2	42	46	0	0	46	1	1	0	46	0	0	46	46
2	1	旭川平和	2	282,088	2	128	66.6	28	31	0	0	31	0	0	0	31	0	0	31	31
2	1	当麻	0	0	1	4.5	78.1	16	16	0	0	16	0	0	0	16	0	0	16	16
2	1	愛別	1	10,240	1	7	76	23	23	0	0	23	0	0	0	23	0	0	23	23
2	1	東川	0	0	1	5	44.2	26	26	0	0	26	1	1	0	26	0	0	26	26
2	2	旭川中央	1	31,500	0	0	100	14	16	0	0	16	3	1	2	14	0	2	14	14
2	2	富良野	0	0	0	0	92.9	64	66	0	0	66	14	8	6	60	2	6	60	58
2	2	上富良野	1	64,626	0	0	87.5	34	34	0	0	34	7	7	0	34	0	0	34	34
2	2	旭川ナナカマド	1	45,120	1	7.5	100	26	26	0	0	26	2	2	0	26	0	0	26	26
2	2	旭川クリスタル	0	0	1	20	86.1	17	18	0	0	18	2	2	0	18	0	0	18	18
2	2	旭川バーチャル	0	0	1	35	92.8	20	21	0	0	21	1	1	0	21	0	0	21	21
		リジョン小計	6	433,574	8	207		336	351	0	0	351	36	25	11	340	2	11	340	338
			アクティビティ		労務奉仕		例会出	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を	さらに支部
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	除く	会員を除く
3	1	帯広	21	309,700	3	53	76.4	22	22	0	0	22	5	1	4	17	0	5	17	17
3	1	本別	2	71,267	2	37	45.6	25	24	0	0	24	3	2	1	23	0	1	23	23
3	1	十勝池田	2	55,324	1	28	62.5	15	16	0	0	16	0	0	0	16	0	0	16	16
3	1	音更	1	150,783	2	7.8	61.9	41	46	0	0	46	6	6	0	46	0	0	46	46
3	1	浦幌	0	0	1	3	30.7	13	13	0	0	13	1	1	0	13	0	0	13	13
3	1	豊頃	1	10,000	1	15	81.5	18	19	0	0	19	0	0	0	19	0	0	19	19
3	1	幕別	0	0	0	0	100	17	17	0	0	17	1	1	0	17	0	0	17	17
3	1	帯広かしわ	2	117,748	2	152	100	24	24	0	0	24	2	2	0	24	0	0	24	24
3	2	帯広中央	1	130,000	3	39	40	27	27	0	0	27	5	0	5	22	6	5	22	16
3	2	帯広平原	31	947,052	4	298	71.1	26	26	2	0	28	3	2	1	27	0	1	27	27
3	2	鹿追	3	10,000	2	33	63.8	17	18	0	0	18	0	0	0	18	0	0	18	18
3	2	上士幌	1	0	1	4	65.7	18	19	0	0	19	0	0	0	19	0	0	19	19
3	2	芽室	1	35,000	1	3	75	25	20	0	0	20	1	1	0	20	0	0	20	20
3	2	帯広鈴蘭	4	7,978	3	24	100	16	15	0	0	15	4	0	4	11	0	4	11	11
3	2	帯広さくら	3	115,000	1	85	86.3	11	11	0	0	11	11	8	3	8	0	3	8	8
		リジョン小計	73	1,959,852	27	781.8		315	317	2	0	319	42	24	18	300	6	19	300	294
			アクティビティ		労務奉仕		例会出	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を	さらに支部
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	除く	会員を除く
4	1	留萌	1	12,125	1	46	83.3	24	24	0	0	24	9	3	6	18	0	6	18	18
4	1	羽幌	7	287,723	2	26.5	68.9	41	41	0	0	41	13	1	12	29	0	12	29	29
4	1	留萌みなと	3	2,602,923	2	367	82.4	56	56	0	0	56	22	4	18	37	0	19	37	37
4	1	遠別	0	0	0	0	84.3	15	16	0	0	16	1	1	0	16	0	0	16	16
4	1	増毛	0	0	0	0	86.5	26	26	0	0	26	3	3	0	25	0	1	25	25
4	2	名寄	1	147,438	0	0	77	45	47	0	0	47	4	3	1	45	0	2	45	45
4	2	士別	1	44,232	3	37	61.4	39	39	0	0	39	2	1	1	38	0	1	38	38
4	2	美深	0	0	0	0	80.7	13	13	0	0	13	0	0	0	13	0	0	13	13
4	3	稚内	23	489,602	1	82	59.5	27	29	0	0	29	11	4	7	21	0	8	21	21
4	3	枝幸オホーツク	0	0	1	6	62.5	16	16	0	0	16	5	2	3	13	0	3	13	13
4	3	幌延	0	0	1	2	72.2	18	18	0	0	18	4	4	0	18	0	0	18	18
4	3	歌登	0	0	0	0	36.3	15	17	0	0	17	7	1	6	11	0	6	11	11
4	3	猿払	0	0	0	0	40.9	22	22	0	0	22	1	1	0	22	0	0	22	22
4	3	稚内北斗	2	49,200	1	1.5	29.7	74	74	0	0	74	23	9	14	52	13	22	52	39
		リジョン小計	38	3,633,243	12	568		431	438	0	0	438	105	37	68	358	13	80	358	345
			アクティビティ		労務奉仕		例会出	会員異動						女性内訳		会員内訳			特典会員を	さらに支部
R	Z	クラブ名	件数	金額	件数	時間	席率	期首	前月末	入会	退会	当月末	女性	正会員	子会員	正会員	支部	特典会員	除く	会員を除く
5	1	北見	1	100,000	2	61	100	36	38	0	0	38	3	3	0	38	0	0	38	38
5	1	置戸	0	0	0	0	58.3	11	12	0	0	12	1	1	0	12	0	0	12	12
5	1	遠軽	2	150,000	1	11	92	25	25	0	1	24	1	1	0	24	0	0	24	24
5	1	北見白樺	8	228,000	3	85.5	66	76	76	2	0	78	30	12	18	57	9	21	57	48
5	1	湧別	1	10,000	0	0	64.7	17	17	0	0	17	0	0	0	17	0	0	17	17
5	1	紋別オホーツク	5	81,491	5	31	72.7	21	22	0	0	22	0</							

審 議 事 項



2025-2026年度

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第72回地区年次大会要綱 (案)

開催地：釧路市

開催日：2026年5月23日(土)

月 日	時 間	行 事 内 容		開 催 場 所	登 録 料
5月23日 (土)	12：00～13：00	代 議 員 登 録 受 付		釧路市生涯学習センター まなぼっと 釧路市幣舞町4番28号 TEL：0154-41-8181	L/LL 5,000円
	12：15～12：45	資 格 審 査 ・ 議 事 運 営 指 名 選 挙 ・ 決 議 正 副 委 員 長 会 議			
	13：00～13：20	代 議 員 総 会			
	13：30～14：10	代 議 員 分 科 会			
	14：20～14：50	代 議 員 再 開 総 会			
	14：00～15：00	大 会 式 典 登 録 受 付			
	15：10～17：00	大 会 式 典			
	17：00～18：00	移 動			
	18：00～20：00	開 宴	晩 餐 会	釧路市観光国際交流センター 釧路市幸町3丁目3 TEL：0154-31-1993	L/LL 18,000円

5月22日 (金)	午前10:00(予定) 詳細未定	受 付	記念 ゴルフ大会	釧路カントリークラブ 阿寒郡鶴居村下幌呂 TEL: 0154-65-2331	L/LL 5,000円
	午前11:30(予定) 詳細未定	スタート			

第 7 2 回地区年次大会組織表

大会長・地区ガバナー		L. 大島 尚久 (釧路みなと)	
大会名誉顧問	副大会長・第一副地区ガバナー		L. 広瀬 寛人 (富良野)
	副大会長・第二副地区ガバナー		L. 柳澤 豊 (留萌みなと)
	大会委員長		L. 高瀬 力 (釧路ぬさまい)
	大会副委員長		L. 川人 正和 (釧路)
	大会幹事		L. 木村 宏幸 (釧路みなと)
	大会事務局長		L. 古谷 龍彦 (釧路ぬさまい)
	大会事務局次長		L. 青木 秀史 (釧路ぬさまい)
	大会事務局次長		L. 阿部 将和 (釧路うやけ)
	大会事務局員		伊藤 恵美
大会会計		L. 高橋 清美 (白糠)	
大会会計監査委員		L. 田中 進 (標茶)	
L. 大津 幸三 (釧路みなと)		L. 菅野 貴光 (釧路みなと)	
L. 小野 哲也 (羅臼)		L. 中川 大策 (釧路湿原)	
		L. 島 孝治 (根室)	
		L. 松原 臣 (羅臼)	
		L. 久保田 庸央 (釧路ぬさまい)	
		L. 新谷 誠治 (中標津)	
		L. 松尾 典彦 (釧路うやけ)	
大会部会	総務	総務・登録 宿泊・売店	L. 青木 秀史 (釧路ぬさまい)
	大会記念誌		L. 村岡 正次 L. 前田 益夫 L. 有田 高行 L. 山吉 行雄
	式典	企画・運営・受付 会場設営・接待 救護・駐車場	L. 残間 和義 (釧路湿原)
	晩餐会	企画・運営・ 会場設営	L. 川田 雄一 (釧路湿原)
	ゴルフ	企画・運営・ 表彰	L. 阿部 将和 (釧路うやけ)
		L. 合林 拓郎 (釧路うやけ)	
		L. 長谷川 伸 (釧路)	L. 藤井 芳和 (釧路)
		L. 齋藤 昇一 (標茶)	L. 小林 浩 (標茶)

2025-2026年度

331-B地区 第72回 地区年次大会収支予算(案)

(2025年7月1日～2026年6月30日)

【 収入の部 】

(単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
地区大会費	3,924,000	200円×12ヶ月×1,635名
大会式典登録料	4,000,000	5,000円×800名(総人数×50%)
晩餐会登録料	10,800,000	18,000円×600名(登録人数×75%)
出店料	20,000	ライオンズグッズ店他
雑収入	250,000	広告収入他
雑収入	706,000	大会記念バッジ他
収 入 合 計	19,700,000	

【 支出の部 】

科 目	予 算 額	備 考
総 務 部 会	3,900,000	事務所費・コピー費・人件費・郵送費その他
大 会 記 念 誌 部 会	1,300,000	印刷代金他
式 典 部 会	2,800,000	会場費・たれ幕・音響・ビデオ・その他
晩 餐 会 部 会	11,500,000	会場費・料理・飲食・音響・その他
予備費	200,000	
支 出 合 計	19,700,000	

記念ゴルフ大会

【 収入の部 】

科 目	予 算 額	備 考
登 録 料	500,000	5,000円×100名

【 支出の部 】

科 目	予 算 額	備 考
ゴ ル フ 大 会 費 用	500,000	ゴルフ大会景品他

第72回地区年次大会 取引金融機関(案)について

地 区 年 次 大 会
金 融 機 関 : 北見信用金庫 釧路支店 口 座 : 普通預金 0 5 7 9 7 4 1 口 座 名 義 : ライオンズクラブ国際協会 3 3 1 - B 地区 第72回地区年次大会 会計 大津 幸三

第 72 回地区年次大会議事規則 (案)

1. 331-B 地区第 72 回地区年次大会は、地区大会に参加した地区ガバナー、前・元地区ガバナー及びクラブ代議員をもって構成する。キャビネット役員は大会に参加し発言する事は出来るが、クラブ代議員でない限り投票する事は出来ない。その他の会員及び同伴者は、大会に参加する事は出来るが、発言したり投票したりする事は出来ない。
2. 有資格代議員（現・前・元地区ガバナー）を除くクラブ代議員はクラブ会長が署名した資格証明書をあらかじめ定められた期限までに資格審査委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 大会議長（以下議長という）には地区ガバナー、大会副議長には副地区ガバナー、大会幹事にはキャビネット幹事、大会会計にはキャビネット会計がこれに当たる。議長は、その他の大会役員を任命する。
4. 議長は、下記の委員会及び分科会を設け、その委員長及び副委員長（更に必要な場合は顧問）を任命する。また、委員をキャビネット構成員の中から任命できるが、クラブ代議員でない場合は、司会・記録以外に発言・投票は出来ない。
 - (1) 資格審査委員会
 - (2) 議事運営委員会
 - (3) 指名・選挙委員会
 - (4) 決議委員会

（但し、議長は決議委員会を次の分科会に分けることができる）

第一分科会 会計、会則・コンプライアンス、献血・献眼・薬物防止

第二分科会 長期計画リサーチ、国際大会・国際協調・LCIF、
オセアルフォーラム特別、アラート

第三分科会 レオ・青少年、YCE、M・IT、平和ポスターコンテスト
5. 代議員の委員会及び分科会の所属は、議長がこれを定める。
6. 各委員会及び分科会の委員長は、その議事を主導し審査結果を大会に報告する。
7. 決議は全て、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定による。クラブ代議員が投票出来ない時は補欠がこれに代わる。
 - (ア) 議案はあらかじめ文章をもってキャビネットに提出する。キャビネットはそれを検討の上、大会議案を決定し、大会開催の 2 週間前までに各クラブに通知する。

(議案第 3 号)

それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、大会に出席したすべての代議員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。但し、その議案は前もって文章で議長に提出しなければならない。

8. 提出理由の説明及び討議は、1 人 3 分を超えてはならない。但し、大会では議長、委員会及び分科会では委員長が特に必要と認めた場合はこの限りでない。
9. 次期地区ガバナー及び次期第 1・第 2 副地区ガバナーの選出は次の方法によるものとし、選挙及び信任投票は指名・選挙委員会が管理する。
 - (1) 次期地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者の無記名信任投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期地区ガバナーとする。
 - (ハ) 過半数の得票が得られなかった場合は「標準版地区会則 付則」第 2 条第 6 項が適用される。
 - (2) 次期第 1 副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期第 1 副地区ガバナーとする。
 - (ハ) 過半数の得票が得られなかった場合は「標準版地区会則 付則」第 2 条第 6 項が適用される。
 - (3) 次期第 2 副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票者をもって次期第 2 副地区ガバナーとする。
 - (ハ) 過半数の得票が得られなかった場合は「標準版地区会則 付則」第 2 条第 6 項が適用される。
10. 別に定めがない限り、議事手続きは「ロバート議事規則」による。
11. 複合地区内の全ての準地区で一様に可決、あるいは一様に否決された場合は賛・否いずれにせよ複合地区の合意とみなし、複合地区大会では改めて審議しない。
12. 準地区大会の決定が可・否両方に分かれた場合には複合地区大会において改めて審議し、全ての準地区はその決定に従う。

「付則」その他の代議員の資格については、「国際付則」第 9 条 3 項に準ずる。算定時期については大会準備の都合上、第 72 回地区年次大会は 2026 年 1 月末現在の会員数に基準を変更する。

2025-2026 年度
ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第 72 回地区年次大会代議員について(案)

【代議員の資格】

1. 地区ガバナー、前・元地区ガバナー
2. 地区内クラブは少なくとも、1 年と 1 日以上在籍している会員 10 名ごと、及び端数 5 名以上について、代議員及び補欠各 1 名を選出できる。
但し、
(イ) 補欠は代議員が欠席した時のみ、その資格を有する。
(ロ) 定義算定の基準日は、大会前月 1 日付けで、国際本部に記録された会員数とする
3. 新しくチャーターされたクラブ、及び大会開催前に新会員を加えたチャータークラブは、国際本部の記録に従った定数の代議員とする。
上記に該当する会員で、クラブ会長が署名した資格証明書をあらかじめ定められた期限までに資格審査会に提出し、資格を確認された会員が代議員となる。
(注)副地区ガバナー、Z C、キャビネット幹事、キャビネット会計は代議員とし、上記代議員の枠内でなければならない。
その他詳細は、以下を適用又は準用する。
 - ① ライオンズ必携 61 版「国際付則第 9 条第 3 項」
 - ② ライオンズ必携 61 版「複合地区会則第 21 条 3」
 - ③ ライオンズクラブ標準版地区会則第 7 条 2 項

【代議員の登録】

代議員の登録の算定基準日は 2026 年 1 月末現在とする。大会開催が 5 月であり、その前月すなわち 4 月 1 日に国際協会に記載されている会員数が算定基準ですが、大会開催準備の都合のため基準を変更する。
代議員選出の際、特典会員は母数に含めない。

次期地区役員・委員推薦要項(案)について

1. 地区役員、委員は地区ガバナーが任命するものであるが、次期キャビネットの構成を円滑にするために、次の要領によって行う。
2. 地区ガバナーと第一副地区ガバナーは、次期ゾーン・チェアパーソン、次期地区 M I T・Y C E 委員の推薦をゾーン・チェアパーソンに依頼する。
3. ゾーン・チェアパーソンは、地区ガバナー及び第一副地区ガバナーの意を解して、なるべく速やかにゾーン・チェアパーソンで構成するリジョン会議（議長は互選）により役職ごとにクラブを定め、その推薦をクラブ会長に委嘱する。
4. クラブ会長は、理事会において適任者を決定し、12月18日（木）までにライオンズ履歴書を添付し、リジョン会議議長に報告する。
5. リジョン会議議長は推薦内容を確認し、12月25日（木）までに地区キャビネット幹事に報告する。
6. 地区キャビネット幹事は、リジョン会議議長から推薦された次期地区役員、委員の氏名を第一副地区ガバナーに報告する。
7. 第一副地区ガバナーは、リジョン会議議長の推薦を尊重し、地区役員、地区委員長、地区委員を速やかに内定し、国際大会終了後、地区ガバナーに就任した時点で、それぞれの役職を正式に任命する。

(注) 上記役員のうち、次期ゾーン・チェアパーソンについては、ライオンズクラブ国際協会標準版地区会則付則第2条第7項（2024年6月改訂）により、次の資格を要します。

- (a) それぞれのリジョン又はゾーンのグッドスタンディングの正会員であり、
- (b) リジョン・チェアパーソン又はゾーン・チェアパーソンに就任するまでに、ライオンズクラブ会長の任期を満了するか、過半期務め、ライオンズクラブ理事会メンバーを更に2年以上務めた。
- (c) 地区ガバナーとして全期または過半の期間務めた経験がない。
- (d) ゾーンおよびリジョン・チェアパーソンとしてその役職を務められるのは、通算で3年までである。

次期地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2026－2027 年度 331-B 地区ガバナーに立候補される方について、
下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項に定められております。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。(PDF 提出も可)

*** 提出期限 2025 年 12 月 15 日 (月) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第 3 回キャビネット会議
(2026 年 2 月 7 日) にて資格審査を行い正式に受理します。

(注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区又は、準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

ライオンズクラブ
会 長 L.

推 薦 状

2026－2027 年度 331-B 地区 地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. _____ を推薦いたします。

2025 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会 長 ⑩

幹 事 ⑩

会 計 ⑩

(注) 地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 4 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングの正会員であり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区又は、準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

2026－2027 年度 3 3 1－B 地区 地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・白黒写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日		
	所 属	第 R 第 Z ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者名	L.		
	生年月日	年 月 日 歳		
	自 宅	〒		
		住 所		
		電 話		
		携 帯		
	勤務先	E-mail		
		〒		
住 所				
勤務先名			役職名	
	電 話			
	E-mail			
ライオン歴（年度順） ・入 会 ・ク ラ ブ 役 職 ・準 地 区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード	(国際会則付則第9条第4項に示す「地区ガバナー候補者の資格」については特に明記が必要)			
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記				
最 終 学 歴	年 月 卒業			
公職・叙勲・賞罰				
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別				
現在、主として勤務して いる法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等				
ライオンズクラブ国際協会 3 3 1－B 地区 地区ガバナー L. 大島 尚久 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区ガバナーとして立候補いたしたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名				

㊞

次期第一副地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2026－2027 年度 331-B 地区第一副地区ガバナーに立候補される方について、下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 第一副地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項に定められております。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに第一副地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「第一副地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。(PDF 提出も可)

*** 提出期限 2025 年 12 月 15 日 (月) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第 3 回キャビネット会議
(2026 年 2 月 7 日) にて資格審査を行い正式に受理します。

(注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングのであり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

ライオンズクラブ
会 長 L.

推 薦 状

2026－2027 年度 331-B 地区 第一副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. _____ を推薦いたします。

2025 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会 長 ⑩

幹 事 ⑩

会 計 ⑩

(注) 第一副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項によ
り、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおける
グッドスタンディングのであり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めている者でなければならない。

2026－2027 年度 331-B地区 第一副地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・白黒写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日		
	所 属	第 R 第 Z ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者名	L.		
	生年月日	年 月 日 歳		
	自 宅	〒		
		住 所		
		電 話		
		携 帯		
	勤務先	E-mail		
		〒		
住 所				
勤務先名			役職名	
	電 話			
	E-mail			
ライオン歴（年度順） ・入 会 ・ク ラ ブ 役 職 ・準 地 区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード				
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記				
最 終 学 歴	年 月 卒業			
公職・叙勲・賞罰				
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別				
現在、主として勤務して いる法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等				
ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 地区ガバナー L. 大島 尚久 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-B地区 第一副地区ガバナーとして立候補いたしたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名 ㊞				

次期第二副地区ガバナー立候補者届出について

各クラブ会長、幹事宛

貴クラブ会員で、2026-2027 年度 331-B 地区第二副地区ガバナーに立候補される方について、下記立候補者届出要領により届出下さいますようお願い致します。

1. 第二副地区ガバナー立候補者資格については、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項に定められております。
2. 提出書類は、別紙推薦状ならびに第二副地区ガバナー立候補者届出書とします。
3. 届出先と届出方法
 - ・ 所属クラブより 331-B 地区キャビネット事務局に提出して下さい。
 - ・ 立候補者の在籍クラブが所属するゾーンの ZC にも同文のものを提出して下さい。
 - ・ 封筒には必ず「第二副地区ガバナー立候補者届出書在中」と明記の上、親展書留で郵送して下さい。(PDF 提出も可)

*** 提出期限 2025 年 12 月 15 日 (月) 必着 ***

(同日正午を期限としますので、郵便事情を考慮の上、速達などを利用して下さい。)

- ・ その他 立候補者届出は 331-B 地区第 3 回キャビネット会議
(2026 年 2 月 7 日) にて資格審査を行い正式に受理します。

注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。

1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングのであり、
2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
3. 第二副地区ガバナー就任の時点で、
 - (a) クラブ会長を全期又は過半の期間、そして理事会構成員として更に 2 年以上務め、かつ
 - (b) ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区グローバル・エクステンション・チームコーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コーディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター、地区 LCIF コーディネーター、あるいはキャビネット幹事及び(又は)会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
地区ガバナー L. 大島 尚久

ライオンズクラブ
会 長 L.

推 薦 状

2026－2027 年度 331-B 地区 第二副地区ガバナー立候補者として全会員の
承諾を得て、当クラブ会員 L. を推薦いたします。

2025 年 月 日

第 リジョン 第 ゾーン ライオンズクラブ

会 長 ㊞

幹 事 ㊞

会 計 ㊞

- 注) 第二副地区ガバナー立候補者は、ライオンズクラブ国際協会付則第 9 条第 6 項により、次の資格を要します。
1. 所属単一地区又は準地区内のグッドスタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッドスタンディングのであり、
 2. 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
 3. 第二副地区ガバナー就任の時点で、
 - (a) クラブ会長を全期又は過半の期間、そして理事会構成員として更に 2 年以上務めかつ
 - (b) ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソン、地区グローバル・エクステンション・チームコーディネーター、地区グローバル指導力育成チーム・コーディネーター、地区グローバル会員増強チーム・コーディネーター、地区グローバル奉仕チーム・コーディネーター、地区 L C I F コーディネーター、あるいはキャビネット幹事及び（又は）会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。
 - (c) 上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

2026－2027 年度 331-B 地区 第二副地区ガバナー立候補者届出書

上半身・脱帽・白黒写真 (4.0cm×5.0cm)	届出年月日	年 月 日		
	所 属	第 R 第 Z ライオンズクラブ		
	ふりがな 立候補者名	L.		
	生年月日	年 月 日 歳		
	自 宅	〒		
		住 所		
		電 話		
		携 帯		
	勤務先	E-mail		
		〒		
住 所				
勤務先名			役職名	
	電 話			
	E-mail			
ライオン歴（年度順） ・入 会 ・ク ラ ブ 役 職 ・準 地 区 ・複合地区役員 ・授賞 アワード				
職 歴 主要なものを列記し、 その役職名を併記				
最 終 学 歴	年 月 卒業			
公職・叙勲・賞罰				
家 族 同居家族氏名・続柄 職業・年齢・性別				
現在、主として勤務して いる法人・団体等の内容 商号、本店、資本金等				
ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 地区ガバナー L. 大島 尚久 私儀、ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区 第二副地区ガバナーとして立候補いたしたく、 クラブ推薦状を添え、届出いたします。 ライオンズクラブ 署名 ㊞				

331-B 地区キャビネット会則

第1条 名称

本組織を「ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区キャビネット」(以下本規則において「地区キャビネット」という)と称する。

第2条 目的

地区内のライオンズクラブの融和と協調を図るとともに、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本活動方針に従い、地区内の各ライオンズクラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

第3条 構成及び組織

1. 地区は、その管轄地区内において結成され国際協会の承認を受けたすべてのライオンズクラブで構成する。
2. 地区ガバナーは、地区ライオンズクラブの地理的位置により、10～16のクラブからなるリジョンに、また、各リジョンは4～8のクラブからなるゾーンに分ける。
すべてのリジョン及びゾーンは、地区ガバナー独自の自由裁量により変更することが出来る。

第4条 キャビネット構成員・地区役員

1. 地区キャビネット構成員は、次のとおりとする。
 - (1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、ゾーン・チェアパーソン
 - (2) 会則・コンプライアンス委員長、国際大会・国際協調・LCIF委員長、献血・献眼薬物防止委員長、レオ・青少年委員長、YCE委員長、M・IT委員長、オセアルフォーラム特別委員長、平和ポスターコンテスト委員長、アラート委員長、地区大会委員長
 - (3) 上記(1)及び(2)の他に、地区ガバナーが必要と認めて任命する地区委員長及び各コーディネーター。
 - (4) ゾーン・チェアパーソンが空席となった場合や、任務の遂行が困難な場合に、地区ガバナーはその職責を代行する職務代行者を1名置くことが出来る。
 - (5) 上記(1)(2)(3)を発言権及び議決権のあるキャビネット構成員とし、その他を地区役員としキャビネット会議に招集する。
2. 前地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。
3. 前記キャビネット構成員のうち、委員長は他の委員長を兼任することを妨げない。
4. 地区委員及び第4条第1項に規定される以外の者は必要に応じ地区ガバナーによって任命される。
5. キャビネット構成員及び地区委員の任期は、地区ガバナーの任期と同じとする。
ただし、必要とあれば地区ガバナーの任命により再任もあり得る。

(議案第8号)

第5条 キャビネット構成員及び地区役員の任務

1. 前地区ガバナーは、地区の調和を図る。
2. 第一及び第二副地区ガバナーは、地区ガバナーの監督と指示のもとに地区ガバナーの首席補佐役を務める。
3. キャビネット幹事は、地区ガバナーの指揮のもとにキャビネットの運営事務を司る。
4. キャビネット会計は、地区ガバナーの指揮のもとにキャビネットの出納を司る。
5. 運営委員長は運営委員を統括し、キャビネット幹事・キャビネット会計を補佐する。
6. ゾーン・チェアパーソンは、地区ガバナーの指揮のもとに責任者としてゾーンの運営に当たる。
7. 地区 GMT コーディネーターは、新会員獲得を目的とするグローバル会員増強及び退会防止をコーディネートする。
8. 地区 GET コーディネーターは、地区における新クラブ結成の取り組みを支援し、エクステンションへの熱意を共有するチームの立ち上げをコーディネートする。
9. 地区 GLT コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとにリーダー発掘および指導力育成のあり方等をコーディネートする。
10. ST コーディネーターは、地域のニーズにあった奉仕プログラムを推進し、LCIF との連携によるシュアリング交付金事業の活用をコーディネートする。
11. 地区 LCIF コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとに LCIF の使命と重要性を宣伝、啓発し LCIF 献金の理解と拡大を図る。
12. 地区 WYPT コーディネーターは、地区ガバナーの監督と指示のもとに女性及び学生、若い世代の会員の増強及びスペシャリティークラブ・支部活動の充実をコーディネートする。
13. 地区会則・コンプライアンス委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに会員に対して諸規則の周知を図り、諸活動においてコンプライアンスの意識高揚に努める。
14. 地区国際大会・国際協調・LCIF 委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに国際大会の意義を理解し、複合地区との連携を密にして参加を奨励するとともに国際間の相互理解と協力の推進に当たる。
15. 地区献血・献眼・薬物防止委員長は、地区ガバナーの指揮のもとに薬物乱用防止教室の開催に向け、資格認定講師育成のオンライン養成講座の実施の検討、輸血用血液不足の現状を広く告知 PR し、地区内メンバーはもちろん、各地域に献血活動を PR し、その重要性に鑑み積極的な参加の呼び掛けを図る。
16. 地区レオ・青少年委員長は、地区ガバナーの指揮のもとにレオクラブの指導及び諸活動を推進するとともに、年次大会の各クラブの記念事業の調整を行う。
17. 地区 YCE 委員長は、地区ガバナーの指導のもとに国際間の相互理解を深め、複合地区 YCE 委員会との連携を密にし、青少年の交換事業を推進する。
18. 地区 M・I T 委員長は、地区ガバナーの指揮のもとにリジョン内の慶弔、各クラブの事業等に関わり、ゾーン・チェアパーソンとの連携のもとに取材 PR を積極的に行う。また、地区内クラブ間の情報の共有化及び、地域に対する周知宣伝活動を行い、又国際的ライオンズクラブの IT 化に対応すべく、クラブの IT スキル向上を複合地区との連携を図り推進する。
19. 地区オセアルフォーラム特別委員長は、地区ガバナーの指導のもとにオセアルフォーラム札幌大会の意義を理解し、参加を奨励するとともに国際間の相互理解と協力の推進に当たる。

(議案第 8 号)

20. 地区平和ポスターコンテスト委員長は、地区ガバナーの指導のもとに国際平和ポスターコンテストへ応募する子どもたちに、平和への希求、地域広報活動及び国際理解の機会を与える。
21. 地区アラート委員長は、地区内外の大規模自然災害発生時の支援体制の検討を行う。
22. 地区長期計画リサーチ委員長は、ガバナーの指揮のもとに地区内の複数年にわたる事項を検討し、地区ガバナーに報告する。
23. 地区大会委員長は、地区キャビネットの指示を受け、大会の設営その他に当たる。
24. 地区会計監査委員は、年度内の会計を監査し地区ガバナーに報告する。
25. 職務代行者は地区ガバナーが依頼した任務を遂行する。
26. **Z委員は、ゾーン・チェアパーソンの補佐を務め、2025-2026 年度はLCIF委員として兼務する。**

第 6 条 地区ガバナー諮問委員会

1. 地区ガバナー諮問委員会（以下「諮問委員会」という）は、ゾーン・チェアパーソンを議長とし、ゾーン内のクラブ会長、第一副会長及び幹事で構成される地区ガバナーの諮問機関である。
2. 上記 1 以外にゾーン・チェアパーソンが必要と認めた場合はオブザーバーとして参加できる。諮問委員会議長は年 4 回定期会議を開催するものとする。
3. 諮問委員会の各構成員は、クラブ会則及び付則に従って、ゾーン内の各クラブが望ましい発展を遂げるようゾーン・チェアパーソンを補佐するものとする。

第 7 条 地区GAT（グローバルアクションチーム）

1. 地区ガバナーのもと、GMT、GET、GLT、GST、WYPT 各正副コーディネーター、ゾーン・チェアパーソンで構成される。
2. 人道奉仕・会員増強・指導力育成、スペシャルティクラブ・クラブ支部支援、女性・家族学生、若い世代の会員サポートを進めるための取り組みを行う。

第 8 条 地区会計

1. 地区内のライオンズクラブは、地区の運営に必要な費用を負担する。
2. 地区ガバナーは、会員の中から委嘱した 2 名以上の監査委員によって、年 2 回以上經常会計のほか、地区大会その他各種事業などの特別会計のすべてにわたって会計監査を受けるものとする。
3. 地区の会計年度は、2025 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までとする。
4. その他、地区会計については複合地区会計会則を準拠する。

第 9 条 事務局の設置

1. 地区キャビネット事務局を【釧路市中島町 6-25】に置く。
2. 地区キャビネットの事務局設置は、2025 年 2 月 1 日から 2026 年 7 月末までとする。
3. 事務局には、事務局長及び必要な職員を置き、地区キャビネット事務局を掌握させる。

第 10 条 その他

1. この会則に定めるものの他、必要な事項は別に定める。
2. この会則は、2025 年 7 月 1 日に遡り施行し、2026 年 6 月末をもってその効力を失う。ただし、次期キャビネットの引継が前段の終期まで整わない場合は事務引継までとする。

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
2025～2026 年度

地区キャビネット慶弔規程

地区ガバナーの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員及び地区役員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）	10,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合—(弔電)— → 削除	10,000 円 (香典)
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

区 分	地区内会員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合（弔辞・弔電）→ 削除	10,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合—(弔電)— → 削除	———
	新聞の死亡広告にガバナー名を使用する場合は、ガバナーの了承を得る。 但し、掲載料は喪主の負担とする。	

- 1) 上記以外の事項または特別な事情が生じた場合は、地区ガバナーの裁量により決定する。
- 2) キャビネット事務局員は上記キャビネット構成員の項を準用する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規程は、第2回キャビネット会議の決議に従い即日適用する。

ゾーン・チェアパーソンの慶弔基準

区 分	キャビネット構成員及び地区役員に対し	金 額
死 亡	1. 本人の場合—(弔電)—→ 削除	5,000 円 (香典)
	2. 配偶者の場合—(弔電)—→ 削除	5,000 円 (香典)

区 分	所属ゾーン内会員に対し	金 額
死 亡	3. 本人の場合—(弔電)—→ 削除	5,000 円 (香典)
	4. 配偶者の場合—(弔電)—→ 削除	5,000 円 (香典)

- 1) 上記以外の事項または、特別な事情が生じた場合は、ゾーン・チェアパーソンの裁量により決定する。
- 2) ゾーン・チェアパーソンの所属ゾーン内会員に対しての慶弔費は、キャビネット慶弔費より支出のこととする。

なお、立替えた慶弔費は、領収書をもって経費振込口座へ振り込み送金する。
- 3) 支部会員は対象となるが、子家族会員は対象とならない。

【付帯事項】

この規程は、所属ライオンズクラブ会長の連絡を受けて適用することを原則とする。

この規程は、第2回キャビネット会議の決議に従い即日適用する。

第二回キャビネット会議 提出議案

- ・ 議案

- ・ 提案 釧路 L C

- ・ 質問

第2回キャビネット会議 提出議案

(1) R (1) Z

釧路ライオンズクラブ

2025年 9 月 30 日

会長名 L 川人 正和

【 議案 ・ 提案 ・ 質問 】

※いずれかに○をお付けください

(議 案)
LCIFスタンドや懇親会等での寄付の強要について

(提出理由)
半強制的な寄付の強要が多々見受けられきて回数が増える度に金額の要望も増えてきて度が過ぎてきている。
場を盛り上げることは理解できるところはあるが、それによって会議や懇親会の出席減少をはじめ会員の退会や入会にも影響が出ると考えます。
寄付は利他の心があってする行動です。嫌々仕方なく寄付することは本当に良いことなのでしょうか。
今後も続けていくのであれば、その寄付金として集まったお金は「誰が」「いくら」寄付をしたのかを明確にし、適正に管理し、
個人の実績にすべきだと考えます。その管理によって、LCIFのことを理解や賛同していなかった者の意識が芽生えたり、
個人に報告することによって更に意識が高まるきっかけにもなると考えます。また、LCIFへの寄付として受け付けた証拠が、
LCIFが厳しい監査を行っているという主張にコミットし、より厳しい財務管理につながる一助になると思いますので、
是非、検討していただきたい。

1. 原文を1部キャビネット事務局に送付してください。
2. 貴クラブ用はコピーの上保管してください。
3. 提出議案のある場合は、コピーを所属のZCに送付してください。
4. 用紙不足の際には、コピーの上使用してください。



釧路ライオンズクラブの提出議案（提案）についての回答

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

地区ガバナー L 大島 尚久

L C I F スタンドや、懇親会での寄付の集め方に、問題があったというご指摘でございますので、その事によって、不快な思いをした方に対して、深くお詫び申し上げます。

せっかくの楽しい懇親会が台無しになってしまうだけでなく、ライオンズクラブそのものや、L C I F への寄付に対しても、嫌悪感を持ってしまわれるのは本末転倒かと思われます。

今後はL C I Fに対する理解が深まり、強制ではなく、進んで寄付をしていただけるよう、関係役員一同、活動していく所存でございます。

後段の「寄付金は適正に管理して個人の実績にすべき」という、ご指摘に異を唱える方は皆無かと考えます。

しかしながら、募金箱に頂いた金額を記録しておき、のちに、個人名でキャビネットからL C I Fに送金するのは、現実的に難しいと思われます。

都度、全員の会員番号を調べ、ライオンズレートに換算する手間や、送金する際の振込手数料がかかる事がネックになってしまうからです。

従って、お金をまとめてキャビネットから、一括送金の方が現実的かと思われます。ただし、いつ、何処でいくら集まったかを、明示するのは必然です。 結局のところ、個人の実績として記録するには、クラブから個人名で送金するのが、最もよろしいかと思われます。

各コーディネーター 各委員会 報告



地区GMTコーディネーター報告

L. 矢 吹 定 夫

331-B地区の2025年度9月末現在の「会員動向集計表」を作成しました。

釧路キャビネットより各クラブにメールにて配布しました。

また、「SWOT分析回答書のまとめ」と「行動計画ひな型」も再度送ります。

そこで、ゾーン・チェアパーソンは、第2回ガバナー諮問委員会等において、各クラブの全てのライオンに「行動計画」を作成する様お願いしてください。

「SWOT分析回答書まとめ」と各クラブで作成した「SWOT分析」を参考として「強みを伸ばし、弱みを克服する行動計画」を作成していただく。

ゾーン・チェアパーソンには、担当ゾーン内の「会員動向集計表」の各クラブの「年齢構成と会員数」を特に注視してください。

「素晴らしいアクティビティを実践し、市民に感謝され、自らの感動と達成感こそが会員拡大につながる。」と思っています。何卒よろしくお願いいたします。

地区GETコーディネーター報告

L. 村 山 聡

第1回目のキャビネット会議において、新クラブ結成に向けての取り組み方を、説明させていただいたところであります。また、各ゾーン内でZCを中心に、GATを作っていただき新クラブ結成及び会員増強の取組を、強化して頂いているところであります。

会員の動向に於いては9月末現在のデータでは1858名であり、3か月で42名の増員であります。このペースで100名純増を目指していただきたいと、思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

私のミッションは、年内に2つの新クラブを結成するという役割であります。

現在、4Rの諮問委員会の中で、新クラブの形態・結成人数・会費等について説明をさせていただき、取り組みをしていただいているところであります。

特に2Z内に新クラブを1つ作ることを目標に、行動をしているところであります。

現在、名寄・下川・中川で5名の会員候補に内諾を頂いているところでありますが、20名にはかなり厳しいのが現状です。

並行して名寄大学に訪問させていただき、ボランティアサークルを中心に、情報を収集しているところであります。また、大学内のSOサークルにも声をかけているところであり、初のキャンパスクラブ結成に向けて取り組んでいるところです。

新クラブを1つ作るにも大変苦慮しているところでは有りますが、最終的には会員が増えることが一番の目標ですので、引き続き皆さんには大島ガバナーが提唱しているASK2の取組をよろしくお願いいたします。

地区GLTコーディネーター報告

L. 小 路 泰 孝

第2回キャビネット会議でのご報告を申し上げます。

今期、地区GLTコーディネーターとして2つの行動計画を立てております。

1つ目がライオンポータルの更なる利用の拡大です。現状としては、ライオンポータルへのログイン、Learn内のコンテンツ活用を目指しておりますが、操作方法や自動翻訳機能での誤字表示などの課題があり、オセアル調整事務局に幾度か質疑を行いました。全世界での使用を前提としており、ローマ字表記が標準であり、日本語に変換されているコンテンツでも文脈に不自然な部分もあり、私自身でも操作に苦戦しております。ですが国内のリモート会議では、ライオンポータル内の資料を参照する場面もあり、今後もその様な機会が増えると思われますので、キャビネット会議に参加されている皆様には今後ともライオンポータルのご活用をお願いいたします。

2つ目がGLTセミナーの開催についてです。日程につきましては未定ですが、講師につきましては、準備を進めております。会場とリモートのハイブリッド形式も含め、一人でも多くの会員の皆様に、参加して頂ければと願っております。詳細が決まり次第、皆様へご案内をいたしますので、よろしくお願いいたします。

地区GSTコーディネーター報告

L. 櫻 井 正 人

第一四半期が経過いたしました。7月より始めました献血250万mlキャンペーンにしましては8月末現在で約40万mlに達しております。引き続き各クラブにはご協力お願い致します。

また地区LCIF交付金の事業も着々と進んでおり、留萌、網走、釧路の3か所での海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題の講習も終了しており、各リジョンにおかれましては、合同事業の海岸清掃の報告もいくつか受けております。これからは寒くなり、冬の季節にもなりますので無理をせず、雪解け頃や少し暖かくなってからの活動で構いませんので、改めてよろしくお願い致します。

次に薬物乱用防止教育講師養成の研修会ですが、予定通り11月29日釧路にて開催いたします。すでにご案内しておりますが、今回初の試みでZOOMでの参加も受け付けております。色々と条件等ございますが、多数のご参加のお願いを申し上げGSTコーディネーターの報告とさせていただきます。

地区LCIFコーディネーター報告

L. 坂 本 齊

皆さま、こんにちは。地区LCIFコーディネーターの坂本です。7月から10月にかけて、地区内ではセミナーや例会での周知を重ね、LCIF寄付金も各クラブから順調に、寄せられております。

LCIFスタンドも地域の会員皆様と共に広がり、奉仕の心を育む活動として定着しつつあります。

今後は寄付推進に加え、地区シェアリング交付金にを使用し、海洋プラスチックゴミによる海洋汚染問題について小学生への啓蒙活動を展開し、次世代への意識づくりを進めてまいります。

日々ご尽力いただくZC、Z委員の皆さまに感謝申し上げ、大島ガバナー、広瀬第一副地区ガバナーのご指導のもと、更に取り組みを進めてまいります。

地区WYPTコーディネーター報告

L. 木 下 裕 幸

こんにちは、地区WYPTコーディネーターのL.木下です

各会員の皆様には奉仕活動にご尽力されておりますことに敬意を表する次第です

さて、ガバナー公式訪問も無事終了し、各クラブにはHD1000のドネーションキットが届いたと思いますが、これから各地におきましてキットをお配りいただき奉仕の輪を広げていただきたいと思います。

また、実績といたしましては北見白樺ライオンズクラブさんが、全体をリードしていただいておりますが、これから徐々に他クラブも増えてくるものと、確信しておりますので、引き続きご協力をお願いします。

もう一つは女性会員の加入促進ですが、今回のオセアルフォーラム札幌大会におきまして、女性会員一名以上の入会で、日本独自の表彰が行われました。引き続き、ぜひ加入促進をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、各会員のライオンズ活動が獅子奮迅していただきますよう。お願いいたします。活動報告といたします。

長期計画リサーチ委員会

委員長 L. 伊 東 隆 志

大島ガバナーより次の3点について諮問がございました。

1. 副ゾーン・チェアパーソン制について

ZCはキャビネットとクラブをつなぐ最も重要な役職ですから、1年目は副ZC、2年目はZCと2年に渡ってZCを経験することで業務に精通するとの考え方です。

2. キャビネット事務局 事務員の固定化について

美幌Cabで事務局固定化の議論が否決され、今回は事務員の固定化を検討します。

3. ガバナー候補の発掘（特に3リジョン）

当委員会の最重要項目で、ガバナー候補者を発掘します。

答申をまとめる上で皆様方のご意見を伺いたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

地区大会委員長

委員長 L. 高 瀬 力

第72回地区年次大会事務局を9月22日に開局致しました。現在、各ホストクラブ・各部会で大会に向けて万全を期すよう準備を進めております。

仮登録を11月中旬にご案内させていただきますので、多数のL・L Lのご登録をお願い申し上げます。

会則・コンプライアンス委員会

委員長 L. 高 橋 哲 也

コンプライアンス規定については、331複合地区におけるコンプライアンス委員会において、日本ライオンズ会則委員会で作成された、規定案に沿って331複合地区に合うように改定して作成中である。

近日中に作成の上、331複合地区での年次大会で決議をいただくべく、第2回ガバナー協議会に上程し、決議をいただく予定である。

国際大会・国際協調・LCIF委員会

委員長 L. 石 田 健 太 郎

国際大会について、来年香港で開催される国際大会の登録が始まりました。日程は2026年7月3日（金）～7月7日（火）です。ライオンズ国際協会のホームページに、香港大会のご案内動画が掲載されていますので是非ご覧ください。行き易さもあるため、多くのメンバーで参加しましょう。

LCIFについて、皆様にご協力いただいておりますLCIFスタンドですが、キャビネット会議、ガバナー公式訪問等で行い、懇親会での寄付を合わせて9月30日現在715,337円集まりました。あと数回ですが皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

献血・献眼・薬物防止委員会

委員長 L. 齋 藤 修 嗣

2025年7月より活動してまいりました。ご協力感謝いたします。

- ・献血～移動採決車運行日程表のデータ配信をしております。
- ・薬物乱用防止～薬物乱用防止教育認定講師養成講座の実施について

日 時 : 2025年11月29日(土) 受付13時30分(ZOOM参加の場合 受付13時00分)
開講14時00分～17時30分

会 場 アクア・ベールくしろ 受講料: 4,000円

講 師 釧路保健所、北海道警察釧路方面釧路警察署、帯広さくらLC L高橋 好志子様
以上の方々に依頼済です。

レオ・青少年委員会

委員長 L. 藤 井 芳 和

釧路レオクラブがホストクラブとして、今年度のレオ合同オータムキャンプが9月27日・28日の2日間、釧路市内で開催されました。キャンプ当日は、アクア・ベールくしろでの釧路レオクラブ安田会長の開会ゴングで合同例会がスタート。例会では参加レオの紹介や、活動報告、翌28日に予定している、オータムキャンプアクティビティの331-B地区第1R海岸清掃合同事業（白糠恋問海岸）のテーマである「SDGs海を守ろう」海洋プラスチックごみ問題の、現状について、釧路レオクラブ直江レオより説明並びに参加者全員で意見交換を行いました。

例会終了後は、釧路の夕日を海上から見るサンセットクルージング、岸壁炉端での懇親会など楽しく思い出に残る1日を過ごしていただけたのかなと思います。来年はオホーツクレオクラブがホストクラブの担当をしていただくことも決まり、来年度の開催を楽しみにしています。

YCE委員会

委員長 L. 小 野 寺 一 史

【2025 夏期 YCE 交換事業の報告】

2025 夏期 YCE 事業につきましては、7 月 10 日のフィンランドへの出国第 1 陣、スイス他欧州からの来日から始まり 8 月 29 日、イギリスからの帰国を最後に無事終了いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

(1) (派遣事業)

331-B 地区からフィンランド MD107-C 地区及び MD107-D 地区へ各 1 名派遣
スポンサークラブ

1R/1Z 標茶ライオンズクラブ

A 地区から 3 名・C 地区から 2 名 計 7 名が派遣されました。

(2) (受け入れ事業)

ホストクラブ

1R/1Z 標茶ライオンズクラブ

1R/1Z 釧路みなとライオンズクラブ

3R/1Z 帯広かしわライオンズクラブ

5R/2Z 北見中央ライオンズクラブ

5R/2Z 津別ライオンズクラブ

※MD331 地区受け入れ実績については → ※参考資料 YCE02-1 をご参照ください。

(3) (2025 夏期複合地区別派遣及び受入れ数)

※2025 夏期日本全体の実績数については → ※参考資料 YCE02-2 をご参照ください。

【冬期派遣・受入れ事業について】

受入事業については、ニュージーランド地区から 17 歳の男・女各 1 名の派遣希望の打診があり、CAB から B 地区各クラブに募集案内文を発信しております。各リジョンの委員におかれましては、改めて各クラブへの働きかけをお願いいたします。

尚、派遣事業につきましても、マレーシアとの通年交換事業を実施している MD334・335 地区から派遣生募集の案内がありましたが、9 月 26 日の MDYCE 委員会において協議しましたが、締め切りが 10 月 8 日となっており MD331 として今年は募集しない事といたしました。

M・I T委員会

委員長 L. 榎 田 欣 也

当委員会で作成いたしますエコー誌は、8月、10月号と発行を終え、現在12月号の準備をしています。12月中旬にはクラブへ到着予定で進めています。内容としては、各クラブの活動報告、キャビネット行事など、明るく楽しく掲載させていただきます。各クラブの皆様には、引き続き、伝えたい情報等、記事のご依頼をさせていただきますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。ホームページにつきましては、3ヶ月に一回、トップページの写真を変えたり、エコー誌、要録、議事録を、早めに更新していきたいと思っています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

オセアルフォーラム特別委員会

委員長 L. 杉 本 隆 英

第62回オセアルフォーラムが41年ぶりに美しい北海道札幌市で開催されました。

2025年10月23日から10月26日までの4日間、多数のメンバーの参加を得て成功に終わることができ、私達331-B地区では全メンバーの、参加登録目標達成に向けての、献身的なご支援ご協力をいただき400名を超える参加でした。これもひとえに、オセアルフォーラム特別委員会、島副委員長、寺中副委員長、佐藤副委員長の、多大なるご協力が力となりました。誠にありがとうございました。

このフォーラムは「We Serve（我々は奉仕する）」という共通の理念のもと、国境や文化を超えて、ライオンズメンバーが一堂に会し仲間と共に、土地の文化や食を楽しみ交流と学びを深める大変意義深い機会になったと思います。

また、海外や、道外の方々に北海道の魅力を存分に感じていただけたものと思います。

オセアルフォーラムの準備に全力で、携わっていただいた組織委員会の皆様に、大変感謝申し上げます。

今回のオセアルフォーラム札幌が、ライオンズメンバーの皆様の、今後のライオンズ活動の参考になることを願っております。誠にありがとうございました。

平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L. 吉 岡 幸 二

平和ポスター委員会のご報告申し上げます。現在 枚のポスターが集まり、参加クラブがクラブとなっております。

11/15締め切り後には、ガバナーを始め、キャビネット三役、平和ポスター委員会で331-B地区の最優秀一枚を選考し、複合事務局へ送りたいと思います。

それぞれに賞が決まりましたら、お知らせするとともに、地区年次大会での展示を経て、各賞を添えて各クラブへ返却したいと思います。お声がけしてくださった方に、感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

アラート委員会

委員長 L. 浅 野 敬 一

8月26日に第1回全国アラート会議が行われました。議題は、アラート委員会の基本方針と、組織図、運営規則について協議いたしました。

9月8日に331地区ガバナー協議会が開催され現時点でのアラート委員会の活動状況の報告をさせていただきました。

地区ごとの、社会福祉協議会との災害協定の進捗は、331A地区30%、331B地区50%、331C地区90%となり順調に進んでおります。

今年度は、人的被害を含むような災害は起こっておりませんが、各地区にて線状降水帯が発生し、家屋の被害が多数出ております。被害の状況に合わせて、各地区のガバナーの指示により各地区のアラート委員会が検討し、支援をいたしております。

北海道におきましても、今後起こりうる日本、千島海溝地震における最大死者数の予想区が14万9000人とも言われております。市町村別では釧路が8万4000人と最多の予測となっており、早期の災害対策が必要と考えます。

アラート委員会は災害を無くすことはできません。皆様には普段から災害に向けての予防、準備をしていただきたいと思います。

今後、様々なアラートフォーラムが行われますので、ぜひご参加いただき少しでも災害が起きた場合の手順等を考えていただきたいと思います。

まずは自分の身を守ることが先決です。

公益財団法人 日本ライオンズ特別委員会

特別委員長 L. 柳 澤 豊

今期で6年目になる、公益財団法人日本ライオンズクラブ特別委員会の内容ですが、現時点でのB地区内の、クラブ会員への浸透はされていないかと存じます。

日本ライオンズのLCIFバージョンと考えて頂ければ解り易いのかと思います。

その中で、全国特別支援学校フットサル大会の開催・寺子屋事業（児童養護施設の子供たちの学習支援）・被災地の子供への寄り添う支援事業（物的支援・心のケア）など、大きく3つの事業を実施していますが、どれも大変解り易い内容であります。

様々な事情を抱えた子供たちへ、奉仕活動で将来実社会において、自立と成長の基礎創りとしての支援です。具体的に各クラブ会員へ奉仕としては、会員一人¥2,000の、ご寄付のお願いをしているところでございます。

更に詳しい内容については、ホームページにてご確認頂きたくお願いいたします。

参 考 資 料



2025夏期YCE受け入れ事業ホストファミリー・リスト

※ 資料YCE02-1

		性別	年齢	名前	第1ホスト氏名・地区・クラブ		第2ホスト氏名・地区・クラブ
		受入期間		生年月日	期間：7月13日～20日		期間：7月25日～8月3日
1	スイス	女	18	Alwina Straubhaar	高橋 優一様 (B/標茶)	7 月 2 0 日 ～ 2 5 日 ユ ー ス ・ キ ャ ン プ	高橋 優一様 (B/標茶)
		7/13-8/3		2006年8月7日	Mr. TAKAHASHI Yuichi		Mr. TAKAHASHI Yuichi
男		16	Clemens Hohermuth	青田 博文様 (B/釧路みなと)	L石田 健太郎 (B/釧路みなと)		
7/13-8/3		2009年5月28日	Mr. AOTA Hirofumi	L. ISHIDA Kentaro			
女		17	Emily Sieber	L松平 範慶 (B/津別)	L渡邊 力 (B/北見中央)		
7/13-8/3		2008年7月12日	L. MATSUDAIRA Noriyoshi	L. WATANABE Chikara			
4	フィンランド	女	18	Veera Niemitalo	L繁富 敬史 (A/札幌中央)		L繁富 敬史 (A/札幌中央)
7/13-8/3		2007年3月12日	L. SHIGETOMI Takafumi	L. SHIGETOMI Takafumi			
男		16	Jooa Karjula	L朝倉 護 (A/札幌中央)	L朝倉 護 (A/札幌中央)		
7/13-8/3		2007年7月26日	L. ASAKURA Mamoru	L. ASAKURA Mamoru			
男		17	Lenni Arjonen	L米通 辰哉 (A/札幌北の杜)	L米通 辰哉 (A/札幌北の杜)		
7/13-8/3		2008年4月21日	L. KOMEDORI Tatsuya	L. KOMEDORI Tatsuya			
7	メキシコ	女	21	Ana Sofia Montes Luévano	鎌田 政己様 (B/帯広かしわ)		L佐々木章博 (A/札幌パティオア)
7/13-8/3		2003年11月1日	Mr. KAMADA Masami	L. SASAKI Akihiro			
8	スペイン	男	24	Pablo Herrero Gómez	L猪熊 健嗣 (A/札幌わかば)		L猪熊 健嗣 (A/札幌わかば)
7/13-8/3		2001年4月17日	L. INOKUMA Kenji	L. INOKUMA Kenji			
女		23	Ana Campos Urbán	L美馬 剛 (A/札幌わかば)	L吉岡 恵介 (A/札幌フロンティア)		
7/13-8/3		2002年6月26日	L. MIMA Tsuyoshi	L. YOSHIOKA Keisuke			
10	スロベニア	女	17	Luna Smolic	L繁富 敬史 (A/札幌中央)		L繁富 敬史 (A/札幌中央)
7/13-8/3		2007年9月24日	L. SHIGETOMI Takafumi	L. SHIGETOMI Takafumi			
11	フランス	女	18	Léanne Horrod	L林 謙治 (C/苫小牧中央)		L末永玲子(C/函館グリーン)
7/13-8/3		2006年9月29日	L. HAYASHI Kenji	L. SUENAGA Reiko			
12	イギリス	女	18	Rosalyn Hodgson	L鈴木 秀作 (C/苫小牧白鳥)		L末永玲子(C/函館グリーン)
7/13-8/3		2007年6月16日	L. SUZUKI Shusaku	L. SUENAGA Reiko			
C地区第1ホスト					L上田 弘政 (C/苫小牧中央)		
L林 謙治 7/13～14 1泊2日					L. UEDA Hiromasa		
L鈴木 秀作 7/14～16 2泊3日					L柴田 義継 (C/苫小牧中央)		
L上田 弘政 7/16～18 2泊3日					L. SHIBATA Yoshitsugu		
L柴田 義継 7/18～20 2泊3日							

2024-25年度YCE事業
派遣および来日数

2024-25 夏季派遣生人数一覧

派遣先国名	略称	330	331	332	333	334	335	336	337	合計
夏季										
ノルウェー	N			1						1
スロベニア	SL				1					1
ポーランド	PO									0
リトアニア							1			1
チェコスロバキア	CS									0
スイス	S									0
エストニア	ES					2				2
ベルギー	B					3				3
イタリア	IT					4				4
ドイツ	G					8				8
ルーマニア	RO						2			2
イスラエル	IS									0
セルビア	SR									0
モルドバ	MV									0
デキサス	TX									0
アルバータ (カナダ)	AB									0
ミシガン	MI									0
マサチューセッツ	MA									0
コロラド	CO			2						2
MD4	CA	3								3
ブラジル	BZ									0
メキシコ	MX									0
オーストラリア	A									0
ニュージーランド	NZ	1	1							2
マレーシア	ML	1		1		9	9		3	23
インド	INDIA									0
台湾	RC							5		5
シンガポール	SN								12	12
スペイン	SP		3							3
フィンランド	FN		2							2
デンマーク	DA				1					1
フランス	F				1					1
イギリス	E		1		1					2
		5	7	4	3	26	12	5	15	76

2024-25 夏季来日生人数一覧

国名	略称	330	331	332	333	334	335	336	337	合計
夏季										
スイス	SJ	1	3		1					5
スペイン	SPJ	1	2	2						5
フィンランド	FNJ		3				1			4
ノルウェー	NZJ			1			1			2
スロベニア	SLJ		1		1		1			3
ポーランド	POJ				1					1
リトアニア							1			1
チェコスロバキア	CSJ						1			1
エストニア	ESJ					3				3
ベルギー	BJ					4				4
イタリア	ITJ					6				6
ドイツ	GJ					8				8
ルーマニア	ROJ						1			1
イスラエル	ISJ									0
セルビア	SRJ									0
モルドバ	MVJ							2		2
オーストリア	ASJ					1				1
デキサス	TXJ									0
アルバータ (カナダ)	ABJ									0
ミシガン	MIJ									0
マサチューセッツ	MAJ									0
ブラジル	BZJ				2		1			3
メキシコ	MXJ						1			1
オーストラリア	AJ									0
ニュージーランド	NZJ									0
インドネシア	INDJ						1			1
台湾	RCJ							8		8
マレーシア	MLJ						3		2	5
インド	INDIAJ				1		1			2
MD4	CAJ	7								7
フランス	FJ		1		1		1			3
ハンガリー	HUJ				2		1			3
デンマーク	DAJ				1					1
イギリス	EJ	1	1				1			3
トルコ	TJ						1			1
アメリカ							1			1
ブルガリア										1
オランダ	HJ									2
ロシア	RSJ									1
クロアチア	CRJ									2
ペルー	PeruJ									1
カナダ										2
メキシコ			1							
		18	12	3	10	21	20	10	2	95

(参考資料)

2025～2026 年度

331-B 地区献眼運動推進費積立金運用規程

この規程は地区内において、推進費積立金の適正且つ効率的運用を期するため、次の条項を設けるものである。

記

1. 委員会構成

積立金運用決定に当たるための委員会は、地区ガバナー、第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計、地区献血・献眼・薬物防止委員長をもって構成し、委員長は地区ガバナーがこれにあたる。

2. 推進費積立金の支出

地区内の献眼運動に対する啓発活動及び広報活動、NPO 旭川医大アイバンクに対する財政支援などの中から、委員会の決議により採択する。
資金の使途及び金額は、その都度決定する。

3. 積立金運用報告

積立金の運用実施報告については、キャビネット会議において速やかに報告するものとする。

4. 監査

地区特別収入による暫定特別会計として、地区監査委員会の監査を受けるものとする。

5. 施行

本規程は地区キャビネットの任期に併せ、2025 年 7 月 1 日より施行する。

2025-2026年度 地区及びクラブシェアリング交付金申請可能額更新のご案内

- ・2024-2025年の寄付実績に基づき、本年度のシェアリング交付金申請可能額が付与されました。数字は2025年7月29日現在です。
- ・昨年度に「奉仕に力を」資金に5千ドル以上の寄付をして新規付与額を得たクラブを表の上段にまとめてあります。その下に地区シェアリングの金額があります（黄色ハイライト）。地区シェアリングは、昨年度の地区の寄付及び5千ドル未満のクラブの寄付総額に基づいて付与されています。5千ドル未満のクラブ寄付実績を地区シェアリングの金額の下に入れてありますのでご参照ください。また、昨年度の寄付がなかったクラブで、累積申請可能額を保有するクラブを下に加えてあります（オレンジハイライト）。
- ・クラブの合併などで特別な事務処理を行った場合には、該当するクラブの欄外に説明を加えてあります。
- ・リードギフト及び4回以上メジャーギフトの誓約をしているメンバーがいるクラブでは、2024-2025年度の寄付額が5千ドル未満でも新規付与額がついている場合があります。この件の詳細についてご質問ございましたら、オセアル調整事務局LCIF課までお問い合わせください。

<申請額の留意点>

- ・交付金申請は、累計申請可能額を上限として1ドル以上の単位（1ドル以下は切り捨て）で申請することができます。

<数字に関するお問い合わせ先>

- ・昨年度寄付額及び申請可能額に関するご質問は、LCIF寄付者サービス課 donorassistance@lionsclubs.org までお問い合わせください。

地区	クラブID	クラブ名	2024-2025年度 寄付額	2025-2026年度 新規付与額	累計申請可能額
District 331 B	24888	OBIHIRO KASHIWA	\$8,533.45	\$1,280.02	\$10,500.48
District 331 B	24853	KITAMI CHUO	\$7,970.32	\$1,195.55	\$5,864.06
District 331 B	24829	FURANO	\$6,133.38	\$920.01	\$984.01
District 331 B	66207		\$49,356.00	\$7,403.40	\$33,762.77
District 331 B	35115	HIGASHIKAWA	\$93.05	\$0.00	
District 331 B	24832	HABORO	\$1,020.01	\$0.00	
District 331 B	24841	HONBETSU	\$593.39	\$0.00	
District 331 B	34152	BIFUKA	\$66.70	\$0.00	
District 331 B	24816	BIHORO	\$1,266.57	\$0.00	\$99.11
District 331 B	24809	ASAHIKAWA	\$2,480.06	\$0.00	\$1,800.05
District 331 B	24810	ASAHIKAWA CHUO	\$240.03	\$0.00	\$765.00
District 331 B	110481	ASAHIKAWA CRYSTAL	\$340.00	\$0.00	
District 331 B	24808	ASAHIKAWA HEIWA	\$646.77	\$0.00	\$10,174.08
District 331 B	24811	ASAHIKAWA HIGASHI	\$260.03	\$0.00	
District 331 B	50000	ASAHIKAWA NANAKAMADO	\$666.35	\$0.00	\$750.15
District 331 B	24812	ASAHIKAWA TAISETSU	\$1,800.01	\$0.00	\$0.04
District 331 B	154201	Asahikawa Virtual	\$172.80	\$0.00	
District 331 B	32898	AIBETSU	\$230.00	\$0.00	\$855.00
District 331 B	24803	ABASHIRI	\$3,000.01	\$0.00	
District 331 B	29237	ABASHIRI KATSURA	\$106.73	\$0.00	
District 331 B	24854	KITAMI	\$4,800.04	\$0.00	
District 331 B	33913	KITAMI SHIRAKABA	\$2,450.18	\$0.00	\$945.05
District 331 B	24863	KUSHIRO MINATO	\$4,014.06	\$0.00	\$1,134.36
District 331 B	31715	KUSHIRO NUSAMAI	\$173.44	\$0.00	\$5,438.28
District 331 B	49466	KUSHIRO SHITSUGEN	\$340.10	\$0.00	
District 331 B	24864	MAKUBETSU	\$340.00	\$0.00	
District 331 B	40343	MONBETSU OKHOTSK	\$460.01	\$0.00	
District 331 B	24865	MASHIKE	\$560.01	\$0.00	
District 331 B	24880	NEMURO	\$1,580.20	\$0.00	\$1,011.41
District 331 B	24879	NAYORO	\$292.21	\$0.00	\$967.51
District 331 B	24885	OBIHIRO	\$633.58	\$0.00	\$8,817.06
District 331 B	24886	OBIHIRO CHUO	\$300.01	\$0.00	\$1,675.00
District 331 B	24887	OBIHIRO HEIGEN	\$256.55	\$0.00	\$2,488.80
District 331 B	78571	OBIHIRO SAKURA	\$134.08	\$0.00	\$795.00
District 331 B	41631	OBIHIRO SUZURAN	\$240.07	\$0.00	
District 331 B	61253	SHIRATAKI	\$530.71	\$0.00	
District 331 B	24913	SHIRANUKA	\$200.01	\$0.00	
District 331 B	24916	SHIBECHA	\$2,470.27	\$0.00	
District 331 B	24912	SHIBETSU	\$1,356.30	\$0.00	\$1,125.02
District 331 B	127031	Saroma	\$380.00	\$0.00	
District 331 B	24896	OTOFUKE	\$880.00	\$0.00	
District 331 B	24899	RUMOI	\$420.03	\$0.00	
District 331 B	24900	RUMOI MINATO	\$3,134.82	\$0.00	\$2,639.08
District 331 B	40081	UTANOBORI	\$100.03	\$0.00	
District 331 B	24929	TSUBETSU	\$2,186.73	\$0.00	

District 331 B	24939	WAKKANAI	\$1,500.02	\$0.00	
District 331 B	56038	WAKKANAI HOKUTO	\$3,319.04	\$0.00	\$4,125.05
District 331 B	59952	TANNO	\$40.03	\$0.00	
District 331 B	24927	TOMA	\$320.03	\$0.00	
District 331 B	24934	TOYOKORO	\$380.01	\$0.00	
District 331 B	24857	KUSHIRO	\$0.00	\$0.00	\$4,037.61

ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

釧路キャビネット ガバナー基本方針

地区ガバナー L. 大島 尚 久

【 基 本 方 針 】

- **新しい事業を開拓**
地域が豊かになるための奉仕事業
- **環境保全に関わる事業の推進**
植樹の推進
海に面した地域では海洋プラスチックごみに関する研修会の開催
地区で一斉ごみ拾い日を決めて実施
- **M1. 5実現への取り組み【ASK2の実践】**
[新会員目標 330 名ー純増 20 名ー新クラブ 2]
新クラブを二つ結成
新入会員を増強して純増を達成し会員減少に歯止めをかける
メンターの育成
新会員の入会促進への仕掛けづくり
新しい会員の発想を取り入れる仕掛けづくり
- **LCIFに対する取り組み [15 万ドル]**
チャリティーゴルフ、ボウリング、LCIFスタンドの開設
広く浅く多くのライオンにLCIFの意義を知ってもらい寄付を募る
- **オセアルフォーラムの成功**
参加したくなる、参加しやすい仕掛けづくり
- **小児がんの子供たちへの支援【HD1000 活動】**
目標ヘアードネーション 1000 件
- **献血促進活動の取り組み**
献血 250 万 ml キャンペーン
- **青少年育成に対する取り組み**
レオクラブへの支援、YCEへの支援
- **充実した例会の開催【4 T 活動】**
楽しい！ ためになる！ 頼りになる先輩を見つける！ 助け合える仲間を見つける！
- **ライオンズ活動を通して仲間を作ろう【GGV 作戦】**
合同例会！ 合同事業！ 例会訪問の推進
- **ライオンズクラブのすばらしさを発信【IPT 活動】**
いつもピンをつける！
SNSの利用



We Serve

釧路キャビネット事務局

〒085-0031 釧路市中島町6番25号

TEL (0154) 68-5647・FAX (0154) 68-5648

E-mail: kushirocab331b@marimo.or.jp